

翻訳ピカイチ V15

ユーザーズガイド

株式会社クロスランゲージ

必ずお読みください

本ソフトウェアは、お客様が下記の「ソフトウェア使用許諾契約」の同意を前提にご利用いただけます。以下のソフトウェア使用許諾契約の条項に同意いただけない場合は、インストールを実施せずに、速やかに本製品のお求め先に、ご返却をお申し出ください。

また、クロスランゲージから提供する、ユーザーサポート(使い方等のお問い合わせ)、各種修正プログラムや、バージョンアップ・サービス(新バージョンの特別価格によるご提供)などをご利用いただく場合は、ユーザー登録が必要となります。本ソフトウェアの使用の開始に合わせて、ユーザー登録をお願いいたします。ユーザー登録は弊社ホームページからお手続きいただけます。

ソフトウェア使用許諾契約

株式会社クロスランゲージ(以下、クロスランゲージという)は、本使用許諾契約に記載された条項により、クロスランゲージが提供するソフトウェア製品(以下、本ソフトウェア)の使用をお客様に許諾いたします。お客様は、お客様がコンピュータに本ソフトウェアのインストールを行った時点、またはすでにインストールされている場合は本ソフトウェアの使用を開始した時点で、本契約に同意いただいたこととなります。

第1条 ご使用条件

- (1) お客様は、本ソフトウェア1ライセンス(1つのシリアル番号)につき、1台のコンピュータでのみ使用することができます。別のコンピュータでご利用いただく場合は、本ソフトウェアライセンスの追加(本ソフトウェアの追加購入)が必要となります。
- (2) ただし、本ソフトウェアの使用者がお客様のみに限られている場合は、本ソフトウェアを同時に使用しないという条件で、お客様のみが使用する最大2台までのコンピュータで、ご利用いただくことができます。
- (3) Windowsのアカウント追加機能を使い、本ソフトウェアがインストールされた同一のコンピュータを複数人でご利用になる場合は、本ソフトウェア1ライセンスでご利用いただけます。

第2条 禁止事項

クロスランゲージはお客様に対して、以下のことを禁止します。

- (1) 本ソフトウェアの全部または一部の再配布、再使用許諾、貸与、譲渡、レンタル、擬似レンタル行為、中古品(オークション等)取引
- (2) 本ソフトウェアの改変、解析(リバースエンジニアリング)および同等の行為
- (3) 第1条記載内容以外の本ソフトウェアの利用

第3条 免責事項

- (1) 本ソフトウェアは現状有姿で提供されており、クロスランゲージは本ソフトウェアが正常に動作することを保証するものではありません。また、本ソフトウェアに瑕疵があった場合において、瑕疵修正を保証するものではありません。
- (2) クロスランゲージは、本ソフトウェアによって出力された翻訳結果の使用を含み、本ソフトウェアの使用、使用不能等から生ずるいかなる損害についての責任を負いません。

第4条 提供メディアの品質保証

クロスランゲージは、製品の受け渡し日から一か月以内にディスク等やプログラムの提供メディアに物理的な障害が発見された場合、提供メディアを無償で交換いたします。

第5条 有効期間

本契約の有効期間は、お客様が本ソフトウェアの使用を開始したときから、お客様が本ソフトウェアの使用を停止するまでとします。

お客様が本契約条項のいずれかに反した場合は、本契約は自動消滅するものとします。

■ ご注意

- 翻訳成果物を公表・販売・頒布する場合は、原文作者の許諾が必要となる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品の仕様は、改良のために予告なく変更することがあります。
- 本製品を日本国外に携行する場合は、輸出貿易管理令等の関係法令にご留意ください。

■ 著作権

Windows, Microsoft Word, Microsoft Excel, Microsoft PowerPoint, Microsoft Internet Explorer, Microsoft Outlookは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
本マニュアルおよび製品で使用している社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
本製品の著作権：©株式会社クロスランゲージ

■ はじめに

このたびは、本製品をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。本書では、製品の使い方や使用上の注意事項について記載しています。ご使用前に本書をご一読の上、正しくお使いください。

■ 本書の構成

本書では「翻訳ピカイチ V15」（以降、「翻訳ピカイチ」と表記します）の機能を説明しています。マニュアルの最後には索引があります。

■ 翻訳結果について

基本語辞書や文法ルールは逐次改良が加えられているため、画面に表示される結果は、本書の画面や説明文中にある翻訳結果とは必ずしも一致しません。翻訳結果は、翻訳に関する設定や学習機能によって訳語を変更している場合にも異なります。

■ 本書で使用している記号やマークについて

本書で使用している記号やマークは以下のとおりです。

• 記号について

[ファイル]	メニュー名を示します。
[ファイル]ー[開く]	「ファイル」メニューの「開く」コマンドを選択することを示します。
<登録>	ダイアログボックスにあるボタン名を示します。
『 』	参照ページのタイトルを示します。（例）『1.2 動作環境』を参照してください。

• マークについて



注意事項です。



備考事項や補足説明です。

目 次

1 翻訳ピカイチについて	1
1.1 翻訳ピカイチの主な機能.....	1
1.2 動作環境.....	3
1.3 ユーザーズガイドの表示.....	5
2 翻訳エディタ入門	6
2.1 翻訳エディタの起動と終了.....	6
2.1.1 翻訳エディタの起動.....	6
2.1.2 翻訳エディタの終了.....	7
2.2 英語を日本語に翻訳.....	7
2.2.1 テキストファイルの翻訳.....	7
2.2.2 訳語の対応と訳語の変更.....	9
2.2.3 ユーザー辞書（英語→日本語）に単語を登録.....	10
2.3 日本語を英語に翻訳.....	11
2.3.1 テキストファイルの翻訳.....	11
2.3.2 訳語の対応と訳語の変更.....	13
2.3.3 ユーザー辞書（日本語→英語）に単語を登録.....	15
2.4 印刷.....	16
2.5 保存.....	16
2.5.1 翻訳ファイルの保存.....	17
2.5.2 訳文の出力.....	18
3 アプリケーションの翻訳	19
3.1 Microsoft Officeアドイン翻訳.....	19
3.1.1 アドイン翻訳の起動と翻訳言語の選択.....	19
3.1.2 Wordの翻訳.....	21
3.1.3 Excelの翻訳.....	22
3.1.4 PowerPointの翻訳.....	23
3.1.5 Outlookの翻訳.....	24
3.1.6 辞書引き.....	26
3.1.7 辞書登録.....	26
3.1.8 アドイン翻訳機能の有効と無効.....	27
3.2 ホームページの翻訳.....	28
3.2.1 翻訳の前に.....	28
3.2.2 ホームページの翻訳.....	29
3.2.3 ホームページの翻訳検索.....	31
3.2.4 ホームページ翻訳の設定.....	34
3.3 PDFダイレクトファイル翻訳.....	35
3.3.1 PDFダイレクトファイル翻訳の実行.....	35
3.3.2 PDFダイレクトファイル翻訳の有効と無効.....	36
3.3.3 PDFダイレクトファイル翻訳の設定.....	37
3.3.4 PDFダイレクトファイル翻訳の制限事項.....	38
4 翻訳パレット入門	39
4.1 翻訳パレットの起動と終了.....	39
4.1.1 翻訳パレットの起動.....	39
4.1.2 翻訳パレットの終了.....	40
4.2 翻訳エディタ.....	40

4.3	キャプチャ翻訳	40
4.3.1	キャプチャ翻訳の実行	40
4.3.2	キャプチャ翻訳の編集作業と表示機能	43
4.4	ワンポイント翻訳	44
4.5	辞書参照ツール	45
4.6	メール翻訳パッド	46
4.7	訳振りパッド	48
4.8	翻訳パレットの設定	50
4.9	ツールの設定	51
4.9.1	OCR設定	51
4.9.2	常駐機能	52
4.9.3	フォント	53
4.9.4	その他	54
5	翻訳エディタの機能	55
5.1	翻訳	55
5.1.1	キーボードから入力して翻訳	55
5.1.2	文章の翻訳	57
5.2	訳語対応と訳語変更	58
5.2.1	英⇄日（日⇄英、日⇄英⇄日）対応	58
5.2.2	訳語変更	58
5.2.3	学習機能	61
5.3	品詞変更	62
5.4	フレーズ翻訳	64
5.4.1	フレーズ翻訳の手順	64
5.4.2	フレーズ翻訳の実行	66
5.5	別解釈	67
5.6	オプション翻訳	68
5.6.1	タイトル翻訳	68
5.6.2	箇条書き翻訳	68
5.6.3	通常翻訳	68
5.7	翻訳ロック/日英ロック/ロック解除	69
5.8	音声読み上げ	70
5.8.1	音声読み上げの実行	70
5.8.2	音声読み上げの設定	70
5.9	英文チェック	72
5.10	アップデート	73
6	辞書の活用	74
6.1	辞書の構成	74
6.2	辞書参照	75
6.3	辞書設定とユーザー辞書の作成	76
6.3.1	翻訳で使用する辞書を設定	76
6.3.2	ユーザー辞書の新規作成	79
6.3.3	書き込み可能なユーザー辞書を指定	80
6.4	英日用ユーザー辞書登録	81
6.4.1	辞書登録ダイアログ	81
6.4.2	名詞の登録	84
6.4.3	動詞の登録	85
6.4.4	形容詞の登録	86
6.4.5	副詞の登録	87
6.5	日英用ユーザー辞書登録	88

6.5.1	辞書登録ダイアログ	88
6.5.2	名詞の登録	91
6.5.3	動詞の登録	92
6.5.4	形容詞・形容動詞の登録	93
6.5.5	副詞の登録	94
6.5.6	格助詞の登録	95
6.5.7	連体助詞の登録	96
7	環境の設定	97
7.1	英日翻訳の設定	97
7.2	日英翻訳の設定	99
7.3	英文チェックの設定	101
7.4	フォントと配色の設定	102
7.5	ツールバーカスタマイズ	103
	付録	104
付録1	Office起動時の「セキュリティの警告」	104
付録2	Windows 8/8.1でアプリケーションを起動する方法	106
付録3	翻訳ピカイチが作成するファイル	108
付録4	ホームディレクトリの確認	109
付録5	OCR	110

1 翻訳ピカイチについて

この章では、翻訳ピカイチの機能、動作環境、専門語辞書について説明します。

1.1 翻訳ピカイチの主な機能

翻訳ピカイチは、英日／日英／日英日モードを使用して英日・日英双方向に対応した翻訳ソフトです。英日・日英の基本語辞書と専門語辞書を搭載し、専門的な分野の翻訳にも対応できます。また、英語のWebページを日本語に翻訳し、日本語を英語に翻訳しメールで送信する等、さまざまな場でコミュニケーションツールとして利用することができます。

「翻訳パレット」では、各種翻訳ツールの起動や辞書引きを行うことができます。翻訳ピカイチの特徴は以下のとおりです。

● 文書の翻訳、翻訳結果の修正に最適な翻訳エディタ

翻訳エディタでは、**テキストファイルの翻訳**、翻訳結果を適切な訳語に変更する**訳語変更**、変更した訳語を学習して次回の翻訳に活用する**学習機能**、専門語辞書に収録されていない語句を登録する**ユーザー辞書登録**などを実行できます。

また日英翻訳では、**日英日モード**を使って、翻訳結果の英文を日本語に翻訳し、翻訳の精度を確認できます。（『2 翻訳エディタ入門』参照）

● Microsoft Officeアドイン翻訳

Microsoft Officeに対応したアドイン翻訳では、アプリケーションに登録されたボタンをクリックするだけでWord, Excel, PowerPoint, Outlookに読み込んだ文書を翻訳したり、辞書引きを行うことができます。（『3.1 Microsoft Officeアドイン翻訳』参照）

● ホームページの翻訳

Internet Explorerで表示したホームページを、レイアウトを保ったまま、本文のみを翻訳して、翻訳結果のホームページを作成します。（『3.2 ホームページの翻訳』参照）

● メールの翻訳

送受信したメールや送信用に作成したメールを翻訳することができます。（『4.6 メール翻訳パッド』参照）

● PDFダイレクトファイル翻訳

PDFファイルのレイアウト情報を表示し、フォント属性などによる翻訳対象文字列の設定機能によって、レイアウトを保持したまま翻訳することができます。（『3.3 PDFダイレクトファイル翻訳』参照）

- **辞書参照**

翻訳ピカイチでは、さまざまな方法で用語の意味を調べることができます。

翻訳ピカイチが起動している場合は翻訳エディタ（『6.2 辞書参照』参照）で、翻訳ピカイチが起動しないときは辞書参照ツール（『4.5 辞書参照ツール』参照）で、基本語辞書や翻訳で使用している専門語辞書の辞書引きを行えます。

訳振りでは、語句に訳語ルビを表示するので、文を斜め読みして大まかな内容を把握するのに便利です。（『4.7 訳振りパッド』参照）

- **英会話の学習用に**

翻訳エディタでは、文章をネイティブスピーカーの発音で読み上げることができます。（『5.8 音声読み上げ』参照）

- **キャプチャ翻訳**

翻訳パレットの「キャプチャ翻訳」では、範囲指定した画像ファイルに文字認識を実行し、翻訳することができます。（『4.3 キャプチャ翻訳』参照）

1.2 動作環境

翻訳ピカイチを使用するには、次の環境が必要です。

対応OS	Windows 7 SP1、Windows 8/8.1、Windows 10 日本語版 / 32bit / 64bit ※インストールには、管理者権限が必要です。												
メモリ	2GB以上推奨												
HD容量	<table> <tr> <td>フルインストール時</td> <td>1.6GB以上</td> </tr> <tr> <td>翻訳ピカイチ</td> <td>524MB以上</td> </tr> <tr> <td>EJ専門語辞書</td> <td>327MB以上</td> </tr> <tr> <td>JE専門語辞書</td> <td>262MB以上</td> </tr> <tr> <td>ツール</td> <td>210MB以上</td> </tr> <tr> <td>CROSS OCR V4 JE</td> <td>113MB以上</td> </tr> </table>	フルインストール時	1.6GB以上	翻訳ピカイチ	524MB以上	EJ専門語辞書	327MB以上	JE専門語辞書	262MB以上	ツール	210MB以上	CROSS OCR V4 JE	113MB以上
フルインストール時	1.6GB以上												
翻訳ピカイチ	524MB以上												
EJ専門語辞書	327MB以上												
JE専門語辞書	262MB以上												
ツール	210MB以上												
CROSS OCR V4 JE	113MB以上												
ホームページ翻訳	Internet Explorer 10 / 11 ※Windowsストアアプリ版のInternet Explorer 非対応												
オフィス翻訳 2007以外は32bit/64bit対応	Word、Excel、PowerPoint、Outlook 2007 ~ 2016 Office365 ※WindowsRT版の [Office 2013 RT] は非対応												
PDFダイレクトファイル翻訳	PDF 1.2, 1.3, 1.4, 1.5, 1.6 ※制限事項は「3.3.4 PDFダイレクトファイル翻訳の制限事項」をご参照ください。												

● 動作環境に関する最新情報

動作環境に関する最新の情報はホームページをご覧ください。

[http:// www.crosslanguage.co.jp](http://www.crosslanguage.co.jp)

● 搭載専門語辞書

以下の基本語辞書及び専門語辞書が搭載されています。

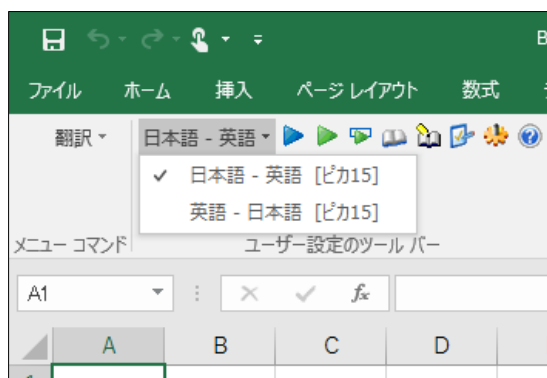
分野	ファイル名	語数 EJ (英→日)	語数 JE (日→英)
基本語辞書		124.0万語	207.0万語
コンピュータ	computer	11.8万語	16.0万語
電気電子	elec	9.6万語	10.2万語
機械工学	mecha	8.9万語	8.6万語
土木建築	archi	4.0万語	4.2万語
プラント	plant	6.7万語	7.3万語
自動車工学	car	2.6万語	4.4万語
金属	metal	2.2万語	2.3万語
JIS工業用語	JIS	5.1万語	5.2万語
光工学	optical	0.3万語	0.4万語
エネルギー	energy	1.4万語	1.6万語
生産工学	manufac	0.2万語	0.3万語
数学物理	math	7.1万語	8.2万語
日外科学技術	nichigai	90.0万語	90.0万語
航空宇宙	aero	1.8万語	1.9万語
地球環境	ecology	3.6万語	3.6万語
海洋船舶	ocean	1.4万語	1.5万語
防衛	defence	0.9万語	0.9万語
ビジネス	business	7.4万語	7.9万語
法律	law	3.6万語	3.3万語
貿易	trade	2.3万語	2.1万語
金融	finance	5.0万語	4.7万語
会計	account	0.8万語	0.8万語
マーケティング	market	0.7万語	1.0万語
化学	chemical	12.8万語	14.6万語
農学	agri	0.8万語	0.8万語
観光	tourism	1.2万語	1.2万語
行政	govt	0.1万語	0.1万語
ファッション	fashion	0.8万語	1.5万語
グルメ	gourmet	1.0万語	1.3万語
美容・健康	beauty	1.0万語	1.1万語

分野	ファイル名	語数 EJ (英→日)	語数 JE (日→英)
IT	IT	1.7万語	1.8万語
スポーツ	sports	2.5万語	4.1万語
アニメ	anime	0.2万語	0.3万語
ホビー	hobby	0.9万語	1.0万語
エンタメ	enter	1.9万語	2.3万語
美術	art	0.3万語	0.9万語

- アドインおよびツールに表示される翻訳エンジン名について

各種アドインおよび翻訳ツールには、以下の翻訳エンジン名で表示されます。

翻訳ピカイチV15…………… ピカイ5



1.3 ユーザーズガイドの表示

ユーザーズガイドには翻訳ピカイチの機能説明が掲載されています。翻訳ピカイチの機能や操作手順を調べるときにご活用ください。

- ユーザーズガイド (PDF) 閲覧方法

1. [スタート] → [すべてのプログラム] → [翻訳ピカイチ V15]
→ [翻訳ピカイチ V15 ユーザーズガイド(PDF)]
2. デスクトップに作成される「翻訳ピカイチ V15 翻訳エディタ」をダブルクリックして起動した「翻訳エディタ」の「ヘルプ」メニューよりユーザーズガイドを選択

- 「日英翻訳のコツ」の表示

「日英翻訳のコツ」では、機械翻訳しやすい文章の作り方について説明しています。「日英翻訳のコツ」を表示するには、タスクバーの「スタート」ボタンをクリックして[すべてのプログラム]－[翻訳ピカイチ V15]－[Cross Language日英翻訳のコツ]を選択します。

2 翻訳エディタ入門

翻訳エディタでは、英日・日英双方向の翻訳や、訳語の変更、ユーザー辞書の構築などの翻訳作業を行うことができます。

この章では、翻訳エディタの使い方について、例を挙げて説明します。

2.1 翻訳エディタの起動と終了

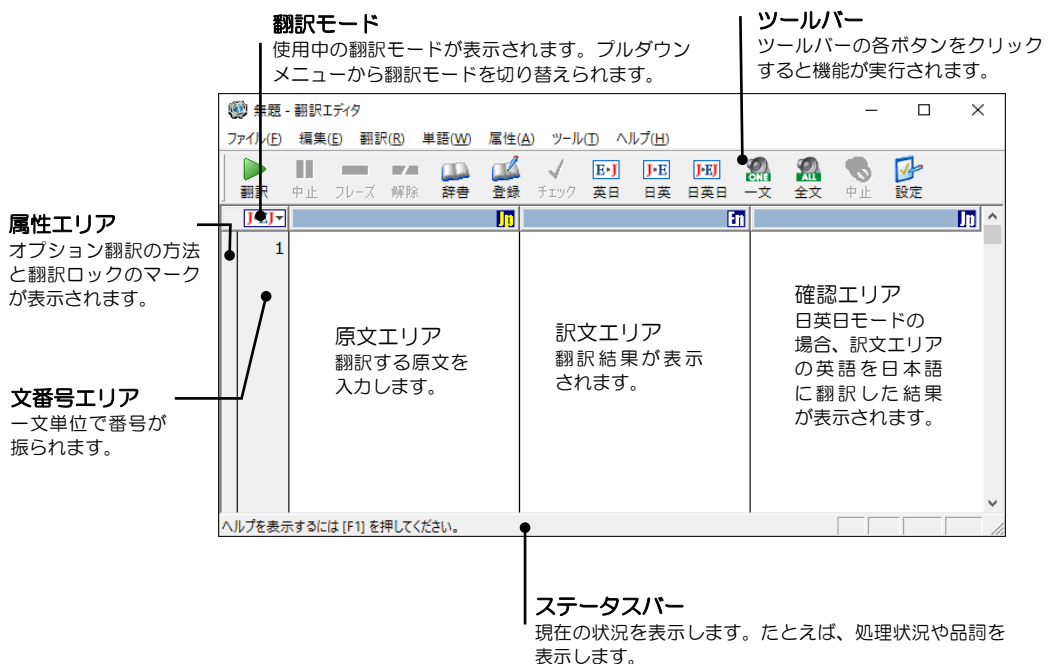
2.1.1 翻訳エディタの起動




翻訳パレットの〈翻訳エディタ〉をクリックするか、デスクトップの「翻訳ピカイチ V15 翻訳エディタ」アイコンをダブルクリックすると、翻訳エディタが起動します。

または、タスクバーの「スタート」ボタンをクリックして[すべてのプログラム]－[翻訳ピカイチ V15]－[翻訳ピカイチ V15 翻訳エディタ]を選択すると翻訳エディタが起動します。

● 翻訳エディタ

ここでは、日英日モードを例にして翻訳エディタの項目名を説明します。



翻訳エディタでモードの切り替えは、ツールバーの〈英日モード〉、〈日英モード〉、〈日英日モード〉 をクリックして行います。

または、翻訳エディタ左上にある翻訳モードのボタンをクリックして表示されるプルダウンメニューからも切り替えられます。



2.1.2 翻訳エディタの終了

[ファイル]—[終了]を選択するか、翻訳エディタの閉じるボタン(☒)をクリックすると、翻訳エディタが終了します。

2.2 英語を日本語に翻訳

ここでは、翻訳エディタを使って英語を日本語に翻訳する方法を説明します。

翻訳ピカイチに収録されている練習用ファイル「chickenpox.txt」を使って、文書ファイルを読み込み、一括で翻訳します。

2.2.1 テキストファイルの翻訳

練習用ファイル「chickenpox.txt」は、次の場所に保存されています。


Windows 7： [ライブラリ]→[ドキュメント]→[CrossLanguage]→[Pika1]→[learn]

Windows 8/8.1/10： [ユーザー名]→[ドキュメント]→[CrossLanguage]→[Pika1]→[learn]

このファイルを読み込んで翻訳します。

手順

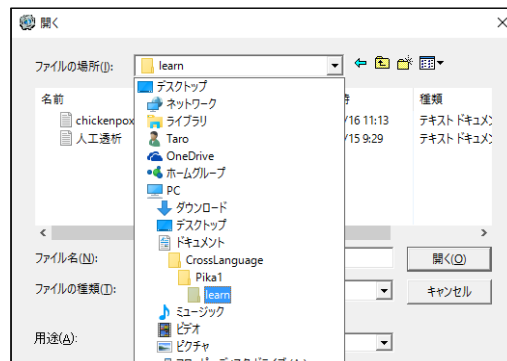
1. 英日モードに設定します。

翻訳エディタが英日モードになっていない場合は、ツールバーの〈英日モード〉 をクリックするか、翻訳モードのボタンをクリックして表示されるプルダウンメニューから「EJ」を選択します。

2. [ファイル]—[開く]を選択します。

開くダイアログが表示されます。

3. 「ファイルの場所」を「learn」フォルダに変更します。

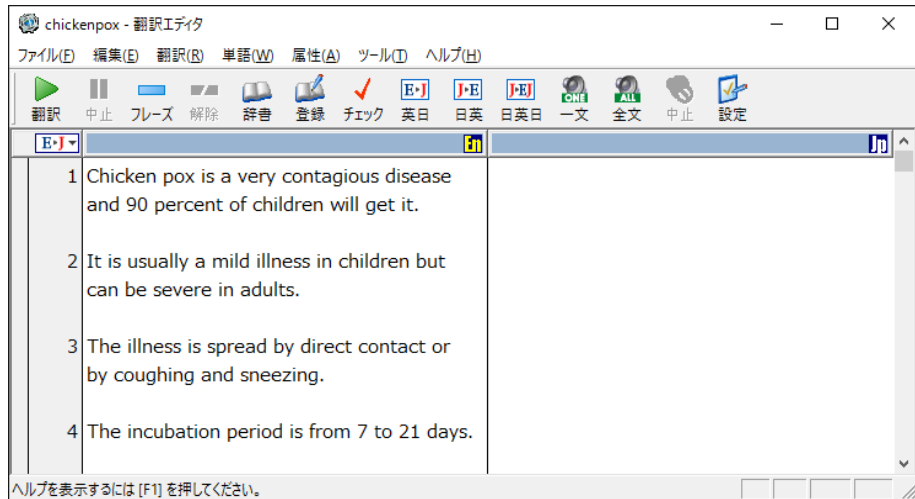


ファイル名リストの中に「chickenpox.txt」が表示されます。



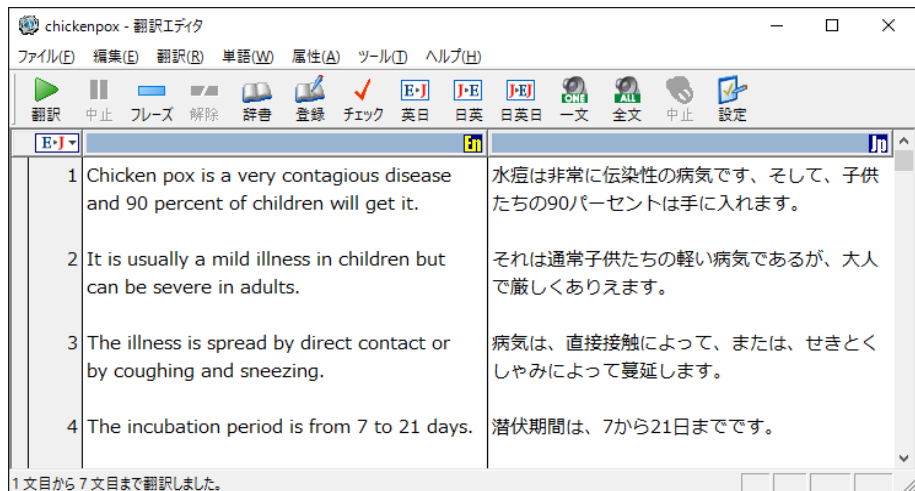
4. 「chickenpox.txt」をダブルクリックします。

「chickenpox.txt」が翻訳エディタの左側にある原文エリアに表示されます。



5. カーソルを文番号1に置いて、ツールバーの〈翻訳〉をクリックします。

翻訳が開始され、翻訳結果が訳文エリアに表示されます。



2.2.2 訳語の対応と訳語の変更

英日モードには、原文の単語がどの訳語に翻訳されたのかを確認する「英⇄日対応」機能と、複数の意味を持つ単語の別訳語リストを表示し、適切な訳語に入れ替える「訳語変更」機能があります。手順は以下のとおりです。

手順

1. 任意の単語をダブルクリックする（マウスの左ボタンを2回続けて押す）と「英⇄日対応」が実行されます。たとえば、文番号2の"mild"をダブルクリックします。

"mild"が反転表示すると同時に対応する訳語の「軽い」も反転表示します。

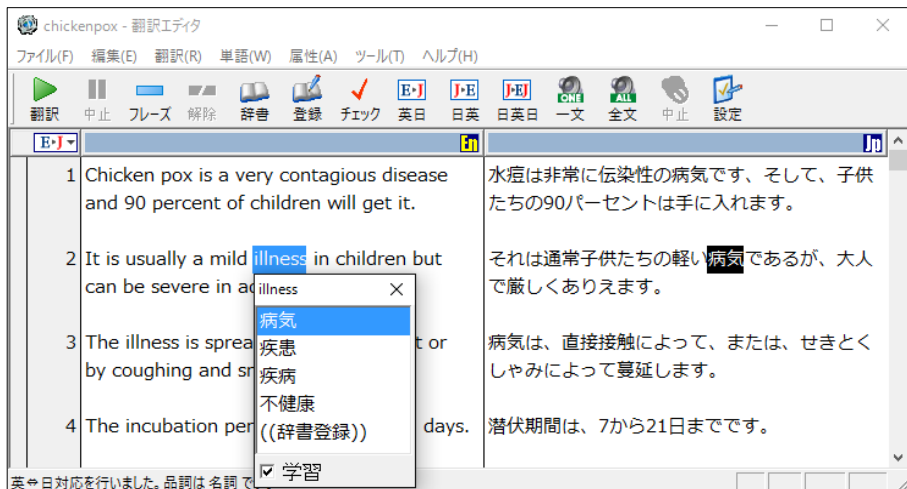
2	It is usually a mild illness in children but can be severe in adults.	それは通常子供たちの軽い病気であるが、大人で厳しくありえます。
---	---	---------------------------------

また、任意の訳語をダブルクリックすると、原文エリアの対応する語句も反転表示します。

次に「訳語変更」機能を実行します。

2. 任意の単語をトリプルクリックする（マウスの左ボタンを3回続けて押す）と「訳語変更」が実行されます。たとえば、同じ文の"illness"をトリプルクリックします。

対応する訳文エリアの「病気」が反転し、訳語の一覧が表示されます。



3. 例として「疾患」をダブルクリックします。

訳文エリアの「病気」が「疾患」に置き換わります。

"illness"をダブルクリックして変更した訳語を確認してください。

2	It is usually a mild illness in children but can be severe in adults.	それは通常子供たちの軽い疾患であるが、大人で厳しくありえます。
---	---	---------------------------------

変更した訳語は学習され、次回からその訳語が優先して使われるようになります。

【訳語の変更】



訳語変更で選択した訳語は学習され、同じ単語が似た使われ方をすると学習した訳語が採用されます。[ツール]－[設定]－[英日翻訳]で、「訳語を学習する」チェックボックスがオンの場合、訳語は学習されます。



【訳語変更ダイアログを閉じる】

訳語を変更せずに訳語ダイアログを閉じる場合は、Escキーを押すか、閉じるボタン (⌵) をクリックします。

2.2.3 ユーザー辞書（英語→日本語）に単語を登録

基本語辞書や専門語辞書に収録されていない単語や訳語をユーザー辞書に登録して、翻訳に反映することができます。

● 単語の登録

例としてユーザー辞書に"severe"を「重度の」と登録します。

手順

1. 文番号2の"severe"をダブルクリックして選択します。

"severe"が反転表示され、ステータスバーには、"severe"の品詞が「形容詞」と表示されます。

2. ツールバーの〈登録〉をクリックします。

辞書登録ダイアログが表示され、「見出し語」に"severe"、「品詞」に「形容詞」が自動的に入力されます。

3. 「訳語」に「重度の」と入力します。



4. 正しく入力したら、〈登録〉をクリックし、続けて〈閉じる〉をクリックします。

これで、ユーザー辞書に登録されました。

● ユーザー辞書を使用して翻訳

登録したユーザー辞書を使って再翻訳します。文番号の「2」をクリックし、一文翻訳を実行して、翻訳結果を確認します。

2	It is usually a mild illness in children but can be severe in adults.	それは通常子供たちの軽い疾患であるが、大人で 重度 でありえます。
---	--	--

ユーザー辞書の訳語が翻訳に反映されました。

メモ 翻訳結果の単語の場所を明確にするために上記の例では、単語の対応を反転表示しています。

2.3 日本語を英語に翻訳

ここでは、翻訳エディタを使って日本語を英語に翻訳する方法を説明します。

翻訳ピカイチに収録されている練習用ファイル「人工透析.txt」を使って、文書ファイルを読み込み、一括で翻訳します。

2.3.1 テキストファイルの翻訳

練習用ファイル「人工透析.txt」は、次の場所に保存されています。

Windows 7： [ライブラリ]→[ドキュメント]→[CrossLanguage]→[Pika1]→[learn]


Windows 8/8.1/10： [ユーザー名]→[ドキュメント]→[CrossLanguage]→[Pika1]→[learn]

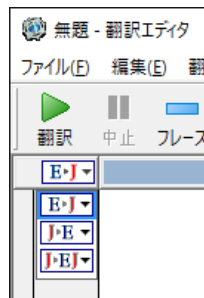
このファイルを読み込んで翻訳します。

手順

1. 日英日モードに設定します。

翻訳エディタが日英日モードになっていない場合は、ツールバーの<日英日モード>

をクリックするか、翻訳モードのボタンをクリックして表示されるプルダウンメニューから「JEJ」を選択します。

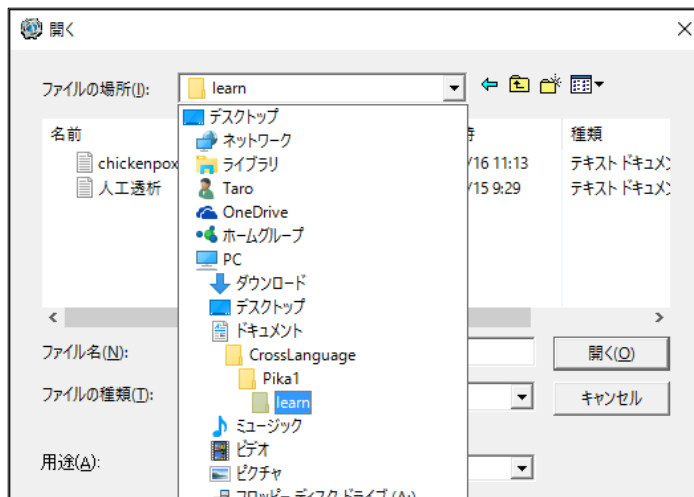


2. [ファイル]—[開く]を選択します。

開くダイアログが表示されます。

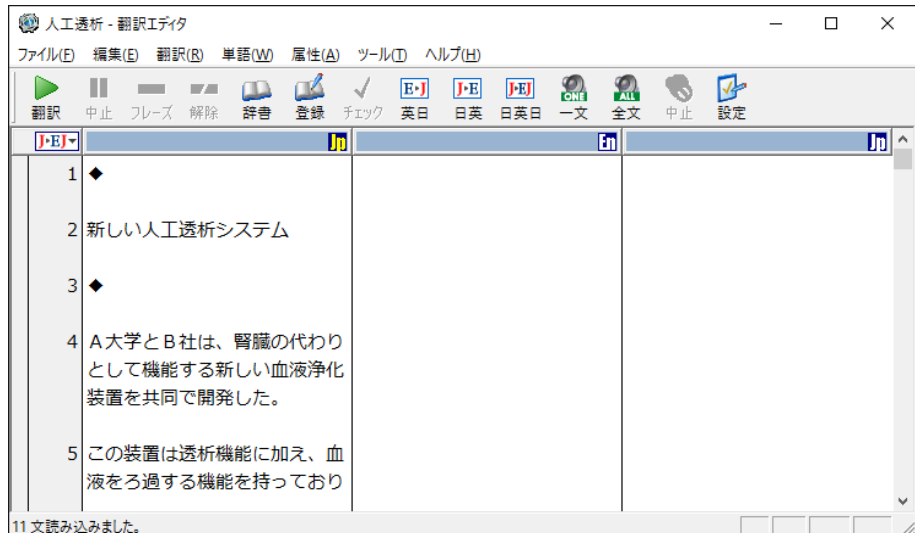
3. ファイルの場所を「learn」フォルダに変更します。

ファイル名リストの中に「人工透析.txt」が表示されます。



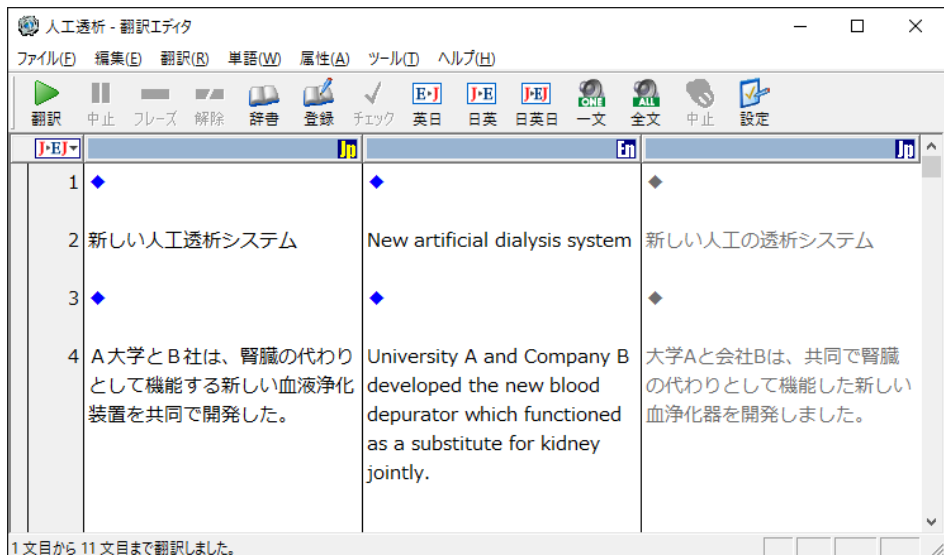
4. 「人工透析.txt」をダブルクリックします。

「人工透析.txt」が左側の原文エリアに表示されます。



5. カーソルを文番号1に置いて、ツールバーの〈翻訳〉をクリックします。

翻訳が開始され、翻訳結果が訳文エリアに表示されます。確認エリアには、訳文を翻訳した結果の和文が表示されます。



2.3.2 訳語の対応と訳語の変更

日英日モードには、原文の単語がどの訳語に翻訳されたのかわを確認する「日⇄英⇄日対応」機能と、複数の意味を持つ単語の別訳語リストを表示し、適切な訳語に入れ替える「訳語変更」機能があります。手順は以下のとおりです。

手順

1. 任意の単語をダブルクリックする（マウスの左ボタンを2回続けて押す）と「日⇄英⇄日対応」が実行されます。たとえば、文番号4の「腎臓」をダブルクリックします。「腎臓」が反転表示するのと同時に対応する訳語の"kidney"も反転表示します。

4	A大学とB社は、腎臓の代わりとして機能する新しい血液浄化装置を共同で開発した。	University A and Company B developed the new blood depurator which functioned as a substitute for kidney jointly.	大学Aと会社Bは、共同で腎臓の代わりとして機能した新しい血浄化器を開発しました。
---	---	---	--

2. 訳語対応は、訳文の単語をダブルクリックしても実行できます。たとえば、同じ文の"jointly"をダブルクリックします。

"jointly"が反転表示するのと同時に対応する原文エリアの「共同で」も反転表示します。

4	A大学とB社は、腎臓の代わりとして機能する新しい血液浄化装置を共同で開発した。	University A and Company B developed the new blood depurator which functioned as a substitute for kidney jointly.	大学Aと会社Bは、共同で腎臓の代わりとして機能した新しい血浄化器を開発しました。
---	---	---	--

このように、どちらのエリアからでも、対応表示できます。また、単語の対応を表示すると、「ステータスバー」にその単語の品詞が表示されます。対応を解除する場合は、反転していない任意の位置でマウスクリックします。

3. 任意の単語をトリプルクリックする（マウスの左ボタンを3回続けて押す）と「訳語変更」が実行されます。たとえば、文番号5の「装置」をトリプルクリックします。対応する訳文エリアの"device"が反転し、訳語の一覧が表示されます。

The screenshot shows the '人工透析 - 翻訳エディタ' (Artificial Dialysis - Translation Editor) window. The interface includes a menu bar (File, Edit, Translate, etc.), a toolbar with buttons for translation, stop, freeze, etc., and a main text area. The text area is divided into three panes: the source text (Japanese), the target text (English), and a glossary pane. In the glossary pane, the word '装置' (device) from sentence 5 is highlighted, and a dropdown menu shows a list of English equivalents: 'device', 'apparatus', 'system', 'installation', 'setting', 'unit', 'equipment', 'app.', 'arrangement', and 'brace'. The 'device' option is currently selected.

4. たとえばこの中から"equipment"をダブルクリックします。

原文エリアの"device"が"equipment"に置き換わります。

5	この装置は透析機能に加え、血液をろ過する機能を持っており、浄化能力は従来の人工透析より高い。	This equipment has a function to filter blood in addition to a dialysis function, and the ability for purification is higher than conventional artificial dialysis.	この器材には透析機能に加えて血を濾過するために機能があります、そして、浄化のための能力は従来の人工の透析より高いです。
---	--	--	---

変更した訳語は学習され、次回からその訳語が優先して使われるようになります。

【訳語の変更】



ヒント

訳語変更で選択した訳語は学習され、同じ単語が似た使われ方をすると学習した訳語が採用されます。[ツール]—[設定]—[日英翻訳]で、「訳語を学習する」チェックボックスがオンの場合、訳語は学習されます。



ヒント

【訳語変更ダイアログを閉じる】

訳語を変更せずに訳語ダイアログを閉じる場合は、Escキーを押すか、ダイアログの閉じるボタン（⌵）をクリックします。

2.3.3 ユーザー辞書（日本語→英語）に単語を登録

基本語辞書や専門語辞書に収録されていない単語や訳語をユーザー辞書に登録して、翻訳に反映することができます。

● 単語の登録

ここでは、例としてユーザー辞書に「新しい」を"novel"と登録します。

手順

1. 文番号2の「新しい」をダブルクリックして選択します。

「新しい」が反転表示され、ステータスバーには、「新しい」の品詞が「形容詞」と表示されます。

2. ツールバーの〈辞書登録〉をクリックします。

辞書登録ダイアログが表示され、「見出し語」に「新しい」、「品詞」に「形容(動)詞」が自動的に入力されます。

3. 「訳語」に"novel"と入力します。

辞書登録 - ユーザー辞書 (user.IDC)

英日 | 日英

見出し語(J) 新しい 比較級 |

訳語(E) novel 最上級 |

品詞(E) 形容(動)詞

活用型(J) 形容詞

見出し語 新しいはユーザー辞書に登録されていません

パターン | ~が

が

追加... 消去

参照(R) 登録(W) 削除(D) 閉じる

訳削除(T) 訳置換(L) 先頭に追加

4. 正しく入力したら、〈登録〉をクリックし、続けて〈閉じる〉をクリックします。

これで、ユーザー辞書に登録されました。

● ユーザー辞書を使用して翻訳

登録したユーザー辞書を使って再翻訳します。文番号の「2」をクリックし、一文翻訳を実行します。結果は以下のとおりです。

2	新しい人工透析システム	Novel artificial dialysis system	新しい人工の透析システム
---	-------------	----------------------------------	--------------

ユーザー辞書の訳語が翻訳に反映されました。

2.4 印刷

翻訳結果を印刷することができます。

手順

1. [ファイル]－[印刷]を選択します。

次のダイアログが表示されます。

2. <OK> をクリックします。

印刷が開始されます。印刷の進捗状況を示すダイアログが表示され、プリンタから結果が出力されます。

中止する場合は、<キャンセル> をクリックしてください。



ヒント

【日英日モードの印刷】

日英日モードの場合は、確認エリアを印刷する「日訳文のみ」と「対訳」の印刷に「英日」、「日英」、「日英日」が追加されます。

2.5 保存

翻訳情報を保持した「翻訳ファイル」の作成や、翻訳結果の訳文をテキストファイルに保存することができます。

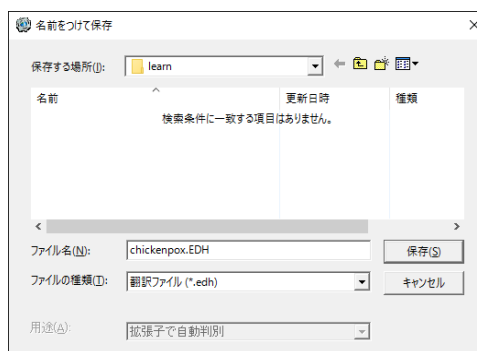
2.5.1 翻訳ファイルの保存

翻訳ファイルを作成する手順は以下のとおりです。

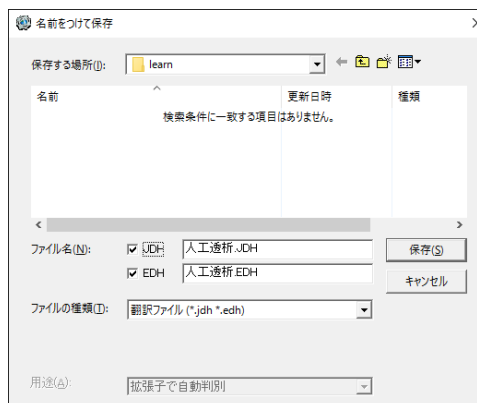
手順

1. [ファイル]－[名前を付けて保存]を選択します。

英日の場合



日英日の場合



どの方向の対訳文を保存するか選択できます。

2. 「ファイル名」に適切な名前を入力して〈保存〉をクリックします。

これで、「翻訳ファイル」として保存されました。翻訳ファイルには原文と訳文だけでなく単語の対応、訳語の変更など翻訳に使用された情報も保存されています。翻訳ピカイチでこのファイルを開くと、前回作業時の設定が戻り、同じ設定で翻訳作業を継続できます。



【上書き保存】

作業中の文書のファイル名や保存場所を変更せずに保存する場合は、[ファイル]－[上書き保存]を選択してください。

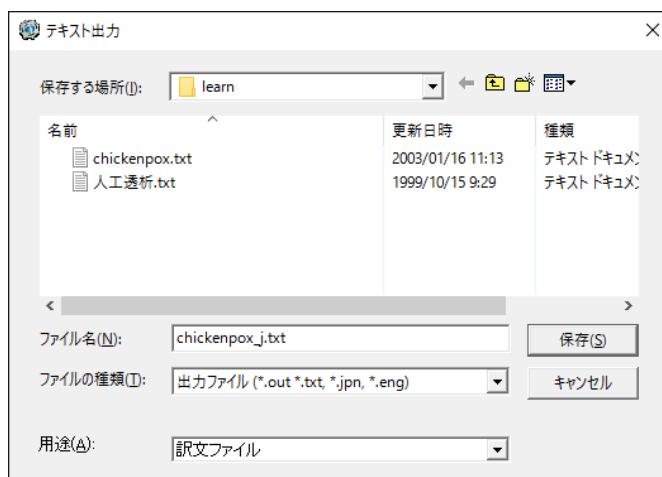
2.5.2 訳文の出力

翻訳結果の訳文をテキストファイルに出力する手順は以下のとおりです。

手順

1. **【ファイル】-【テキスト出力】**を選択します。
テキスト出力ダイアログが表示されます。

2. 「用途」で**「訳文ファイル」**を選択します。



3. **〈保存〉**をクリックします。

これで、chickenpox_j.txtという名前ですべて「訳文ファイル」として出力されました。訳文ファイルはテキストファイルなので、メモ帳やテキストエディタに読み込むことができます。

● テキスト出力のファイル形式

初期状態で出力するファイル名には、指定したテキストの種類が以下のように付加されます。

- 原文ファイル……………ファイル名.txt
- 対訳ファイル……………ファイル名.out
- 訳文ファイル……………ファイル名_A.txt

ここでAは翻訳結果の言語の頭文字を意味します。たとえば英日翻訳で訳文ファイルを出力する場合、ファイル名に"_j"が付加されます。詳細は『付録3 翻訳ピカイチが作成するファイル』をご覧ください。



翻訳ピカイチは「テキスト出力」で処理したファイルに対して、自動的にテキストの種類を付加します。保存時にファイル名を編集することができますが、この場合は、ファイルを開く際、開くダイアログの「用途」でファイルの種類を指定する必要があります。

3 アプリケーションの翻訳

翻訳ピカイチには、翻訳エディタのほかに、Microsoft Officeから翻訳、ホームページの翻訳、PDFファイルの翻訳など、便利な翻訳機能があります。
この章では、アプリケーションから実行する翻訳機能について説明します。

3.1 Microsoft Officeアドイン翻訳

翻訳ピカイチは、Word、Excel、PowerPoint、Outlookにある文章の翻訳や辞書引きなどが行えます。



【Officeアドイン翻訳の実行】

翻訳ピカイチが起動していない状態でも、Officeアドイン翻訳を実行することができます。

Microsoft Officeがインストールされているパソコンに、初期状態のまま翻訳ピカイチをインストールすると、「Wordアドイン翻訳」、「Excelアドイン翻訳」、「PowerPointアドイン翻訳」、「Outlookアドイン翻訳」機能がインストールされます。

アドイン機能の有効／無効の設定方法については、『3.1.8 アドイン翻訳機能の有効と無効』を参照してください。

3.1.1 アドイン翻訳の起動と翻訳言語の選択

各ソフトウェアにアドイン機能がインストールされると、次のようなアイコンがツールバーに表示されます。

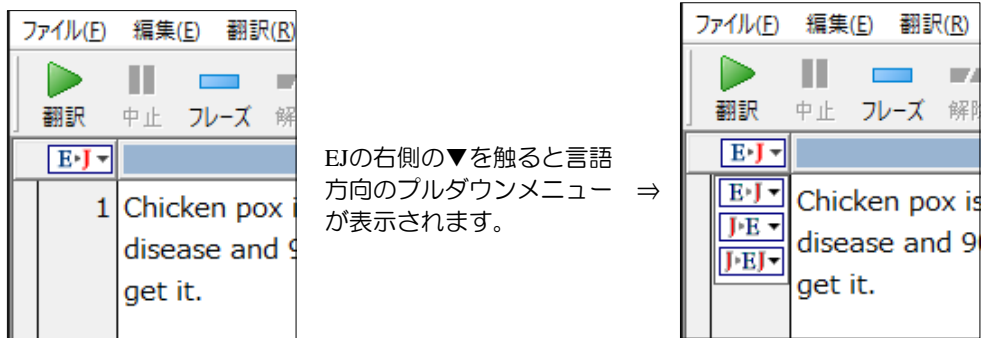


各アイコンの意味は以下のとおりです。

ツールバーのボタン	説明
Excel：ワークシート翻訳 PowerPoint：スライド翻訳	表示しているワークシートのみ/スライドのみを翻訳する（青い三角） ※Word、Outlookには搭載されていません
<全文翻訳>	表示している文書全体/ワークブック全体を翻訳する（緑の三角）
<選択範囲翻訳>	選択した範囲を翻訳する ※Outlookには搭載されていません
<辞書参照>	選択した語句を辞書引きする ※Outlookには搭載されていません
<辞書登録>	選択した語句をユーザー辞書に登録する ※Outlookには搭載されていません
<アドイン設定>	アドイン翻訳に関する各種設定を行う
<翻訳設定>	翻訳の条件や翻訳で使用する辞書の設定を行う
<ヘルプ>	Microsoft Officeアドイン翻訳のヘルプを表示する


● 翻訳言語の切り替え

英日翻訳と日英翻訳を切り替えるには、「英語—日本語」の横にある▼をクリックして表示されるプルダウンメニューから選択してください。



● 翻訳設定


翻訳条件の設定と翻訳で使用する辞書を設定することができます。

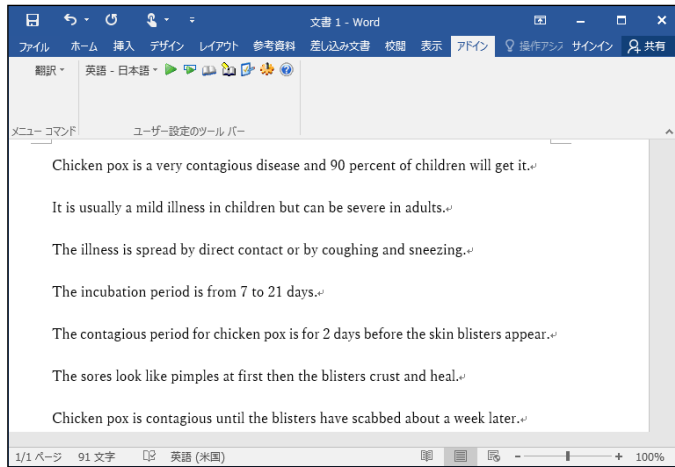
〈翻訳設定〉  をクリックすると、翻訳に関する設定ダイアログが表示されます。「英日（日英）翻訳」タブでは、翻訳の条件を設定します。詳しくは、『7.1 英日翻訳の設定』または『7.2 日英翻訳の設定』を参照してください。

「英日（日英）辞書」タブでは、翻訳で使用する辞書を設定します。詳しくは、『6.3 辞書設定とユーザー辞書の作成』を参照してください。

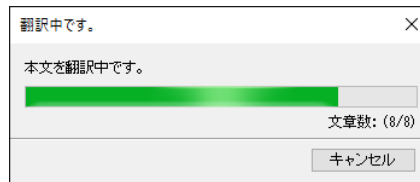
3.1.2 Wordの翻訳



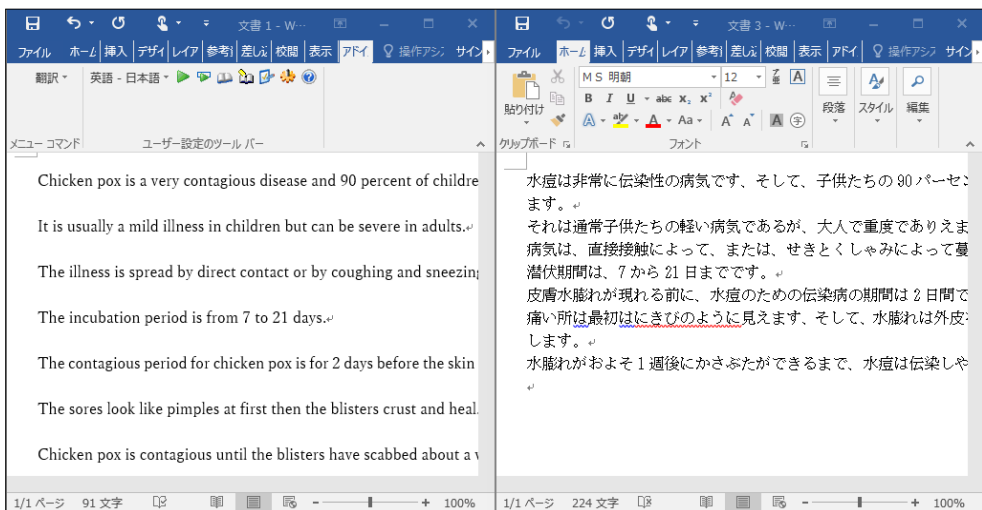
1. Wordで翻訳する文章を表示して〈全文翻訳〉をクリックします。




翻訳処理の進捗状況を示す次のプログレスバーが表示されます。



翻訳が終わると、元のWordウィンドウの横に翻訳結果のウィンドウが表示されます。

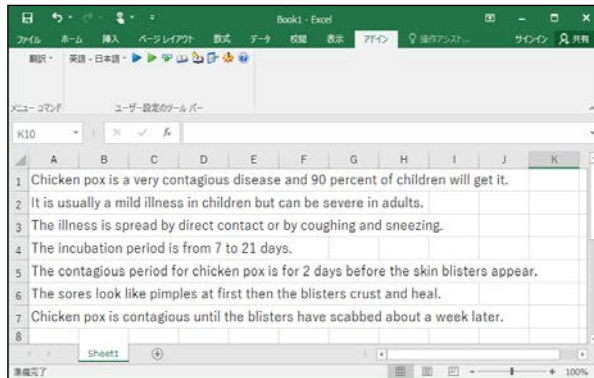


翻訳結果の表示方法、翻訳の際のスタイル、フィールドコードの扱いなどは、〈アドイン設定〉をクリックすると表示されるアドイン設定ダイアログで変更できます。

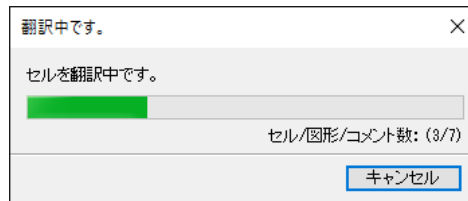
3.1.3 Excelの翻訳



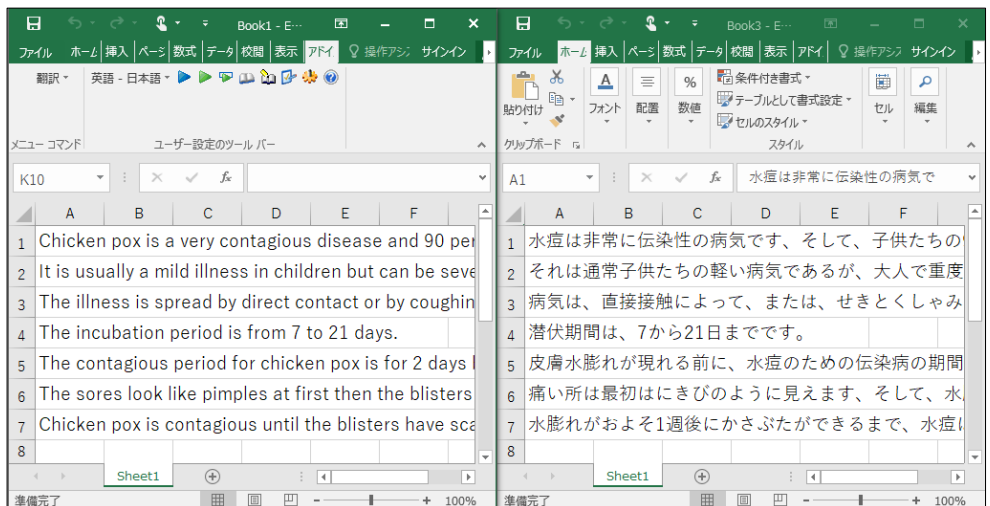
1. Excelで翻訳する文章を表示して〈ワークシート翻訳〉をクリックします。




翻訳処理の進捗状況を示す次のプログレスバーが表示されます。



翻訳が終わると、元のExcelウィンドウの横に翻訳結果のウィンドウが表示されます。




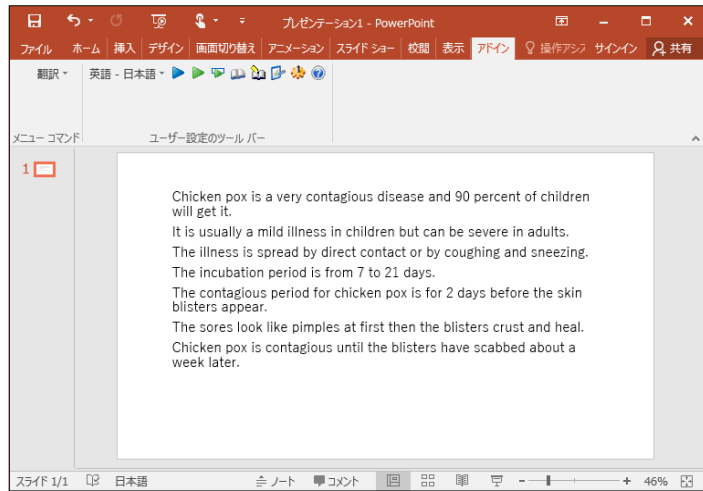
翻訳結果の表示方法、翻訳の際のスタイル、計算式の扱いなどは、〈アドイン設定〉

 をクリックすると表示されるアドイン設定ダイアログで変更できます。

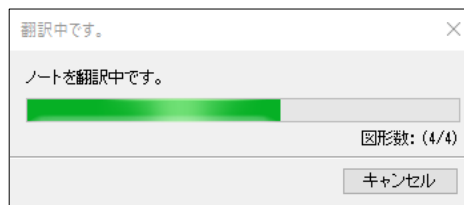
3.1.4 PowerPointの翻訳



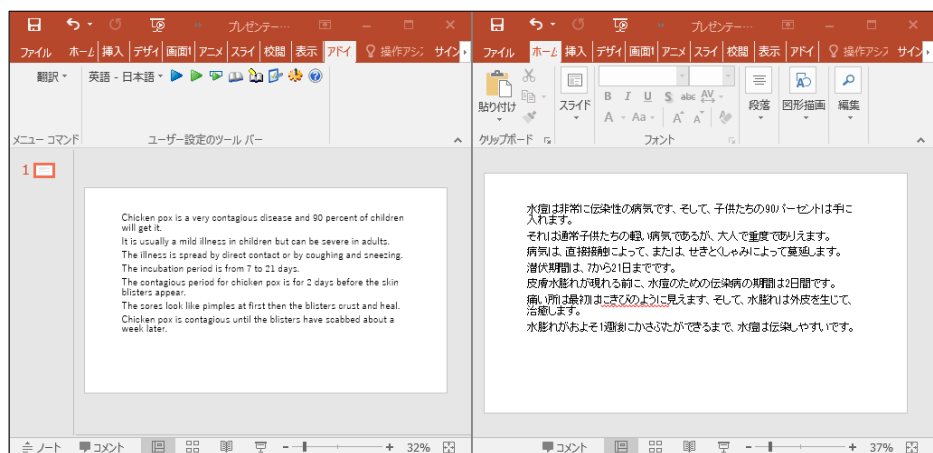
1. PowerPointで翻訳する文章を表示して〈スライド翻訳〉  をクリックします。




翻訳処理の進捗状況を示す次のプログレスバーが表示されます。



翻訳が終わると、元のPowerPointウィンドウの横に翻訳結果のウィンドウが表示されます。



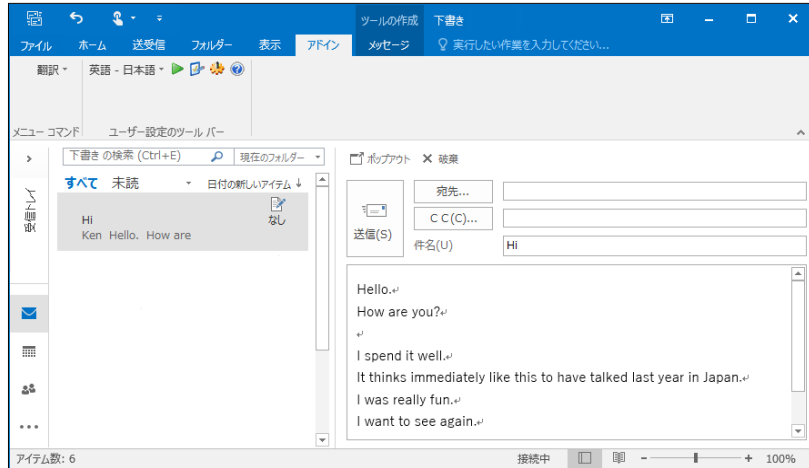
翻訳結果の表示方法、翻訳の際のスタイルなどは、〈アドイン設定〉  をクリックすると表示されるアドイン設定ダイアログで変更できます。

3.1.5 Outlookの翻訳

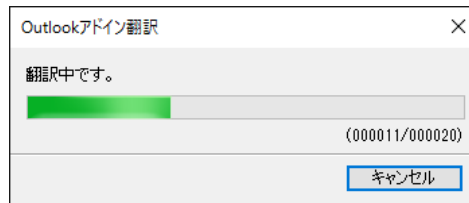
Outlookで受信したメールを翻訳する手順は以下のとおりです。

手順

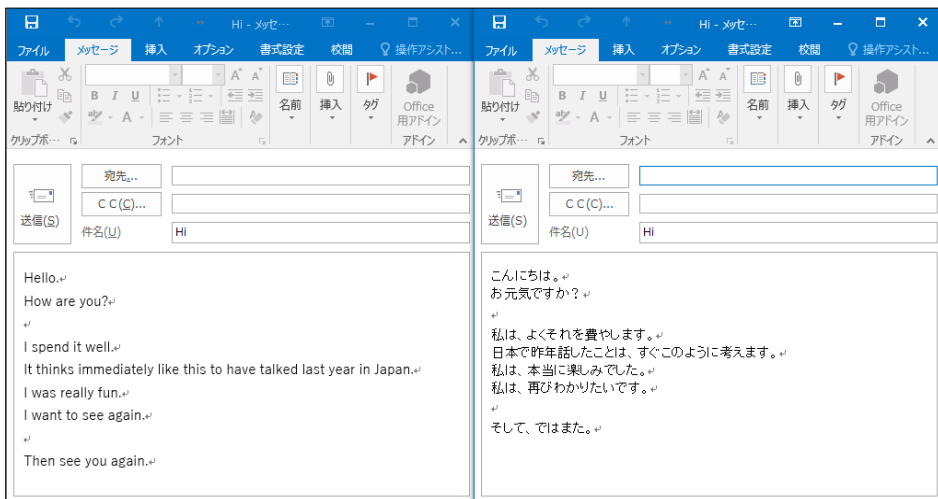
1. Outlookのメール一覧から翻訳したいメールをクリックして選択し、〈全文翻訳〉をクリックします。



翻訳処理の進捗状況を示す次のプログレスバーが表示されます。



翻訳が開始されます。翻訳結果は、元のウィンドウの横に表示されます。

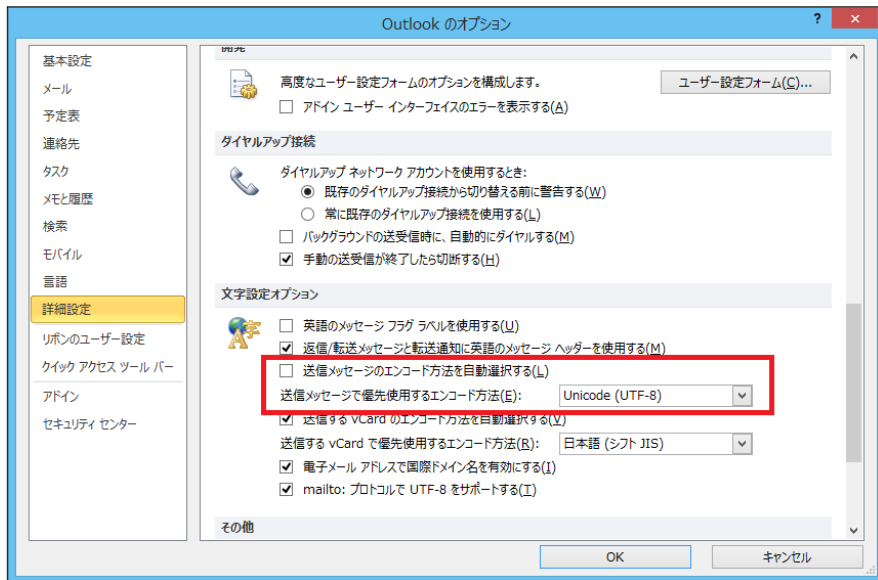


翻訳結果の表示方法、フォントの指定などは、〈アドイン設定〉をクリックすると表示されるアドイン設定ダイアログで変更できます。



Outlook2016で英語の翻訳ができない場合は、Outlookオプション—詳細設定の以下の項目のいずれかを確認してください。


- 「送信メッセージのエンコード方法を自動選択する(L)」のチェックを外す
- 「送信メッセージで優先使用するエンコード方法(E)」を「Unicode (UTF-8)」に変更する



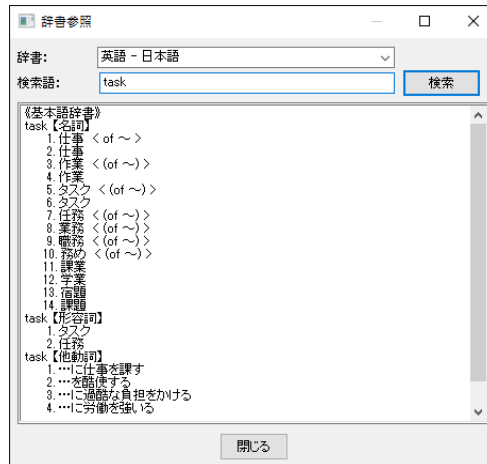
3.1.6 辞書引き

翻訳エディタを起動していない状態で、辞書引きすることができます。

手順

1. 辞書引きする語句を選択して〈辞書参照〉をクリックします。


選択した語句が「検索語」に自動的に入力されて、辞書引きの結果が表示されます。



2. 「辞書」で、辞書引きで使用する辞書を選択できます。

「検索語」に直接、語句を入力して〈検索〉をクリックしても辞書引きできます。

3.1.7 辞書登録

〈辞書登録〉をクリックすると、辞書登録ダイアログが表示されるので、ユーザー辞書への単語の登録や削除を行うことができます。

ユーザー辞書登録については、『6.4 英日用ユーザー辞書登録』と『6.5 日英用ユーザー辞書登録』を参照してください。

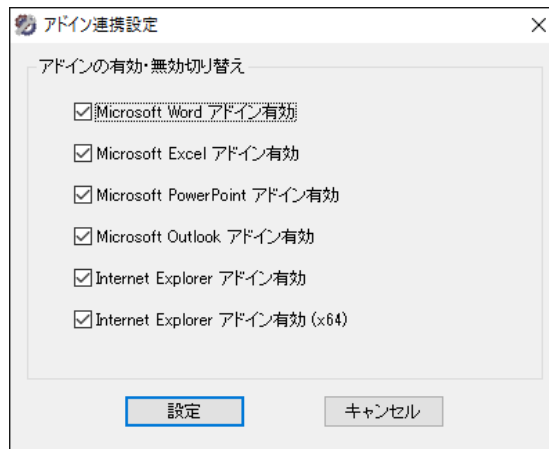
3.1.8 アドイン翻訳機能の有効と無効

アドイン機能を使用するかを指定することができます。

手順


1. 「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]（Windows10の場合は「すべてのアプリ」）－[Cross Languageツール]－[Cross Languageアドイン設定]を選択します。

アドイン設定ダイアログが表示されます。




2. 使用するアドイン機能のチェックボックスをオンにします。

チェックボックスがオンの場合、アドイン機能が有効になり使用できます。オフにするとアドイン機能が無効に設定されて使用できなくなります。

 WindowsのOSが32bitの場合は、「Internet Explorer アドイン有効 (x64)」は、選択できません。

3. 各項目を設定したら、〈設定〉をクリックします。

これで、アドイン機能が有効（無効）に設定されました。

 インストールしたユーザーと異なる名前でのログインし、Microsoft Officeアドインを使用する場合は、ここでMicrosoft Officeアドイン(Word, Excel, PowerPoint, Outlookの各アドイン)を「有効」に設定する必要があります。

3.2 ホームページの翻訳

「ホームページ翻訳」機能は、ブラウザに表示した文章や表などのレイアウトを保ったまま翻訳します。

「ホームページ翻訳」機能の有効／無効の設定方法については、『3.1.8 アドイン翻訳機能の有効と無効』を参照してください。

3.2.1 翻訳の前に

ホームページ翻訳は、Internet Explorerアドイン機能を使って実行します。Internet Explorerアドイン機能をインストールすると、翻訳ツールバーが表示され、翻訳が実行できるようになります。翻訳ツールバーが表示されない場合は、以下の手順で表示して下さい。(Windows10の専用ブラウザEdgeでは機能しません。IE11をご利用下さい。)

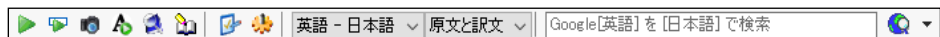
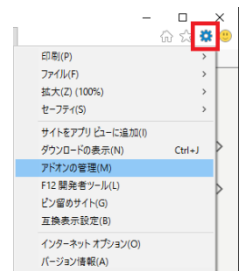
● 翻訳ツールバーの表示

Internet Explorerアドイン機能をインストールすると、翻訳ツールバーを表示することができます。翻訳ツールバーの表示方法は以下のとおりです。

手順

1. Internet Explorerを起動します。
2. Internet Explorerの[設定]－[アドオンの管理]を右のように選択し、「IE add-in translation」をONにします。


次の翻訳ツールバーが表示されます。

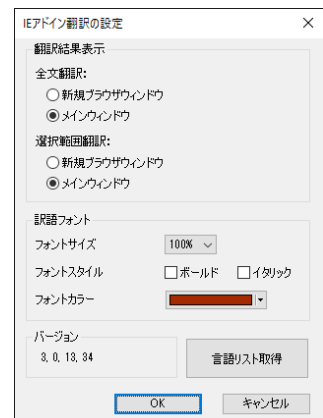


● 翻訳言語リストの取得

Internet Explorerアドイン機能をインストールすると、翻訳ツールバーに翻訳可能な言語ペアの一覧（翻訳言語リストボックス）が表示されます。表示されないときは、翻訳の前に翻訳言語リストを取得します。

手順

1. 翻訳ツールバーの〈設定〉をクリックし、設定画面を表示します。
2. 〈言語リスト取得〉をクリックします。
3. 〈OK〉をクリックし、設定ダイアログを閉じます。
これで、使用可能な翻訳言語がツールバーの言語リストに設定されました。



3.2.2 ホームページの翻訳

ホームページ翻訳の手順は以下のとおりです。

手順

1. Internet Explorerで翻訳するページを表示します。



2. 翻訳する言語ペアを選びます。ツールバーの「英語－日本語」の横の▼をクリックし、プルダウンメニューから言語ペアを選びます。
3. 「原文と訳文」の横の▼をクリックし、翻訳結果の表示方法を選びます。「原文と訳文」、「訳文のみ」、「訳振り」から選択できます。
4. ツールバーの〈翻訳〉▶をクリックします。

翻訳が開始されます。翻訳が終了すると、翻訳結果が表示されます。




【翻訳結果が正しくない場合】



各辞書に収録されていない単語は、未知語として原文のまま表示されます。また、フレームを含むページは翻訳できない場合があります。フレームを別ウィンドウで表示するか、翻訳できない部分は翻訳エディタを使って翻訳してください。

● 選択した文章の翻訳

ホームページ翻訳では、選択した文章のみを翻訳することができます。

Internet Explorerで翻訳するページを表示し、翻訳する文章をマウスでドラッグして選択します。次に〈選択範囲の翻訳〉をクリックすると、選択した文章が翻訳されます。




【選択範囲を翻訳した場合のレイアウト】

選択範囲の翻訳を行った場合、元のページのレイアウトは継承されません。


● キャプチャ翻訳

ホームページ翻訳では、選択した領域の文字認識を実行し、抽出した文章を翻訳する「キャプチャ翻訳」を実行することができます。

〈キャプチャ翻訳〉をクリックすると、キャプチャ翻訳が起動してマウスカーソルが「+」に変わります。キャプチャ翻訳については、『4.3 キャプチャ翻訳』を参照してください。


● ワンポイント翻訳

ワンポイント翻訳では、翻訳ピカイチを起動していない状態で、英日または日英翻訳を行う「ワンポイント翻訳」を実行することができます。


〈ワンポイント翻訳〉をクリックすると、ワンポイント翻訳が起動します。ワンポイント翻訳については、『4.4 ワンポイント翻訳』を参照してください。

● 辞書参照ツール

ホームページ翻訳では、翻訳で使用する辞書の参照を行う「辞書参照ツール」を起動することができます。


〈辞書参照ツール〉をクリックすると、辞書参照ツールが起動します。辞書参照ツールについては、『4.5 辞書参照ツール』を参照してください。

● 辞書登録

〈辞書登録〉をクリックすると、辞書登録ダイアログが表示されるので、ユーザー辞書への単語の登録や削除を行うことができます。

ユーザー辞書登録については、『6.4 英日用ユーザー辞書登録』と『6.5 日英用ユーザー辞書登録』を参照してください。

● 翻訳設定

翻訳条件の設定と翻訳で使用する辞書を設定することができます。〈翻訳設定〉をクリックすると、翻訳に関する設定ダイアログが表示されます。

「英日（日英）翻訳」タブでは、翻訳の条件を設定します。詳しくは、

『7.1 英日翻訳の設定』または『7.2 日英翻訳の設定』を参照してください。

「英日（日英）辞書」タブでは、翻訳で使用する辞書を設定します。詳しくは、『6.3 辞書設定とユーザー辞書の作成』を参照してください。

3.2.3 ホームページの翻訳検索

「翻訳検索」は、指定したキーワードをWebページで検索し、検索結果を翻訳してブラウザに表示します。

検索では、以下の検索エンジンを使用することができます。検索エンジンの追加方法については後述する『翻訳検索の設定』を参照してください。

検索エンジン：Google / Yahoo! / Wikipedia

ホームページ翻訳検索は、Internet Explorerアドイン機能を使って実行します。Internet Explorerアドイン機能をインストールすると、Internet Explorerに翻訳ツールバーが表示されます。翻訳ツールバーが表示されない場合『3.2.1 翻訳の前に』を参照して表示します。

翻訳検索の手順は以下のとおりです。

手順

1. Internet Explorerのツールバーの「英語－日本語」の横の▼をクリックし、プルダウンメニューから「英語－日本語」または「日本語－英語」を選びます。
2. 翻訳検索ボックスにキーワードを入力します。



キーワードは英日翻訳の場合は日本語、日英翻訳の場合は英語で入力します。

3. 翻訳検索アイコン の横の▼をクリックし、プルダウンメニューから検索エンジンを選択します。
選択した検索エンジンにチェックマークが付与されます。



4. 翻訳検索アイコン をクリックします。

翻訳検索ダイアログが表示されます。キーワードを指定せずに翻訳検索アイコンをクリックすると、検索エンジンのページが表示されます。

翻訳検索ダイアログでは、次の操作を実行することができます。

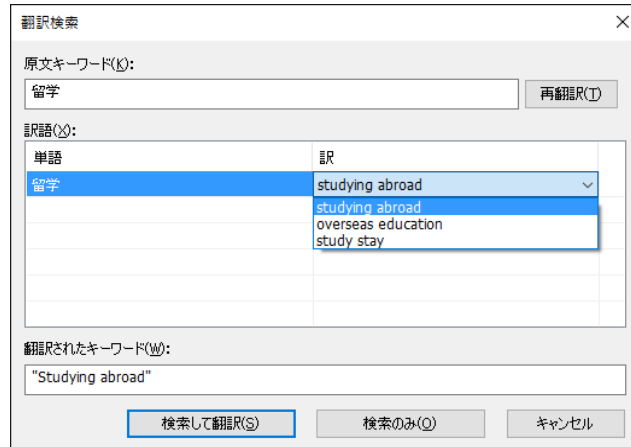
原文キーワードの翻訳

〈再翻訳〉をクリックすると、「原文キーワード」が翻訳されます。

訳語の変更

「単語」には、原文キーワードの語句が表示されます。原文キーワードが複合語の場合は各語の訳語が表示されます。たとえば、原文キーワードに「留学」と入力すると「留学」の訳語が表示されます。

訳語をダブルクリックすると、変更可能な訳語の一覧が表示されます。



任意の訳語をクリックすると、訳語が置き換わります。

翻訳されたキーワード

検索は、「翻訳されたキーワード」の語句で実行されます。

「翻訳されたキーワード」には、キーボードから直接入力することもできます。

5. 翻訳検索ダイアログで〈検索して翻訳〉をクリックすると、検索と翻訳が開始されます。


〈検索のみ〉をクリックすると、検索だけ実行されます。

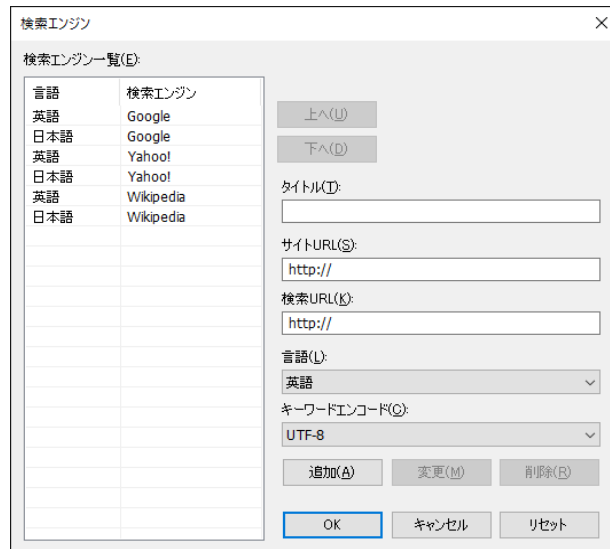
検索と翻訳が終了すると、翻訳結果が表示されます。



● 翻訳検索の設定

検索エンジンを指定します。

翻訳検索アイコン  の横の▼をクリックし、プルダウンメニューから「設定」を選択すると、次のダイアログが表示されます。



検索エンジン一覧


設定されている検索エンジンが一覧表示されます。

検索エンジンの追加/変更/削除

〈追加〉をクリックすると新規に検索エンジンが追加されます。

〈変更〉をクリックすると設定値が変更されます。

〈削除〉をクリックすると検索エンジン一覧から削除されます。

タイトル： 検索エンジンのタイトルを設定します。翻訳検索アイコン  の横の▼をクリックすると、ここで設定した名称が表示されます。

サイトURL： 検索エンジンのURLを指定します。

検索URL： 検索の際に使用するURLの設定（引数）を指定します。

言語： 検索対象となる言語を指定します。

キーワードエンコード

検索キーワードのエンコードを指定します。


上へ/下へ

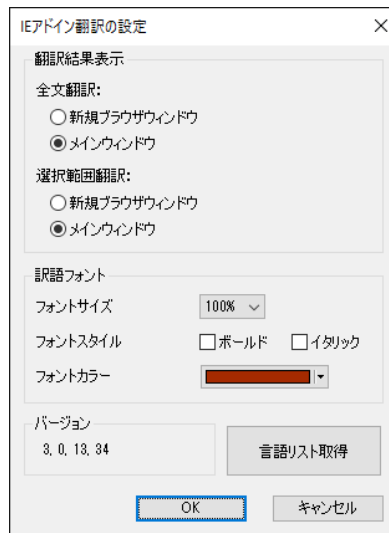
検索エンジンの順番を上下へ1段ずつ移動することができます。移動する辞書を選択して、次のいずれかのボタンをクリックします。

〈上へ〉 (1つ上へ移動)

〈下へ〉 (1つ下へ移動)

3.2.4 ホームページ翻訳の設定

ツールバーの〈設定〉をクリックすると、ホームページ翻訳の設定ダイアログが開きます。翻訳結果のウィンドウの表示方法や訳文のフォント・色を指定できます。



● 翻訳結果表示

翻訳結果を新規にブラウザを起動して表示するか、アクティブなブラウザに表示するかを設定します。

新規ブラウザウィンドウ	新規にブラウザを起動して翻訳結果を表示します。
メインウィンドウ	アクティブなブラウザに翻訳結果を表示します。

● 訳語フォント

翻訳結果ページに表示する訳文のフォントサイズ、スタイル、色を設定します。

フォントサイズ	訳文のフォントサイズを設定します。原文を100%としてパーセンテージで指定しますが、fontタグでサイズが指定されていると、原文に対するパーセンテージとならない場合があります。
フォントスタイル	訳文のフォントスタイルを設定します。
フォントカラー	訳文の色を設定します。

● 制限事項

1. 翻訳対象はテキストデータのみです。画像やFlashなどを翻訳することはできません。
2. 翻訳結果の訳文において、フォームが正しく機能しない場合があります。
3. HTML形式以外で作成された文書の翻訳はできません。
4. Internet ExplorerにGoogleツールバーをインストールしている場合、Googleツールバーの[設定]－[ツール]－[ポップアップブロッカー]にチェックマークをつけてオンにすると、翻訳結果を新規ブラウザウィンドウで表示することができません。
5. JavaScriptとFlashの両方を使用しているページの場合、翻訳結果のページでFlashが再生されないことがあります。

3.3 PDFダイレクトファイル翻訳

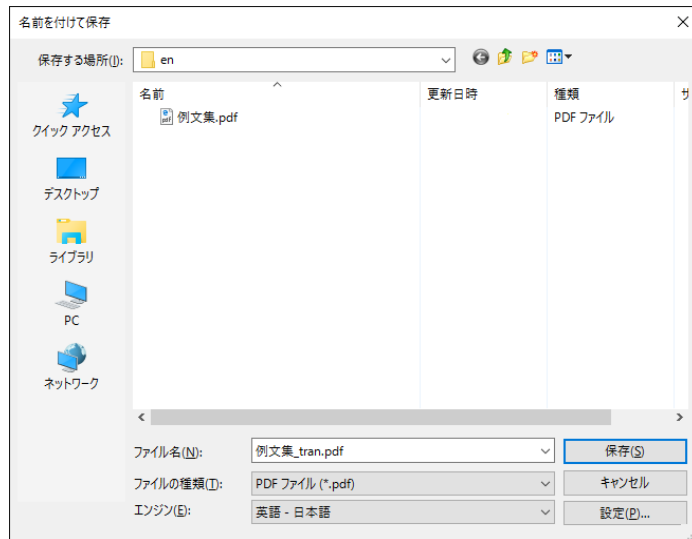
PDFダイレクトファイル翻訳では、翻訳ピカイチを起動することなく、PDFファイルを翻訳できます。

3.3.1 PDFダイレクトファイル翻訳の実行

PDFダイレクトファイル翻訳の実行は、以下の2つの手順で行えます。

手順

- 1a. コンテキストメニュー（デスクトップアイコンの右クリック）から実行
翻訳するPDFファイルのアイコンを右クリックし、ショートカットメニューから「ダイレクト翻訳」を選択します。名前を付けて保存ダイアログが表示されます。



「日本語 — 英語」の場合は「エンジン(E):」の方向を変更してください。

- 1b. アプリケーションを起動して実行
翻訳パレットの「ダイレクトファイル翻訳」をクリックし、以下の画面に、翻訳したいPDFファイルをドロップ（マウスでファイルをドラッグして上にかぶせる）すると、1aと同じ、名前を付けて保存ダイアログが表示されます。



2. 「保存する場所」で、翻訳結果のファイルを保存する場所を指定し、「ファイル名」で翻訳結果のファイル名を指定します。初期状態では、原文のファイル名に「_tran」が付加されます。

3. 「エンジン」で翻訳するエンジンを指定します。

〈保存〉をクリックすると、翻訳が実行されます。翻訳が終了すると、「保存する場所」に指定したフォルダに、翻訳結果のファイルが保存されます。



この機能は、PDFファイルを開いているアプリケーション上から実行することはできません。開かれている場合は、一旦閉じてから実行してください。

3.3.2 PDFダイレクトファイル翻訳の有効と無効

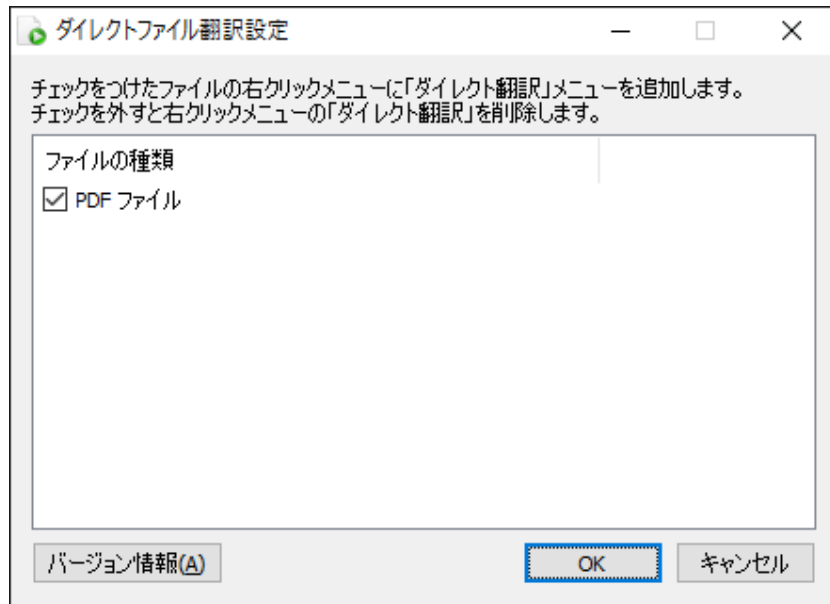
翻訳ピカイチをインストールすると、PDFダイレクトファイル翻訳機能がインストールされます。インストールの後、この機能を使用するかを指定することができます。

手順

1. 「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]—

[Cross Language ツール]—[Cross Languageダイレクトファイル翻訳設定]を選択します。

ダイレクトファイル翻訳設定ダイアログが表示されます。



2. 「PDFファイル」チェックボックスがオンの場合、右クリックで表示されるショートカットメニューに「ダイレクト翻訳」が追加されます。オフにするとショートカットメニューから「ダイレクト翻訳」が削除されます。

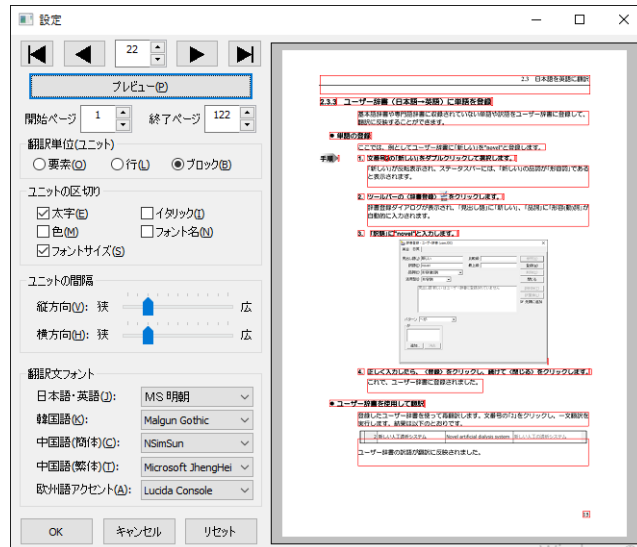
3. 〈OK〉をクリックします。

これで、PDFダイレクトファイル翻訳機能が有効、または、無効に設定されました。

3.3.3 PDFダイレクトファイル翻訳の設定

原文のPDFファイルに合わせて、翻訳の単位などを設定することで、より適切な翻訳を行うことができます。

PDFファイルを右クリックして、「ダイレクト翻訳」を選択し、ダイアログの〈設定〉をクリックすると、PDFダイレクトファイル翻訳の設定ダイアログが表示されます。



- 翻訳単位 (ユニット)

翻訳の単位を指定します。

要素： 原文PDFファイルデータの最小単位を指します。

行： 「ユニットの区切り」と「ユニットの間隔」の「横方向」の条件で、「要素」を結合したものを指します。

ブロック： 「ユニットの区切り」と「ユニットの間隔」の条件で、「行」を結合したものを指します。

- ユニットの区切り／ユニットの間隔

「翻訳単位 (ユニット)」で、「行」と「ブロック」を選択した際に、区切りと間隔を指定します。

- 翻訳文フォント

訳文のフォントを指定します。

それぞれの設定を行い、〈プレビュー〉をクリックすると、原文の翻訳単位が表示されます。〈OK〉をクリックすると、名前を付けて保存ダイアログに戻ります。

※制限事項

PDFダイレクトファイル翻訳の「設定」で設定できるフォントは、英語→日本語／日本語→英語、共通の設定となります。日本語→英語への翻訳結果も、日本語フォントで表示されます。

3.3.4 PDFダイレクトファイル翻訳の制限事項

PDFダイレクトファイル翻訳は、原文のPDFファイルからテキストを抽出し、翻訳結果のPDFファイルを作成します。翻訳結果ではフォントの種類、サイズ、レイアウトなどを原文と同様にします。

ただし、PDFファイルが作成された環境やPDFの状態によっては、翻訳できなかったり、翻訳結果のレイアウトが保てない場合があります。

以下の場合には翻訳できません。

- セキュリティ保護機能が使われているPDFファイル
- 文字部分が画像化されているPDF（スキャナで取り込まれたPDF）
- しおり機能が使われているPDFファイル
- フォームが使われているPDFファイル
- Adobe Acrobat 5.0以前の環境でFlate（Zip）以外の圧縮方法（LZWなど）で作成されたPDFファイル
- Windows以外のOSで生成されたPDFファイル

以下の場合にはレイアウトが保てません。

- 複雑なレイアウトで構成されているPDFファイル（DTPソフトなどから作成されたPDFファイル）
- 表が多用されているPDFファイル



ヒント

PDFファイルがうまく翻訳できない場合は、Adobe AcrobatまたはAcrobat ReaderでPDFを開いてテキストをコピーして、翻訳エディタの原文エリアにテキストを貼り付けて翻訳を行ってください。



ヒント

Adobe Acrobatをお持ちの場合、Adobe Acrobatで開いて、[印刷]からAdobe Acrobatを選択し、PDFに再保存することで、翻訳可能なPDFにできる場合があります。

4 翻訳パレット入門

「翻訳パレット」は、翻訳エディタ、ダイレクトファイル翻訳、キャプチャ翻訳、ワンポイント翻訳、翻訳パレットの環境設定などが可能なツールバーです。
この章では、翻訳パレットの起動、終了、機能と操作方法について説明します。

4.1 翻訳パレットの起動と終了

翻訳パレットの起動と終了方法について説明します。

4.1.1 翻訳パレットの起動

翻訳パレットは、デスクトップにある「翻訳ピカイチ V15 翻訳パレット」アイコンをダブルクリックすると起動します。

または、タスクバーの「スタート」ボタンをクリックして[すべてのプログラム]—[翻訳ピカイチ V15]—[翻訳ピカイチ V15 翻訳パレット]を選択すると起動します。

翻訳パレットが起動すると次のツールバーが表示されます。



メモ インストールされていない機能のボタンは翻訳パレットには表示されません。

翻訳パレットには、以下の機能があります。

- ① **翻訳エディタ**：「翻訳エディタ」を起動します。翻訳エディタでは、訳語の変更、ユーザー辞書の構築などを行えます。文章の内容をより詳しく理解したい場合や、正確な翻訳を行いたい場合などに使用します。
翻訳エディタについては『2 翻訳エディタ入門』を参照してください。
- ② **PDFダイレクトファイル翻訳**：PDFダイレクトファイル翻訳ツールを起動します。
- ③ **キャプチャ翻訳**：画像データを文字認識し、抽出した文章を翻訳します。
- ④ **ワンポイント翻訳**：翻訳エディタを起動しないで、翻訳を実行できます。
- ⑤ **辞書参照ツール**：翻訳ピカイチに搭載されている各種辞書の見出し語による辞書引きが行えます。
- ⑥ **メール翻訳パッド**：メール文を翻訳するツールを起動します。メール文に含まれる「>」などの引用符に関係なく翻訳します。
- ⑦ **訳振りパッド**：文章を翻訳せずに、文中の単語に訳語ルビを表示するツールです。
- ⑧ **設定**：翻訳パレットに表示するボタンの指定、翻訳パレットのバージョンの確認を行います。


● 翻訳パレットのボタンの並べ替え

初期状態では、翻訳パレットのボタンは横に並びます。
 翻訳パレットのタイトルバーをダブルクリックすると、ボタンを縦または横に並べ替えることができます。翻訳パレットのボタンを縦に並べると、ウィンドウを広く使うことができます。

4.1.2 翻訳パレットの終了

翻訳パレットの閉じるボタン（✕）をクリックすると翻訳パレットが終了します。

4.2 翻訳エディタ

〈翻訳エディタ〉のアイコンをクリックすることで翻訳エディタを起動します。
 Webページや他のアプリケーション内の文章を翻訳エディタに貼り付けて翻訳することができます。翻訳エディタでは、訳語の変更、辞書引き、ユーザー辞書の更新など、翻訳結果の編集を行うことができます。また、翻訳結果を印刷したり、テキストファイルに保存することができます。

4.3 キャプチャ翻訳

「キャプチャ翻訳」は、画像内の文字を認識し、抽出した単語、または文章を翻訳する機能です。

「キャプチャ翻訳」機能を使えば、画像（バナー等）で表示されたホームページ内の広告や宣伝文をキーボードから入力することなく、翻訳を実行することができます。


また、キャプチャ翻訳では、文字認識のみの実行も可能です。

本ツールの設定については、『4.9 ツールの設定』を参照してください。

4.3.1 キャプチャ翻訳の実行

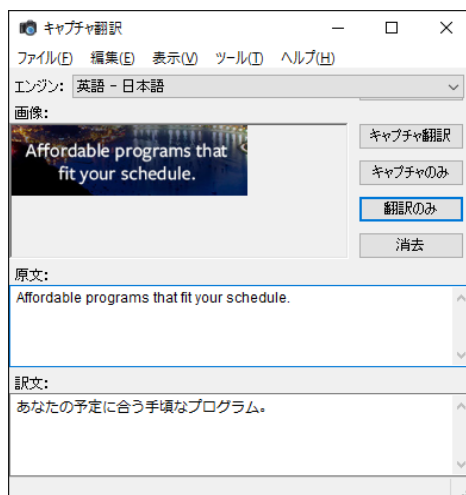
キャプチャ翻訳の手順は以下のとおりです。

手順

1. 翻訳パレットの〈キャプチャ翻訳〉をクリックします。
 キャプチャ翻訳が起動します。
2. 翻訳言語を選択します。「エンジン」の右端にある▼をクリックして表示される一覧から翻訳言語の組み合わせを選択します。
3. ダイアログの〈キャプチャ翻訳〉をクリックします。
 キャプチャ翻訳が開始され、マウスカーソルが「+」に変わります。
4. マウスをドラッグすると矩形が表示されるので、翻訳する部分を囲みます。



キャプチャ翻訳が開始されます。
結果はキャプチャ翻訳ウィンドウに表示されます。



「画像」には、文字認識の対象となる画像が表示されます。
「原文」：文字認識の結果が表示されます。
「訳文」：「原文」に入力された文章の翻訳結果が表示されます。
再度キャプチャ翻訳を実行する場合は、〈キャプチャ翻訳〉をクリックして、手順4のように、範囲を指定します。



ヒント


【「スタート」ボタンから起動】

キャプチャ翻訳は、「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]—[Cross Languageツール]—[Cross Languageキャプチャ翻訳]を選択して起動することができます。



ヒント

【Internet Explorerの翻訳ツールバーから起動】

Internet Explorerの翻訳ツールバーの〈キャプチャ翻訳〉をクリックすると、キャプチャ翻訳が起動します。



ヒント

【ホットキーで呼び出し】

キャプチャ翻訳は、ホットキーで呼び出すことができます。ホットキーの設定については、『4.9 ツールの設定』を参照してください。

● 中止

マウスカーソルが「+」に変わった後、キャプチャ翻訳を中止する場合は、Escキーを押します。

● 翻訳言語の指定

キャプチャ翻訳では、英日と日英翻訳を実行することができます。

「エンジン」には、翻訳を実行する言語が表示されます。

言語を変更する場合は、右端にある▼をクリックして表示される一覧から言語を指定します。

● 認識言語

英語または日本語を認識することができます。

認識言語は、「エンジン」で指定した翻訳言語の原語で指定されます。

「英語－日本語」の場合は英語、「日本語－英語」の場合は日本語の文字認識が実行されます。

● 認識可能な文字

文字認識は、白地に黒文字で、明朝またはゴシックフォントの場合に比較的高い精度で認識することができます。以下のケースでは、正しく認識できないことがあります。

- 背景に模様、影、ノイズなどがある
- 文字と背景色が識別しにくい（たとえば、水色や黄色などの背景色に白い文字。黒の背景色に青い文字。）
- 認識対象の画像の文字サイズが200 x 200dpi以下である
- 斜体、筆文字、ポップ文字などデザインされたフォントである

● 文字認識のみ実行

文字認識のみを実行する場合は、〈キャプチャのみ〉をクリックします。マウスカーソルが「+」に変わったら、文字認識を実行する範囲を指定します。

文字認識が実行されて、結果がキャプチャ翻訳ウィンドウに表示されます。

● 再翻訳

背景色と文字色のコントラストが不鮮明であったり、斜体、筆文字、ポップ文字のようにデザインされたフォントの場合、文字が正しく認識されないことがあります。このような場合は、「原文」ボックスの認識結果を修正してから〈翻訳のみ〉をクリックして、再翻訳を実行します。

● 翻訳設定

翻訳条件の設定と翻訳で使用する辞書を設定することができます。〈翻訳設定〉をクリックすると、翻訳に関する設定ダイアログが表示されます。

「英日（日英）翻訳」タブでは、翻訳の条件を設定します。詳しくは、

『7.1 英日翻訳の設定』または『7.2 日英翻訳の設定』を参照してください。

「英日（日英）辞書」タブでは、翻訳で使用する辞書を設定します。詳しくは、『6.3 辞書設定とユーザー辞書の作成』を参照してください。

4.3.2 キャプチャ翻訳の編集作業と表示機能

キャプチャ翻訳で行える編集作業と表示機能について説明します。

- **編集**

キャプチャ翻訳では、一般的なエディタと同じように、「原文」または「訳文」に表示されている文字列を選択して、編集メニューから[切り取り]、[コピー]などを行えます。


- **常に手前に表示**

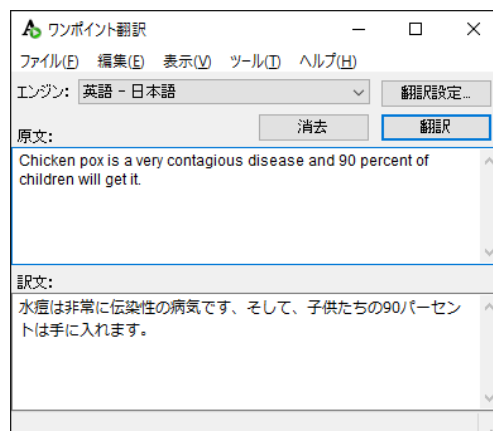
表示メニューの[常に手前に表示]にチェックマークが付与されている場合、キャプチャ翻訳は、常に最前面に表示されます。このコマンドを選択することにチェックマークのオン/オフが切り替わります。

4.4 ワンポイント翻訳

「ワンポイント翻訳」では、翻訳エディタを起動していない状態でも、すばやく翻訳を実行できます。ここでは、ワンポイント翻訳の手順について説明します。本ツールの設定については、『4.9 ツールの設定』を参照してください。

手順

1. 翻訳パレットの〈ワンポイント翻訳〉をクリックします。
ワンポイント翻訳ウィンドウが表示されます。
2. 翻訳言語を選択します。「エンジン」の右端にある▼をクリックして表示される一覧から翻訳言語の組み合わせを選択します。
3. 「原文」に翻訳したい文を入力し〈翻訳〉をクリックします。
「訳文」に翻訳結果が表示されます。



● 翻訳設定

翻訳条件の設定と翻訳で使用する辞書を設定することができます。〈翻訳設定〉をクリックすると、翻訳に関する設定ダイアログが表示されます。「英日（日英）翻訳」タブでは、翻訳の条件を設定します。詳しくは、『7.1 英日翻訳の設定』または『7.2 日英翻訳の設定』を参照してください。「英日（日英）辞書」タブでは、翻訳で使用する辞書を設定します。詳しくは、『6.3 辞書設定とユーザー辞書の作成』を参照してください。




【「スタート」ボタンから起動】

ワンポイント翻訳は、「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Cross Languageツール] - [Cross Languageワンポイント翻訳]を選択して起動することができます。



【Internet Explorerの翻訳ツールバーから起動】

Internet Explorerの翻訳ツールバーの〈ワンポイント翻訳〉をクリックすると、ワンポイント翻訳が起動します。



【ホットキーで呼び出し】

ワンポイント翻訳は、ホットキーで呼び出すことができます。ホットキーの設定については、『4.9 ツールの設定』を参照してください。

4.5 辞書参照ツール

辞書参照ツールは、翻訳で使用する辞書の参照を行うツールです。翻訳エディタを起動していない状態で、辞書参照ツールを使用することができます。

ここでは、辞書参照ツールの起動と終了、辞書引きの手順について説明します。本ツールの設定については、『4.9 ツールの設定』を参照してください。

辞書を参照する手順は、以下のとおりです。

手順

1. 翻訳パレットの〈辞書参照ツール〉をクリックします。

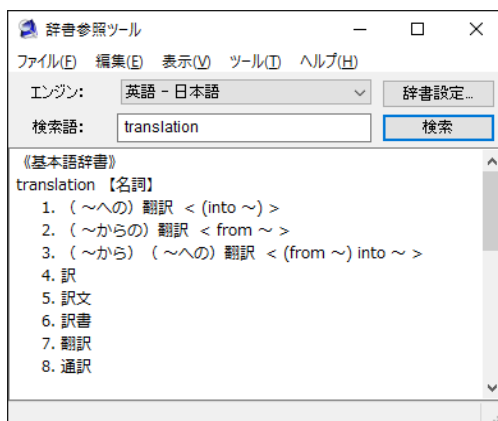
辞書参照ツールが起動します。

2. 「エンジン」の辞書名一覧から、検索する辞書を選択します。

3. 「検索語」に検索する語句を入力して、〈検索〉をクリックします。

右のように検索結果が表示されます。

4. 辞書参照を終了するには、右上の閉じるボタン (☒) をクリックするか [ファイル] - [終了] を選択します。



● 辞書設定

翻訳で使用する辞書を設定することができます。

〈辞書設定〉をクリックすると、辞書設定ダイアログが表示されます。

辞書設定ダイアログについては、『6.3 辞書設定とユーザー辞書の作成』を参照してください。




【「スタート」ボタンから起動】

辞書参照ツールは、「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Cross Languageツール] - [Cross Language辞書参照ツール] を選択して起動することができます。



【Internet Explorerの翻訳ツールバーから起動】

Internet Explorerの翻訳ツールバーの〈辞書参照ツール〉をクリックすると、辞書参照ツールが起動します。



【ホットキーで呼び出し】

辞書参照ツールは、ホットキーで呼び出すことができます。ホットキーの設定については、『4.9 ツールの設定』を参照してください。

● 参照する辞書

辞書参照ツールでは、[ツール] - [設定] - [英日 (日英) 辞書] で設定されている辞書から検索を行います。


参照する辞書を変更する場合は、まず、『6.3 辞書設定とユーザー辞書の作成』を参照して、使用する辞書を変更します。

次に、辞書参照ツールを再起動するか、または、辞書参照ツールでいったん別の辞書を選択してから、再度目的の辞書を選択して、検索を実行します。

4.6 メール翻訳パッド


「メール翻訳パッド」では、メールソフトで送受信したメールや送信用に作成したメッセージを翻訳することができます。

● 起動

翻訳パレットの〈メール翻訳パッド〉をクリックすると起動します。


または、「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]—[Cross Languageツール]—[Cross Languageメール翻訳パッド]を選択して起動します。

常駐

メール翻訳パッドを起動すると、タスクトレイに常駐され、タスクトレイにはメール翻訳パッドのアイコンが右のように表示されます。

アイコンが隠れてしまい表示されない場合は、通知領域にある△をクリックして、通知領域を拡大するとアイコンを確認することができます。

● 終了

タスクトレイにあるメール翻訳パッドのアイコンを右クリックすると表示されるショートカットメニューの「終了」を選択します。

● メールの翻訳

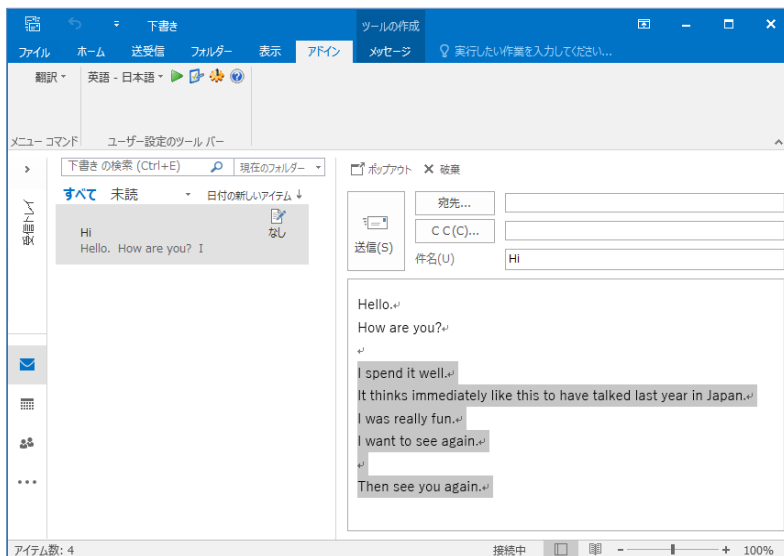
メールメッセージを翻訳する手順は以下のとおりです。

手順

1. 翻訳パレットの〈メール翻訳パッド〉をクリックします。

メール翻訳パッドが起動してタスクトレイに常駐します。


2. メールソフトで翻訳するメッセージを選択します。

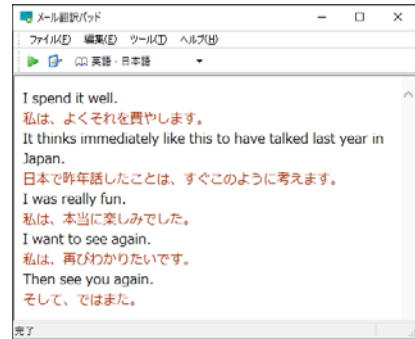


3. Ctrl+Mを押します。


翻訳が実行され、翻訳結果がメール翻訳パッドに表示されます。

言語の選択

ツールバーの〈翻訳モード〉  英語・日本語 ▾ をクリックして、翻訳言語を選択します。

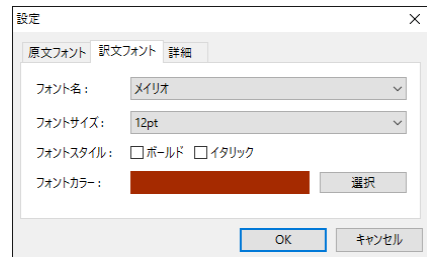


● 環境の設定

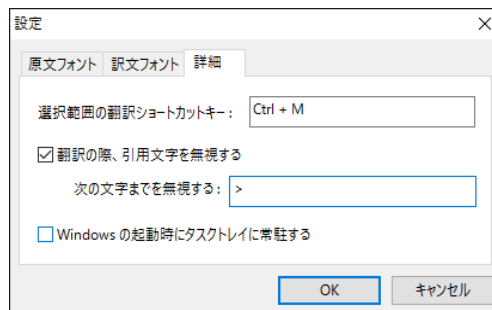
メール翻訳パッドで使用するフォントや翻訳を実行するショートカットキーの設定などを行います。環境の設定は、ツールバーの〈設定〉  をクリックするか、[ツール] - [設定] をクリックすると表示されるダイアログで行います。

● 「原文フォント」タブと「訳文フォント」タブ

原文と訳文で使用するフォント、サイズ、スタイルを指定します。フォントの色を変更する場合は、〈選択〉をクリックすると表示される色の設定ダイアログで色を指定します。



● 「詳細」タブ



選択範囲の翻訳ショートカットキー

選択した範囲の翻訳を実行するキー操作を設定します。

初期状態では、CtrlキーとMキーを同時に押すと実行されます。

「選択範囲の翻訳ショートカットキー」ボックスにカーソルを置いて、任意のキーを押すと設定を変更することができます。

翻訳の際、引用文字を無視する

翻訳には必要ない引用文字を削除することができます。まず、「翻訳の際、引用文字を無視する」チェックボックスをオンにして、「次の文字までを無視する」に削除する引用文字を入力します。

Windowsの起動時にタスクトレイに常駐する

このチェックボックスがオンの場合、Windowsの起動時にメール翻訳パッドをタスクトレイに常駐します。

オフの場合は、翻訳パレットから起動した場合に、タスクトレイに常駐します。

4.7 訳振りパッド

訳振りパッドでは、文書全体または、選択した文章に訳語ルビを表示することができます。単語や語句の意味を調べたり、文を斜め読みして大まかな内容を把握するのに便利です。

また、文章を翻訳してフォントの変更、画像の移動などの修正を行うこともできます。編集、翻訳した結果はHTMLファイルに保存できます。

● 起動

翻訳パレットの〈訳振りパッド〉をクリックすると起動します。

または、「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]－[Cross Languageツール]－[Cross Language訳振りパッド]を選択して起動します。


● 終了


[ファイル]－[アプリケーションの終了]を選択するか、「閉じるボタン (X)」をクリックすると終了します。

● 文書の翻訳

手順


1. [ファイル]－[開く]を選択して、HTMLファイルを読み込みます。または、他のアプリケーションの文章をコピーして、メイン画面に貼り付けます。文章を直接、メイン画面に入力することもできます。

2. ツールバーの〈翻訳モード〉 をクリックして、翻訳言語を選択します。

3. ツールバーの〈表示モード〉 をクリックして、翻訳結果の表示方法を選択します。

翻訳結果には、以下の表示形式があります。



- 原文と訳文：原文の下に翻訳結果を表示
- 訳振り：原文の上に訳語ルビを表示
- 訳文のみ：画像や書式はそのまままで翻訳結果のみを表示

4. [ツール]－[全文翻訳]を選択するか、ツールバーの〈翻訳〉 をクリックします。メイン画面にある文書が一括で翻訳されます。




● 選択した文章の翻訳

手順

1. メイン画面で翻訳する文章をマウスでドラッグして選択します。
2. ツールバーの〈翻訳モード〉  英語 - 日本語 をクリックして、翻訳言語を選択します。
3. ツールバーの〈表示モード〉  原文と訳文 をクリックして、翻訳結果の表示方法を選択します。

翻訳結果には、以下の表示形式があります。

- 原文と訳文：原文の下に翻訳結果を表示
- 訳振り：原文の上に訳語ルビを表示
- 訳文のみ：画像や書式はそのままに翻訳結果のみを表示

4. [ツール] - [選択範囲翻訳] を選択するか、ツールバーの〈選択範囲翻訳〉  をクリックします。

選択した文章が翻訳されます。

● 保存

メイン画面の文書をHTML形式で保存することができます。

ページタイトル

ホームページのタイトルを指定することができます。

[ツール] - [設定] - [ページ] を選択します。「タイトル」にページのタイトルを入力します。

プレビュー

メイン画面の文書をブラウザで表示することができます。

[表示] - [プレビュー表示] を選択するとメイン画面の文書をブラウザで表示します。プレビュー表示を行う場合は、メイン画面の文書をファイルに保存する必要があります。

保存


メイン画面の文書をHTMLファイルに保存します。

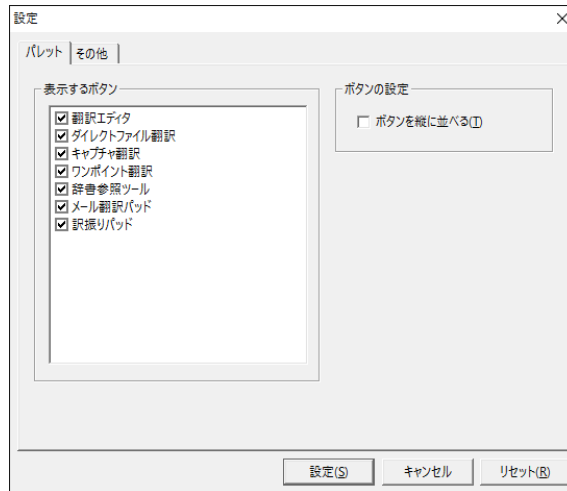
[ファイル] - [名前を付けて保存] を選択すると名前を付けて保存ダイアログが表示されるので、適切なファイル名を指定して保存します。

保存したファイルは、ブラウザで表示することができます。

4.8 翻訳パレットの設定

翻訳パレットに表示するボタン、バージョンなどの設定を行います。

翻訳パレットの〈設定〉をクリックすると、次の設定ダイアログが表示されます。



各タブをクリックして適切な環境設定を行います。

〈設定〉をクリックすると、設定内容が適用されます。

〈リセット〉をクリックすると、設定内容が初期状態に戻ります。

● 「パレット」タブ

「パレット」タブでは、以下の設定を行います。

● 表示するボタン

翻訳パレットに表示するボタンを設定します。チェックボックスをオンにしたボタンが翻訳パレットに表示されます。

● ボタンの設定

初期状態で翻訳パレットのボタンは横に並んでいます。「ボタンを縦に並べる」チェックボックスがオンの場合、ボタンは縦に並びます。

● 「その他」タブ

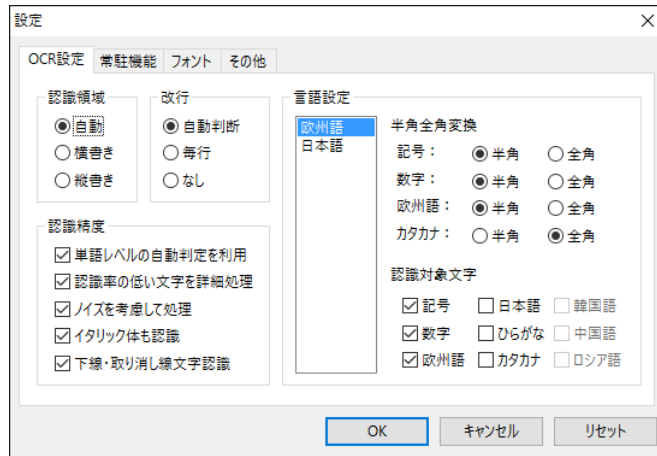
「その他」タブの〈バージョン情報〉をクリックすると、翻訳パレットのバージョンが表示されます。

4.9 ツールの設定

ここでは、キャプチャ翻訳の環境設定を中心に以下のツールの設定について説明します。

- キャプチャ翻訳
- ワンポイント翻訳
- 辞書参照ツール

各ツールで[ツール]－[オプション]を選択すると、オプション設定ダイアログが表示されます。



4.9.1 OCR設定



OCR設定はキャプチャ翻訳のみの機能です。

「OCR設定」タブでは、文字認識の対象である領域の文字の方向、認識する言語、認識結果の処理方法などについて設定します。

● 認識領域

認識対象とする文字の方向が横書きか縦書きか指定します。

● 改行

画像文書での改行に対し、認識結果に改行記号を追加するか、または自動的に判断するかを設定します。

● 認識精度

単語レベルの自動判定を利用

このチェックボックスがオンの場合、文字認識時、システムが保持している辞書を参照して文字の並び（スペルチェック）を解析し、誤認識を検出します。

認識率が低い文字を詳細処理

このチェックボックスがオンの場合、認識できない画像パターンに対して、いくつものパターンと比較して認識結果を出力します。

ノイズを考慮して処理

原稿にノイズが多い場合に、このチェックボックスをオンにします。

イタリック体も認識

原稿にイタリック体が含まれている場合に、このチェックボックスをオンにします。

下線・取り消し線文字認識

原稿に下線・取り消し線文字が含まれている場合に、このチェックボックスをオンにします。

- **言語設定**

文字認識エンジンの言語ごとの設定を行います。文字認識エンジンの言語は、「エンジン」に設定されている原語です。「エンジン」が「英語 - 日本語」の場合は「欧州語」、「日本語 - 英語」の場合は「日本語」を選択します。

半角全角変換

各文字について、全角で出力するか半角で出力するか指定します。

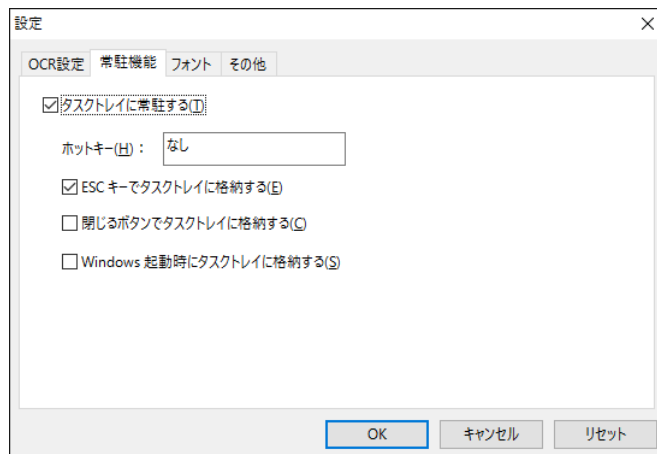
認識対象文字

認識を行う記号と文字を指定します。

4.9.2 常駐機能

「常駐機能」タブでは、タスクトレイに常駐させる設定ができます。

「常駐機能」タブをクリックすると次のダイアログが表示されます。



- **タスクトレイに常駐する**

タスクトレイを使うかを指定します。このチェックボックスがオンの場合、キャプチャ翻訳を最小化すると非表示になり、タスクトレイに格納されます。また、以下の設定を行うことができます。

ホットキー

タスクトレイにあるキャプチャ翻訳をキー操作で呼び出すためのホットキーを設定します。

Escキーでタスクトレイに格納する

このチェックボックスがオンの場合、Escキーを押すと、キャプチャ翻訳は最小化してタスクトレイに格納されます。

閉じるボタンでタスクトレイに格納する

このチェックボックスがオンの場合、キャプチャ翻訳の閉じるボタン（☒）をクリックすると、最小化してタスクトレイに格納されます。

Windows起動時にタスクトレイに格納する

このチェックボックスがオンの場合、Windows起動時にキャプチャ翻訳が起動します。

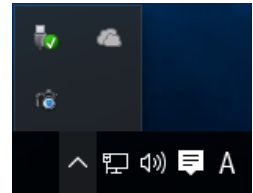
**【タスクトレイからの取り出し】**

タスクトレイに格納されている場合、タスクトレイアイコンをクリックすると、キャプチャ翻訳を表示することができます。

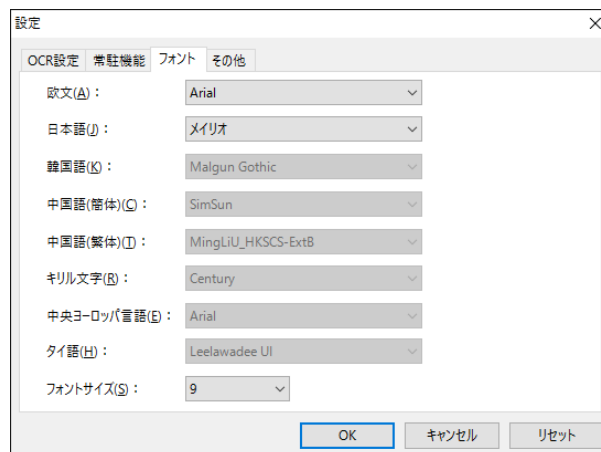
● **タスクトレイについて**

タスクトレイはタスクバーの右端に配置され、起動中のツールのアイコンを表示することができます。たとえば翻訳ピカイチでキャプチャ翻訳をタスクトレイに常駐させると、次のように表示されます。

アクティブでないアイコンが隠れて表示されない場合は、通知領域にある△をクリックして、通知領域を拡大し、表示されるアイコンをクリックして選択します。

**4.9.3 フォント**

「フォント」タブでは、「原文」と「訳文」で使用するフォントを指定します。「フォント」タブをクリックすると次のダイアログが表示されます。

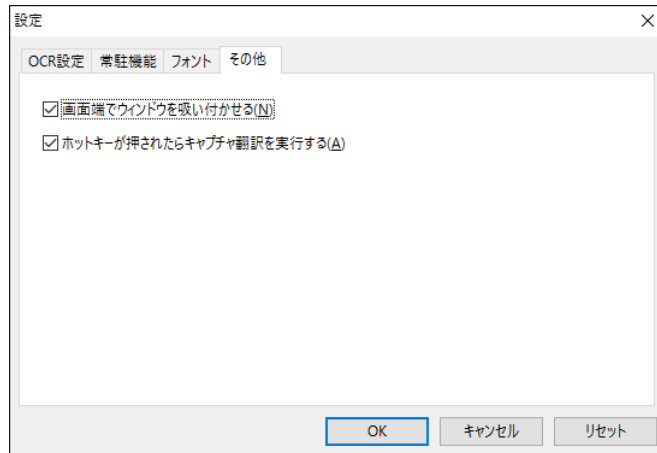


各言語の右端にある▼をクリックして表示される一覧からフォントを選択します。

4.9.4 その他

「その他」タブでは、キャプチャ翻訳ウィンドウの配置方法と翻訳を実行するタイミングを指定します。

「その他」タブをクリックすると次のダイアログが表示されます。



- **画面端でウィンドウを吸い付かせる**

このチェックボックスがオンの場合、ウィンドウを移動させてもパソコンの画面の枠内に配置されます。

- **ホットキーが押されたらキャプチャ翻訳を実行する（キャプチャ翻訳の設定）**

このチェックボックスがオンの場合、「常駐機能」タブで設定した「ホットキー」を押下するとキャプチャ翻訳を呼び出すことができます。

- **ホットキーが押されたらクリップボードのテキストを辞書引きする（辞書参照ツールの設定）**

このチェックボックスがオンの場合、「常駐機能」タブで設定した「ホットキー」を押下すると、クリップボードに保存されているテキストを自動的に取得して辞書引きを行います。

ウィンドウをアクティブにする

このチェックボックスがオンの場合、「常駐機能」タブで設定した「ホットキー」を押下すると、辞書参照ツールのウィンドウが最前面に表示されます。

- **ホットキーが押されたらクリップボード翻訳を実行する（ワンポイント翻訳の設定）**

このチェックボックスがオンの場合、「常駐機能」タブで設定した「ホットキー」を押下すると、クリップボードに保存されているテキストを翻訳します。

ウィンドウをアクティブにする

このチェックボックスがオンの場合、「常駐機能」タブで設定した「ホットキー」を押下すると、ワンポイント翻訳のウィンドウが最前面に表示されます。

5 翻訳エディタの機能

翻訳エディタには、翻訳結果を修正するための便利な機能が備わっています。この章では、翻訳エディタの操作方法について説明します。

翻訳エディタの基本的な操作、テキストファイルの英日翻訳と日英翻訳については、『2 翻訳エディタ入門』を参照してください。



ヒント

【日英日モードの英日翻訳】

日英日モードの訳文エリアでは、英日翻訳用の機能を実現できます。たとえば、オプション翻訳の「タイトル翻訳」、「箇条書き翻訳」の実行、「別解釈」の表示などを行えます。

5.1 翻訳

翻訳には、一文翻訳、文書翻訳、指定した範囲の翻訳があります。翻訳処理は、「ツール」-「設定」の翻訳に関する設定に従って実行されるので、必要に応じて翻訳の前に設定を行ってください。

5.1.1 キーボードから入力して翻訳

翻訳ピカイチではキーボードから原文を入力して翻訳できます。また、メモ帳やテキストエディタと同じような手順で文を編集することもできます。



ヒント

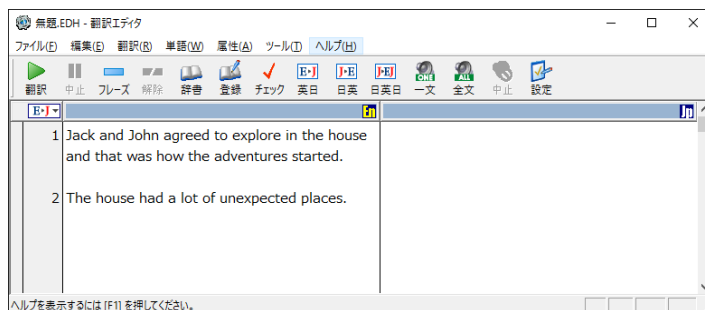
【カタカナの入力】

翻訳エディタに半角カタカナを入力することはできません。半角カタカナを入力すると、かな漢字変換後、翻訳エディタに文字が入力されるときに全角カタカナに置き換わります。

文章を入力する方法は、以下のとおりです。

手順

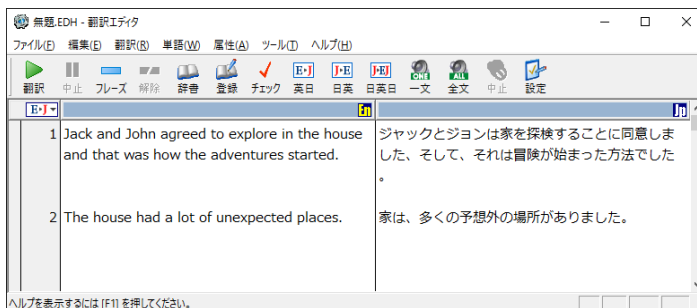
1. 英日モードの原文エリアに"Jack and John agreed to explore in the house and that was how the adventures started."と入力します。
2. Enterキーを押します。
文番号2が表示され、カーソルが文番号2へ移動します。
3. "The house had a lot of unexpected places."と入力します。





このように、1つの文番号に1つの文を対応させ文章を入力していきます。翻訳ソフトは文単位で翻訳を実行します。複数文を入力する場合は、必ずEnterキーを押して、文を1つずつ分割してください。

4. 一文翻訳を実行します。文番号の「1」をクリック、続いて文番号の「2」をクリックします。

一文翻訳が実行されます。翻訳結果が訳文エリアに表示されます。



 **【選択した範囲の再翻訳】**
 翻訳エディタで、文番号をドラッグして選択し、マウスボタンを離すと、選択した文章が再翻訳されます。または、翻訳を開始する文から最終文までを選択し、ツールバーの〈翻訳〉  をクリックすると、再翻訳されます。

● 文の分割

1つの文が長くなると加速度的に翻訳に時間がかかり、結果も読みにくいものになります。可能な場合は、長い文（30語程度より長いもの）は前もって複数の文に分割することをお勧めします。

文番号1の文を例に分割します。

Jack and John agreed to explore in the house and that was how the adventures started.

手順

1. "house"の後ろでクリックします。
カーソルが"e"の直後に移動します。
2. ピリオド(.)を入力します。
3. ここまでを1つの文にするため、and の a の直前をクリックし、Enterキーを押します。
文が2つに分かれ、"and"以下が新しく文番号2の文になりました。それ以降の文番号もふり直されています。
Jack and John agreed to explore in the house.
and that was how the adventures started.

● 文の結合

文を結合するには、結合する文の先頭にカーソルを置き、Back Space(BS)キーを押します。先ほどの文を元に戻します。

手順

1. 2番の文の先頭にカーソルを置き、Back Space(BS)キーを押します。
これで2つの文が一つになります。
2. ピリオドを消去します。

5.1.2 文章の翻訳

● 一文翻訳

「一文翻訳」は、指定された文番号の文だけを翻訳します。原文を翻訳しやすい形に変更したり、ユーザー辞書に新しく単語を登録した後で再翻訳するなど、対話形式の処理に適しています。

● マウス操作で実行する

翻訳エディタで、翻訳する文の文番号をクリックします。
翻訳結果が訳文エリアに表示されます。

● メニューから実行する

「一文翻訳」は、次の手順で実行します。

手順

1. 翻訳エディタで翻訳する文にカーソルを移動します。

2. [翻訳]—[一文翻訳]を選択します。

訳文エリアに翻訳結果が表示されます。



必要な場合は、原文の修正／挿入を行いながら翻訳処理を行ってください。

● カーソルのある文以降の翻訳

手順

1. 翻訳エディタで、翻訳を始めたい文へカーソルを移動します。

カーソルの移動は、スクロールバー、↑←→↓キー、または[編集]—[ジャンプ]コマンドで文番号を指定して行います。

2. ツールバーの〈翻訳〉をクリックするか、[翻訳]—[翻訳]を選択します。

カーソルのある文以降を一括で翻訳します。

● 連続する文章の翻訳

選択された範囲の文章を翻訳します。


● マウス操作で実行する

翻訳エディタで、翻訳したい範囲の先頭から最後までをドラッグして選択すると、文番号が反転表示されます。マウスのボタンを離すと、文番号が反転している文章が翻訳されます。


● メニューから実行する

手順

1. 翻訳エディタで、翻訳したい文章をドラッグして選択します。

2. ツールバーの〈翻訳〉をクリックするか、[翻訳]—[一文翻訳]を選択します。

● 翻訳の中止

翻訳を中止する場合は、ツールバーの〈中止〉をクリックします。

Escキーを押すか、[翻訳]—[翻訳中止]を選択しても中止できます。

5.2 訳語対応と訳語変更

5.2.1 英⇔日（日⇔英、日⇔英⇔日）対応

「英⇔日（日⇔英、日⇔英⇔日）対応」は、単語がどのように翻訳されたかを確認する機能です。

- マウス操作で実行する

任意の単語をダブルクリックすると、その単語と対応する訳語が反転表示されます。同時に、ステータスバー（画面左下）にその単語の品詞が表示されます。

- メニューから実行する

手順

1. 訳語対応を表示したい単語の上にカーソルを置きます。
2. [単語]—[訳語対応]を選択します。

対応する単語が反転表示されます。



翻訳の際、原文と訳文の構造上の違いにより、ダブルクリックしても対応が表示されない単語があります。たとえば英日翻訳の場合、受身を表すbe動詞などがこれにあたります。

5.2.2 訳語変更

文を翻訳する場合、その前後の文脈によっていろいろな訳が考えられます。「訳語変更」は、訳語の候補を表示し、その文にふさわしい訳を選択する機能です。

- マウス操作で実行する

任意の単語をトリプルクリック（マウスの左ボタンを3回続けて押す）すると、対応する訳文の単語が反転表示され、訳語変更ダイアログが表示されます。訳語の中から適切なものをダブルクリックすると訳語を変更できます。

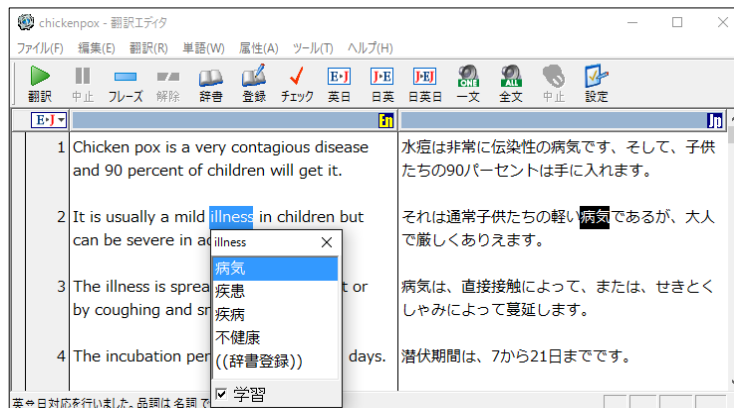
- メニューから実行する

手順

1. 訳語変更を行う単語にカーソルを置きます。

2. [単語]—[訳語変更]を選択します。

設定している辞書に登録されている訳語が表示されます。



3. 表示された候補の中から任意の訳語をダブルクリックします。

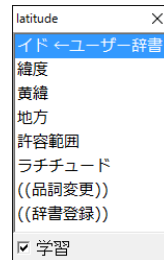
訳が選択したものに変わります。

訳語変更を行わずに訳語リストを閉じる場合は、Escキーを押します。

● ダイアログに表示される訳語

ここで表示される訳語は同じ品詞のもの（動詞の場合は同じ文型のもの）で、周囲の文脈で前置詞などが同じ使われ方をしているもの（たとえば、間接目的語を持つシステムが解釈している場合は、間接目的語を持ちうる訳語）に限られます。表示されていない訳を指定する場合は、ユーザー辞書に登録する必要があります。

また、ここで表示される訳語は、[ツール]－[設定]－[英日（日英）辞書]で設定した辞書に含まれる訳語です。たとえば、使用する辞書に「ユーザー辞書」、「基本語辞書」を設定した場合、訳語ダイアログは次のように変更されます。



このように、ダイアログ内に使用辞書名が表示されます。

● ダイアログ

訳語変更のダイアログから、次の機能を実行できます。

辞書登録

ユーザー辞書登録が可能な単語に対して訳語変更を実行すると、訳語変更ダイアログの下部に((辞書登録))が付加されます。これを選択すると、辞書登録ダイアログが表示され、訳語を登録できます。ユーザー辞書登録の詳細は、『6.4 英日用ユーザー辞書登録』と『6.5 日英用ユーザー辞書登録』を参照してください。

品詞変更 英日モードのみ

訳語変更を実行した英単語に複数の品詞が登録されている場合は、訳語変更ダイアログの下部に((品詞変更))が付加されます。これを選択すると、品詞変更ダイアログが表示され、品詞を変更できます。品詞変更の詳細については、『5.3 品詞変更』を参照してください。

学習解除

訳語が学習されている単語の訳語変更ダイアログ下部には、((学習解除))が表示されます。学習情報を消去するには、((学習解除))をクリックします。

文を再翻訳すると、設定している辞書の中でもっとも優先順位の高い辞書から訳語を引いて翻訳します。

学習

このチェックボックスがオンの場合、変更した訳語は学習され、次回の翻訳から変更した訳語が第一訳語になります。また、学習辞書にも登録されます。

学習辞書に登録しない場合、「学習」チェックボックスをオフにしてから訳語を選択します。



「学習」チェックボックスをオフにして訳語を変更すると、文番号の前に [錠マーク] がつきます。再度、翻訳をした場合、変更した訳語が元に戻ってしまうのを防ぐためです。



学習は、[ツール]－[設定]－[英日(日英)翻訳]で「訳語を学習する」チェックボックスをオンにしたときのみ有効になります。

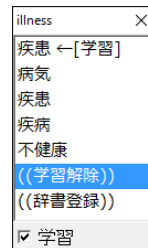
閉じる

訳語を変更せずに訳語ダイアログを閉じる場合は、Escキーを押すか、右上の閉じるボタン (⌵) をクリックします。

● 訳語変更を元に戻す

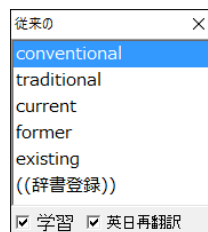
不適切な訳語に変更すると、構文が崩れ、訳質が低下する場合があります。訳語の学習を解除するには、元の訳語に戻したい単語をトリプルクリック (マウスの左ボタンを3回続けて押す) して訳語変更ダイアログを開き、訳語ダイアログの下部にある((学習解除))をダブルクリックします。

文番号をクリックして再翻訳を実行すると、元の訳語に戻ります。



● 訳語変更で訳文を再翻訳しない

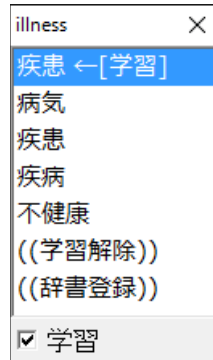
日英日モードで訳語変更の際、訳文を再翻訳させない指定ができます。訳語変更ダイアログの「英日再翻訳」チェックボックスをオフにして、訳語変更を行うと、訳文エリアの語句は置き換わりますが、訳文の再翻訳は行われず、確認エリアの文はそのまま残ります。



ただし、日英間 (原文エリアと訳文エリア) の単語の対応は表示できますが、英日間 (訳文エリアと確認エリア) の単語の対応は表示できなくなります。

5.2.3 学習機能

学習機能とは、1つの見出し語に対して複数の訳語が登録されている場合、一度選択した訳語がその後の翻訳で優先的に使われる機能です。訳語変更ダイアログで訳語を選択すると、以降の翻訳ではその訳語が優先的に使われます。また、変更した訳語が一番上に表示されます。



このように、訳語の右に「← [学習]」と表示されていれば、訳語変更の結果が学習されていることを意味します。

1つの見出し語に対して、学習機能が有効な訳語は常に1つです。「学習」チェックボックスをオンにした状態で、最後に変更した訳語が常に学習されます。

学習機能の設定は、[ツール]－[設定]－[英日(日英)翻訳]で行います。この設定で「訳語を学習する」チェックボックスをオフにした場合、訳語変更ダイアログ下部にある「学習」チェックボックスはオフになり訳語の学習はできなくなります。



英日モードで前置詞と接続詞の訳は学習できません。

日英モードで助動詞や接続助詞など、システムが内部的に訳語を持っている付属語については学習できません。

● EJ 学習辞書の保存場所

学習辞書は、次の場所の以下の3つのファイルから構成されています。

Windows 7 : [ライブラリ]→[ドキュメント]→[CrossLanguage]→[Pika1]→[ej]

Windows 8/8.1/10 : [ユーザー名]→[ドキュメント]→[CrossLanguage]→[Pika1]→[ej]

学習.dir 学習.key 学習.ldc

● JE 学習辞書の保存場所

学習辞書は、次の場所にある以下のファイルです。

Windows 7 : [ライブラリ]→[ドキュメント]→[CrossLanguage]→[Pika1]→[je]

Windows 8/8.1/10 : [ユーザー名]→[ドキュメント]→[CrossLanguage]→[Pika1]→[je]

学習.jld

● EJ 訳語を学習しない品詞

前置詞と接続詞は学習できません。前置詞と接続詞は、名詞や動詞などとの係りを詳細登録しているため、学習させると登録された係りが無効になり、翻訳精度が下がることが多いからです。例として、前置詞の"by"で説明いたします。

例1：He came here by train. 翻訳結果：彼は、電車でここに来ました。

例2：He is by nature an easy-going man. 翻訳結果：彼は、本来、落ち着いた男性です。

上記では、"by nature"は慣用句で「本来」と登録されています。例1で"by"を学習させると、例2では"by"と"nature"が別々に訳されてしまいます。このため、前置詞と接続詞は学習されないようになっています。

● JE 訳語を学習しない品詞

助動詞や接続助詞など、システムが内部的に訳語を持っている付属語については、学習できません

● 学習解除

学習情報を消去するには、訳語ダイアログの下部の((学習解除))をダブルクリックします。訳語は学習辞書から削除され、次回以降の翻訳結果には反映されません。

● 訳語を学習させない

[ツール]－[設定]－[英日(日英)翻訳]で「訳語を学習する」チェックボックスをオフにすると、すべての翻訳作業で学習辞書は使われません。この場合、訳語変更ダイアログで「学習」チェックボックスをオンにすることもできません。

5.3 品詞変更

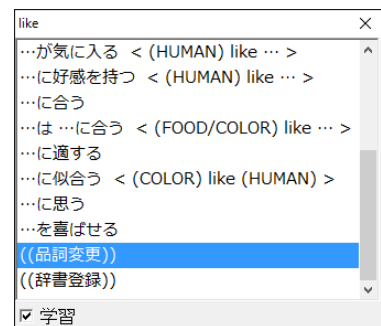


品詞変更は英日モードのみの機能です。

「品詞変更」は訳語の変更と同様、その単語の品詞を変更する機能です。構文的に解釈が難しい文章に対し、翻訳システムでは、最適と思われる品詞を決定して翻訳を行います。品詞変更を行うことにより、システムが誤った解釈をした場合でも、正しい品詞で解釈させることができます。

● マウス操作で実行する

任意の単語をトリプルクリック（マウスの左ボタンを3回連続して押す）して訳語変更ダイアログを表示します。品詞変更が可能な単語にはダイアログの下部に((品詞変更))が付加されます。これをクリックすると、品詞変更ダイアログが表示されます。品詞リストの中から適切なものをダブルクリックすると、変更した品詞に従って、文が自動的に再翻訳されます。



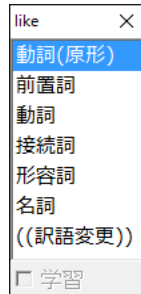
● メニューから実行する

「品詞変更」は、次の手順でも行えます。

手順

1. 品詞変更を行う単語にカーソルを置きます。
2. [単語]—[品詞変更]を選択します。

変更する単語の辞書に登録されている品詞がすべて表示されます。



3. 表示された品詞の中から、変更したいものをダブルクリックします。

変更した品詞に従って文が自動的に再翻訳され、ロックがかかります。



変更した品詞が適切でない場合、翻訳システムは構文解析に失敗することがあります。

ここで表示される品詞は、変更する単語に対して基本語辞書と辞書設定で選択された辞書に登録されている品詞です。

品詞には名詞、形容詞、副詞、接続詞、前置詞、動詞、単位、数詞、感嘆詞などがあります。限定詞とは、所有代名詞 (my, his など) および、no, few などのような数字を含まない数量詞を言います。動詞には、動詞、動詞 (原形)、過去分詞、現在分詞、動名詞などがあります。

● ダイアログ

品詞変更のダイアログから、次の機能を実行できます。

訳語変更

((訳語変更))をクリックすると、訳語変更ダイアログが表示されます。

学習

初期状態では、品詞変更は学習されません。

学習させたい場合は、「学習」チェックボックスをオンにしてから品詞を選択します。変更した品詞は学習され、次の翻訳からは変更した品詞を優先して構文解析を行います。学習機能の詳細は、『5.2.3 学習機能』を参照してください。

学習解除

品詞を学習している場合、ダイアログ下部に((学習解除))が表示されます。学習情報を消去するには、((学習解除))をクリックします。

文を再翻訳すると、システムが解析した品詞に戻ります。

ダイアログを閉じる

品詞を変更せずに品詞変更ダイアログを閉じる場合は、閉じるボタン (⌵) をクリックするか、またはEscキーを押します。

● 品詞を学習しない

[ツール]—[設定]—[英日 (日英) 翻訳]で「訳語を学習する」チェックボックスをオフにすると、すべての翻訳作業で変更した品詞は学習されません。

5.4 フレーズ翻訳

翻訳ピカイチの翻訳では、原文が曖昧な場合、語句の係り方や修飾先を誤ることがあります。曖昧な文とは、語句がどこに係るか、どの語句を修飾しているかなど、多義に解析できる原文のことです。


このような場合、部分的な句や節をあらかじめ指定して、係り方や修飾先の範囲を限定することで翻訳精度の向上が期待できます。

「フレーズ翻訳」は、係り受けの曖昧な部分をあらかじめ1つの「句」と指定してから翻訳する機能です。

5.4.1 フレーズ翻訳の手順

● フレーズ指定の方法

原文エリアでフレーズに指定したい文字列をドラッグして選択し、次のいずれかの方法で指定します。

- [属性]－[フレーズ指定]を選択する
- マウスを右クリックして、ポップアップメニューから[フレーズ指定]を選択する
- ツールバーの〈フレーズ指定〉  をクリックする

● フレーズ指定のルール

- 1つの文で2段階（レベル1～レベル2）までで、最大32個までフレーズ指定することができます。
- フレーズ指定した範囲を含んでさらに広い範囲の文字列、またはフレーズ指定した文字列の一部をさらにフレーズとして指定することもできます。この場合は、フレーズ指定の順番に関わらず、より大きい範囲がレベル1、小さい範囲がレベル2～32と順番に割り振られます。レベル1と2のフレーズの背景色は、[ツール]－[設定]－[フォントと配色]の「フレーズ色」で指定できます。

AAA and BBB of CCC and DDD and EEE and FFF レベル1
 AAA and BBB of CCC and DDD and EEE and FFF レベル2

- フレーズにまたがって指定することはできません。また、フレーズ指定されている文字列の一部と、フレーズ指定されていない文字列を組み合わせる新しいフレーズを指定することもできません。

AAA and BBB of CCC and DDD

- 「翻訳しない」種別のフレーズが指定されている文字列に、さらにフレーズを指定することはできません。

● 翻訳しない

文の中には、部品名や製品名、適切な日本語訳または英訳のない単語など翻訳を必要としない単語も含まれています。「翻訳しない」は、特定の単語を翻訳せず原文のまま出力します。

指定方法は、原文エリアでフレーズに指定したい文字列をドラッグして選択し、[属性]－[翻訳しない]を選択します。指定した文字列は[ツール]－[設定]－[フォントと配色]で指定した「翻訳しない」の色で表示されます。

● フレーズ種別

フレーズ指定した文中における、そのフレーズの品詞句の分類を指定します。「フレーズ指定」を実行した文字列は「自動判別」で翻訳されますが、明確に品詞句を指定したい場合にはそのフレーズにカーソルを置いて、[属性]－[フレーズ種別]のサブメニューから適切な品詞句を選択します。フレーズには、次のような種類があります。

- 名詞句
名詞と同じ働きをし、文中で主語（～は）、目的語（～を）になる。
- 動詞句
動詞が他の語と結びついて、ひとつの動詞のような働きをする。
- 形容詞句
2つ以上の語が集まって形容詞と同じ働きをする。
- 副詞句
副詞と同じ働きをして、動詞、形容詞、副詞などを修飾する。
- 前置詞句
2つ以上の語が集まって前置詞と同じ働きをする。
- 後置形容詞句
フレーズの前にある名詞に対して、後ろから形容詞として修飾する。
- 節
・・・that he・・・など、that節などの中で主語がある一区切りを「節」としてフレーズ指定することができる。

● フレーズ変更

一度指定したフレーズ種別を変更します。

フレーズ変更したいフレーズへカーソルを移動して、[属性]－[フレーズ変更]のサブメニューから品詞句を選択してください。

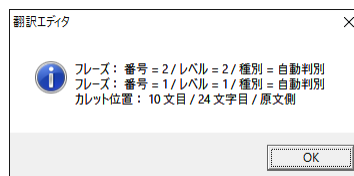
フレーズ種別が変更されるので、文番号をクリックして再翻訳を行ってください。変更した種別で翻訳されます。



フレーズ指定した文字列の一部または、全部を選択している状態では、このコマンドは選択できません。フレーズ指定した文字列にカーソルを置くだけで、選択することができます。


● フレーズ種別の確認

フレーズレベルが2階層のフレーズでCtrlキー＋マウスクリックで、次のようなダイアログにフレーズ情報が表示されます。



番号	フレーズ指定が文頭から何番目か表示される
レベル	レベル（階層）の数が表示される
種別	フレーズの品詞句が表示される
カーソル位置	カーソルのあるエリアが表示される

● フレーズ解除

カーソル位置のフレーズ指定を無効にします。
フレーズ解除したい文字列へカーソルを置いて、[属性]－[フレーズ解除]を選択するか、をクリックしてください。
フレーズ指定が無効になり、文字列の背景色が元に戻ります。



フレーズ指定した文字列の一部、または、全部を選択している状態では、このコマンドを選択することはできません。フレーズ解除は、フレーズ指定した文字列にカーソルを置くだけで、選択することができます。

5.4.2 フレーズ翻訳の実行

次の例文で説明します。

例文

All students are expected to submit an interim report in March and a final report in May.

翻訳による素訳（フレーズをかけないで実行した訳）

すべての学生は、5月に3月と最終報告で中間報告を提出することになっています。

求めたい訳

すべての学生は、**3月の中間報告**と**5月の最終報告**を提出することになっています。

翻訳の素訳について

前出の例文では、"March"と"a final report"が並列になっていますが、実際には"an interim report in March"と"a final report in May"が並列となる文です。

フレーズ翻訳の手順は以下のとおりです。

手順

1. フレーズ翻訳する文へカーソルを移動します。
2. 1つのフレーズにしたい部分を選択して、[属性]－[フレーズ指定]を選択します。

例文ではan interim report in Marchを選択して、「フレーズ指定」を選択します。選択する範囲を誤った場合は、「フレーズ解除」を実行して、再度手順2を実行してください。選択したフレーズの背景色が、[ツール]－[設定]－[フォントと配色]で設定した「レベル1」の色に変わります。



「フレーズ指定」したフレーズに品詞句を指定しなかった場合、「自動判別」としてシステムが自動的に品詞句を設定して翻訳します。

3. もう1つのフレーズを指定します。
例文では、a final report in Mayを選択して、「フレーズ指定」を選択します。
4. 文番号をクリックして再翻訳します。
訳文が表示されます。

9	All students are expected to submit an interim report in March and a final report in May.	すべての学生は、 3月の中間報告 と 5月の最終報告 を提出することになっています。
---	---	--

5.5 別解釈



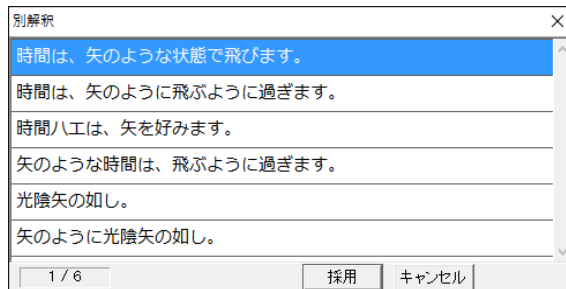
別解釈は英日モードのみの機能です。

構文的に正しい解析結果の中から、意味的にも正しい解釈を選択することは、訳語の選択と同様、翻訳システムには難しい問題です。「別解釈」は、カーソル位置の文の複数訳を表示し、その中からもっとも適当な文を選択する機能です。手順は、以下のとおりです。

手順

1. 翻訳エディタで別解釈を実行する文にカーソルを置きます。
2. [翻訳]—[別解釈]を選択します。

別解釈が表示されます。別解釈がない場合は1つの解釈だけが表示されます。画面に入り切らない場合は、右側のスクロールバーを使用して画面をスクロールさせます。



3. 最適な解釈を選択し、〈採用〉をクリックします。

訳文が変更され、翻訳ロックがかかります。
〈キャンセル〉をクリックすると元の画面に戻ります。



「別解釈」では、翻訳と同様に、実際に翻訳が行われます。30語を超えるような長い文の翻訳には、時間を要する場合があります。できるだけ、長い文は短い文に分けてから翻訳や別解釈を実行することを推奨します。別解釈ダイアログはサイズを変更することができません。[ツール]—[設定]—[フォントと配色]でフォントサイズを大きくすると、表示された別解釈が見つらなくなる場合があります。この場合は、フォントサイズを小さく設定してから、再度、別解釈を実行してください。



【別解釈を実行した文】

別解釈は学習されないのので、文を再翻訳すると元の翻訳結果に戻ってしまいます。再翻訳を防ぐために別解釈で翻訳した文には翻訳ロックがかかります。

5.6 オプション翻訳



オプション解釈は英日モードのみの機能です。

英日モードでは「開く」でテキストファイルを読み込む際、その文章がタイトル文か、箇条書きかなどを自動的に判別します。ただし、文章によっては翻訳ピカイチの文判別の基準にあてはまらず、正しく認識されない場合があります。オプション翻訳は、文章を「タイトル」、「箇条書き」と指定して、適切な翻訳を実行する機能です。

メモ 複数の文を選択した状態で、「タイトル翻訳」、「箇条書き翻訳」を実行すると、選択した文章を一度に翻訳することができます。

5.6.1 タイトル翻訳

英日モードは「開く」で原文テキストを読み込む際、その文がタイトル文か否かを自動的に判別します。タイトル文は通常、大文字で書かれ、文は短くなります。タイトルとして読み込まれた文は、大文字／小文字を区別しないで、なるべく名詞句として訳されます。また、属性エリアに「T」が表示されます。ただし、タイトルとして判別できないこともあります。このような場合「タイトル翻訳」を実行すると、選択された文は「ツール」－「設定」－「英日翻訳」で設定された条件に従わず「大文字を小文字にして訳す」で翻訳されます。

手順は、以下のとおりです。

手順

1. 翻訳エディタでタイトル翻訳を実行する文にカーソルを置きます。

連続する文章を処理したい場合は、文章を選択してください。

2. [翻訳]－[オプション翻訳]－[タイトル翻訳]を選択します。

指定した文または選択した文章がタイトル翻訳され、属性エリアに「T」が表示されます。

5.6.2 箇条書き翻訳

「開く」でテキストを読み込む際、箇条書きか否かを自動的に判別します。箇条書きとは、1、(1)、(a)などが先頭にある文です。箇条書きと判断された文は、属性エリアに□（小さい四角）がつきます。「箇条書き翻訳」では、文の先頭の列挙記号を無視して翻訳し、訳の先頭に無視された列挙記号を付加します。

たとえば、「c Open the file.」を通常翻訳で訳すと、「cは、ファイルを開きます。」となります。この文を「箇条書き翻訳」すると「c ファイルを開いてください。」となります。

手順は、以下のとおりです。

手順

1. 翻訳エディタで箇条書き翻訳を実行する文にカーソルを置きます。

連続する複数の文章を選択することも可能です。

2. [翻訳]－[オプション翻訳]－[箇条書き翻訳]を選択します。

選択した文章が箇条書き翻訳され、属性エリアに□（小さい四角）がつきます。

5.6.3 通常翻訳

タイトルまたは箇条書きと判定された文を通常文として翻訳したい場合や、「タイトル翻訳」や「箇条書き翻訳」で翻訳した文を通常の文に戻したい場合に使用します。

手順は、以下のとおりです。

手順


1. 翻訳エディタで通常翻訳を実行する文にカーソルを置きます。

連続する複数の文章を選択することも可能です。

2. [翻訳]—[オプション翻訳]—[通常翻訳]を選択します。






選択した文章が通常翻訳されます。

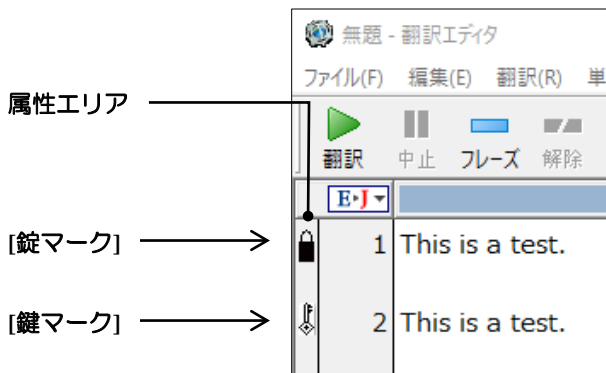
5.7 翻訳ロック/日英ロック/ロック解除

「翻訳ロック」は再翻訳を行いたくない文に錠マーク  を付け、その文章の翻訳結果を保存するものです。

翻訳結果の訳文を直接編集したり、別解釈コマンドや学習機能を使わずに訳語変更を行って訳文を修正しても、その文章を再翻訳すると、元の翻訳結果に戻ってしまいます。「翻訳ロック」機能により、意図しない再翻訳を回避することが可能です。

● マウス操作で実行する

ロックする文の属性エリアにマウスポインタを移動し、マウスポインタが矢印から錠マーク  に変わる場所をクリックすると錠マーク  が付き、文がロックされます。錠マーク  を直接クリックするとマークが消えて文のロックが解除されます。また日英日モードで、属性エリアにマウスポインタを移動し、ポインタの形が錠マーク  に変わる場所を一度クリックすると、文番号の前に錠マーク  が付き翻訳ロックがかかります。再度クリックすると、▶が付き日英翻訳に対してのみ翻訳ロックがかかります。3回目のクリックで、ロックが解除されます。



● メニューから実行する

手順 手順は、以下のとおりです。

1. 翻訳ロック（または、翻訳日英ロック、翻訳ロック解除）する文にカーソルを置きます。

連続する複数の文章を選択することも可能です。

2. [属性]—[文属性]—[翻訳ロック（または、翻訳日英ロック、翻訳ロック解除）]を選択します。

選択した文章が翻訳ロック（または、翻訳ロック解除）されます。




5.8 音声読み上げ

「音声読み上げ」は、翻訳エディタの英文を読み上げる機能です。

5.8.1 音声読み上げの実行

音声読み上げの手順は以下のとおりです。

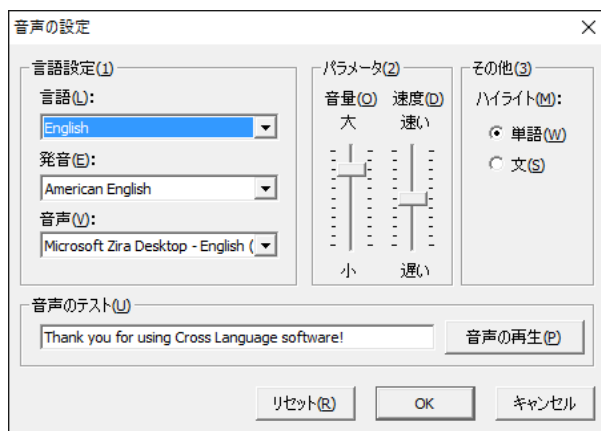
手順

1. 音声読み上げを行う文へカーソルを移動します。
2. ツールバーの〈音声読み上げ(一文)〉 をクリックするか、[ツール]－[音声読み上げ(一文)]を選択すると、カーソルのある文を読み上げます。
〈音声読み上げ(全文)〉 をクリックするか、[ツール]－[音声読み上げ(全文)]を選択すると、全文を読み上げます。
中止するには〈読み上げ中止〉 をクリックするか、[ツール]－[音声出力中止]を選択します。



5.8.2 音声読み上げの設定

[ツール]－[音声の設定]を選択すると、音声の設定ダイアログが表示されます。



言語設定

読み上げる言語・発音・音声を設定します。各項目の▼をクリックし、プルダウンメニューから選択します。



翻訳ピカイチでは、言語は「English」、発音は「American English」が選択できます。選択できる言語や発音、音声は、使用しているOSのバージョンやインストールされているソフトウェアによって異なります。

パラメータ

読み上げる音量とスピードを設定します。

ハイライト

読み上げる際に反転表示される部分を設定します。「単語」を選択すると、翻訳エディタで読み上げられている単語が反転表示されます。「文」を選択すると、読み上げられている文全体が反転表示されます。

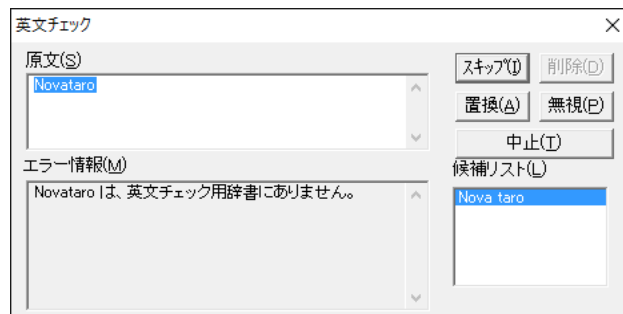
〈OK〉をクリックすると、設定が保存され、ダイアログが閉じます。設定を保存せずにダイアログを閉じるには、右上の閉じるボタン（）をクリックするか、〈キャンセル〉をクリックします。

5.9 英文チェック

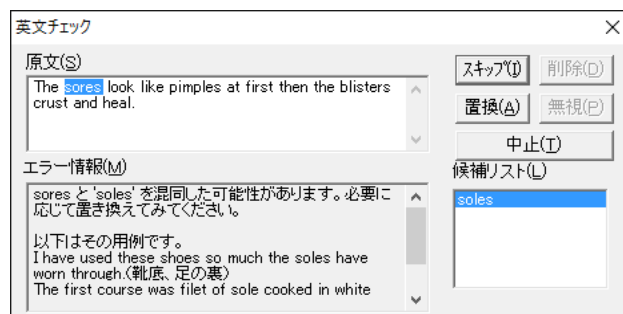
英文チェックでは、英語のスペルチェックと文法チェックを行えます。スペルチェックは、英文のスペルミスと考えられる単語を指摘し、文法チェックは、文法的な誤りや不適当な言い回しを指摘します。英文チェックは、[ツール]－[設定]－[英文チェック]で設定します。詳細は、『7.3 英文チェックの設定』を参照してください。手順は、以下のとおりです。

手順

1. 英文チェックを行う文にカーソルを置きます。英日モードの場合は原文エリア、日英モードと日英日モードの場合は訳文エリアにカーソルを置きます。
2. ツールバーの〈チェック〉^{チェック}をクリックするか、[ツール]－[英文チェック]を選択すると、英文チェックが開始されます。



スペルミスと判断された例



文法チェックで誤りと判断された例

3. 候補リストで選択されている単語に置き換える場合は〈置換〉を、置換せずにチェックを終了する場合は〈中止〉をクリックします。

【英文チェックで使用される辞書】



ヒント

英文チェック機能は、あくまでも一般的な英語に対するスペルチェックを行うためのもので、英文チェック用の辞書は翻訳ピカイチの基本語辞書や専門語辞書とは異なる独立した辞書を使用しています。このため、ハイフンを含む複合語や専門用語はスペルミスとして指摘されることがあります。

5.10 アップデート

製品ごとにアップデートプログラムがリリースされる場合があります。「アップデートの確認」機能は、アップデートプログラムをチェックします。新しいバージョンのプログラムがある場合は、ダウンロードサイトから、アップデートプログラムをダウンロードしてください。

初期状態では、翻訳エディタの起動時にアップデートプログラムのチェックが実行されます。起動時のチェックに関しては、頻度を設定することができます。頻度の設定については、後述する『アップデートのお知らせ設定』を参照してください。

アップデートが必要な場合は、アップデートの情報ダイアログが表示されます。アップデートを実行する場合は、〈ダウンロードページへ〉をクリックします。各種製品のダウンロードページが表示されるので、必要な製品のアップデートを実行します。

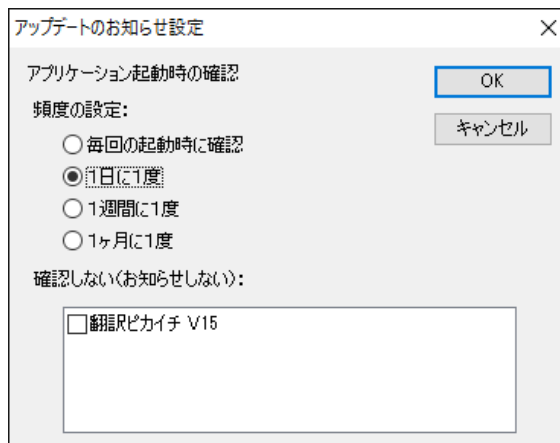
● アップデートの確認

アップデートプログラムの有無は翻訳エディタの起動時にチェックすることができます。また、翻訳エディタの[ヘルプ]-[アップデートの確認]を選択しても確認することができます。

● アップデートのお知らせ設定

アップデートの確認を行う頻度を指定することができます。

アップデートの情報ダイアログで〈設定〉をクリックすると、アップデートのお知らせ設定ダイアログが表示されます。



頻度の設定

翻訳エディタの起動時にアップデートの確認を実行する頻度を指定します。

確認しない

アップデートの確認を行わないアプリケーションを指定します。

弊社製品を複数インストールしている場合、処理対象となるアプリケーションが一覧表示されます。確認を行わないアプリケーションのチェックボックスをオンにします。

6 辞書の活用

翻訳ピカイチでは、基本語辞書のほか、専門語辞書およびユーザー辞書を使用して翻訳することができます。辞書を活用することにより、翻訳精度も向上します。この章では、翻訳に使用する辞書の設定方法、ユーザー辞書の登録方法などを説明します。

6.1 辞書の構成

翻訳ピカイチでは、次の辞書が使用できます。

辞書の種類	説明
基本語辞書	翻訳の標準となる辞書
ユーザー辞書	ユーザー自身が必要に応じて作成する辞書 1辞書につき10万語まで登録可能。必要に応じて単語とその意味を登録します。
専門語辞書	専門用語を収録

● 基本語辞書

基本語辞書は翻訳の際に、標準で使用される辞書です。日常的に使われる単語や用語のほとんどがこの辞書に収録されています。この辞書に対する単語の追加や削除はできません。

● ユーザー辞書

ユーザー辞書は、基本語辞書や専門語辞書に登録されていない単語や、登録されていても、希望する訳語がない単語を登録する場合に利用します。ユーザー辞書を使うことにより、訳文を改善することができます。

ユーザー辞書登録については、EJの場合は『6.4 英日用ユーザー辞書登録』、JEの場合は『6.5 日英用ユーザー辞書登録』を参照してください。

● 専門語辞書

専門語辞書は、分野別に専門用語を収録した辞書です。対象の文書に応じて必要な分野の専門語辞書を指定することにより翻訳精度を高めることができます。専門語辞書に対する単語の追加や削除はできません。

6.2 辞書参照

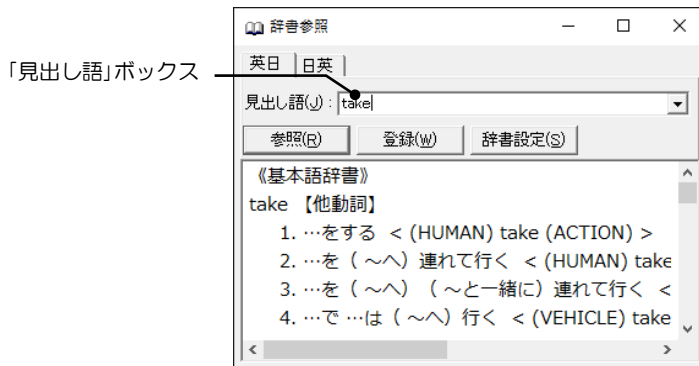
辞書参照は、基本語辞書、専門語辞書、ユーザー辞書、学習辞書に登録されている単語の意味や品詞を表示する機能です。

手順

1. 訳語を調べたい語句をドラッグして選択します。

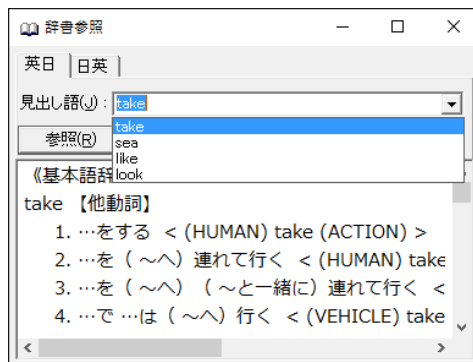
2. ツールバーの〈辞書参照〉  をクリックします。

辞書参照ダイアログが開き、辞書に登録されている意味、品詞が表示されます。



3. 辞書の参照が終わったら、閉じるボタン (⌵) をクリックしてダイアログを閉じます。

メモ 辞書参照ダイアログは、ウィンドウのようにサイズを変更することができます。また、参照した単語の履歴が保存されるので、一度見た単語を参照する場合は、履歴から選択することができます。



6.3 辞書設定とユーザー辞書の作成

翻訳の際、ユーザー辞書や専門語辞書を使用することにより、翻訳精度を高めることができます。

6.3.1 翻訳で使用する辞書を設定

翻訳ピカイチでは、専門語辞書とユーザー辞書を合わせて最大10個まで同時に使用できます。



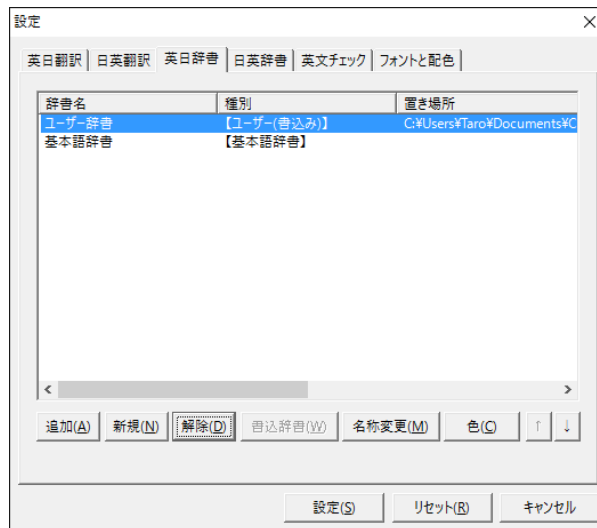
【辞書数】

辞書設定リストに既に11個（基本語辞書＋その他の辞書10個）の辞書のチェックボックスがオンになっている場合、辞書の追加はできません。

● 翻訳で使用する辞書を指定する

手順

1. 設定ダイアログの「英日辞書」または「日英辞書」をクリックします。

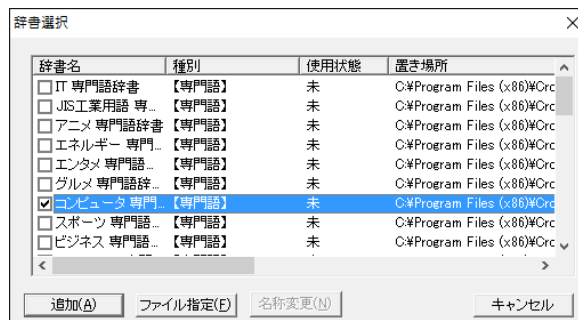


2. 「追加」をクリックします。

辞書選択ダイアログが表示されます。

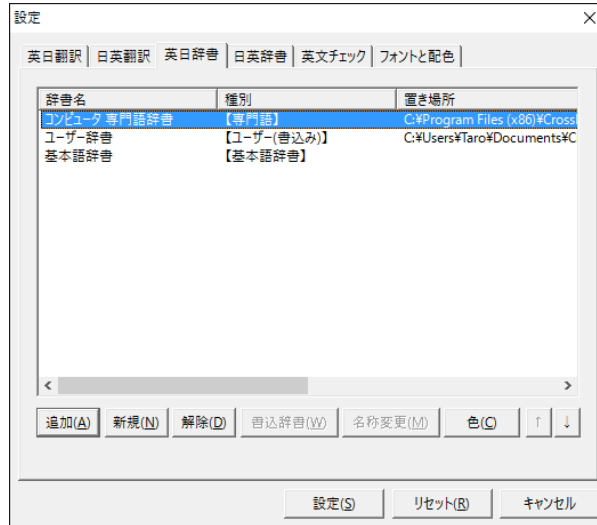
3. 使用する辞書のチェックボックスをオンにします。

たとえば「コンピュータ専門語辞書」を使用する場合、以下のとおりに設定します。



4. 〈追加〉をクリックします。

辞書設定ダイアログに、指定した専門語辞書が追加されます。



5. 〈色〉をクリックして、専門語辞書の「色」を設定します。



色を設定することで、翻訳を実行時に、設定された専門語辞書の中で、原文とヒットした単語が、上記の設定色で表示されます。

6. 〈設定〉をクリックして設定ダイアログを閉じます。



専門語辞書を設定するためには、あらかじめ専門語辞書をインストールする必要があります。初期状態で専門語辞書は、以下のフォルダにインストールされます。

32bit OS の場合

英日：[Program Files]→[CrossLanguage]→[DicEJ]

日英：[Program Files]→[CrossLanguage]→[DicJE]

64bit OS の場合

英日：[Program Files (x86)]→[CrossLanguage]→[DicEJ]

日英：[Program Files (x86)]→[CrossLanguage]→[DicJE]

● 翻訳で使用しない設定

辞書設定ダイアログのリストから辞書を削除すると、翻訳で使用されなくなります。辞書を選択して、Deleteキーを押すか、または〈解除〉をクリックするとリストから削除されます。




基本語辞書を「使用中の辞書」リストから削除することはできません。

● 辞書リストの優先順位

翻訳では、リストにある辞書を上から順番に参照します。原文に対応する訳語があった場合、「使用中の辞書」リストにおいて該当辞書より下に表示される辞書は参照しません。優先的に使用する辞書を上段へ置いてください。辞書名のドラッグ アンド ドロップにより、辞書リストの優先順位を変更することができます。

上下へ1つずつ移動する場合は、移動する辞書を選択して、次のいずれかのボタンをクリックします。

 (1つ上へ移動)

 (1つ下へ移動)

**【専門語辞書の色設定の確認】**

以下の手順で、専門語辞書に色設定の確認をすることができます。

英語→日本語 専門語辞書「コンピュータ専門語辞書」の設定での確認

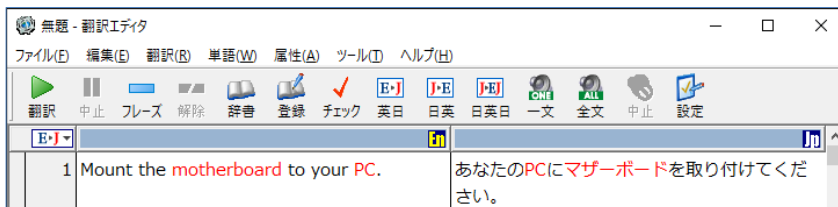
1. 上記「6.3.1 翻訳で使用する辞書を指定する」の1～6の手順を実行する。

コンピュータ専門語辞書を選択／色を「赤」に設定

2. 翻訳エディタを起動 英語→日本語モードにする。

以下の文章を入力し、翻訳を実行する。

Mount the motherboard to your PC.



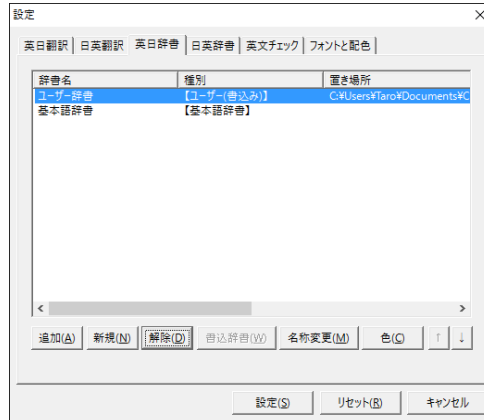
3. コンピュータ専門語辞書が使われて翻訳された単語が指定色「赤」で表示されます。

6.3.2 ユーザー辞書の新規作成

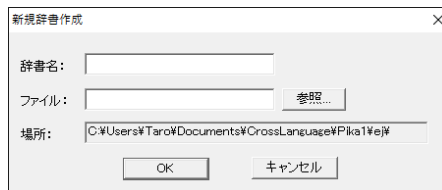
ユーザー辞書は必要に応じて複数作成できます。新しいユーザー辞書は以下の手順で作成します。

手順

1. 設定ダイアログの「英日（日英）辞書」タブをクリックします。



2. 「新規」をクリックします。



3. 「辞書名」に新規作成する辞書の名称、「ファイル名」に辞書のファイル名を入力します。

辞書名は省略できます。その場合、ファイル名と同じ名前が付けられます。

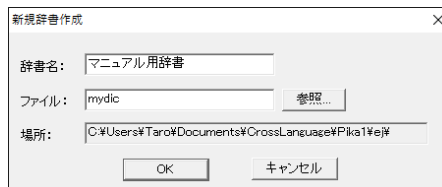
初期状態でユーザー辞書は、以下の場所に保存されます。

Windows 7 : [ライブラリ] → [ドキュメント] → [CrossLanguage] → [Pika1] → [ej] または [je]

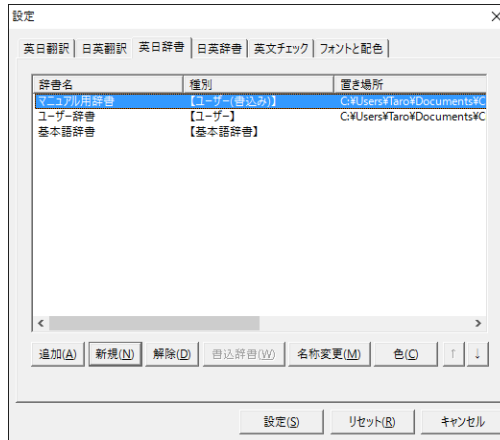
Windows 8/8.1/10 : [ユーザー名] → [ドキュメント] → [CrossLanguage] → [Pika1] → [ej] または [je]

「場所」には、ユーザー辞書の保存場所がPC内のファイル名で表示されています。

4. たとえば、「辞書名」に「マニュアル用辞書」、「ファイル名」にmydicと入力します。



5. 〈OK〉をクリックすると、辞書設定ダイアログに、指定した新規ユーザー辞書が追加されます。



6. 〈設定〉をクリックして、辞書設定ダイアログを閉じます。
これで新しいユーザー辞書が追加されました。

6.3.3 書き込み可能なユーザー辞書を指定

ユーザー辞書は、目的に応じて複数作成して使用することができます。ただし、書き込み可能な「登録用」辞書として指定できるのは1つだけです。

ユーザー辞書を書き込み可能に変更するには、目的のユーザー辞書を選択して、〈書込辞書〉をクリックします。

書き込み可能なユーザー辞書がリストから削除されると、リストの一番上にあるユーザー辞書が、書き込み用辞書になります。

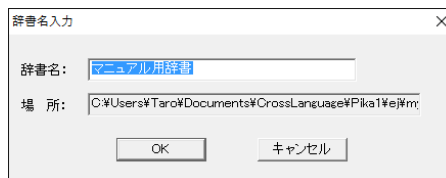


専門語辞書や基本語辞書に書き込むことはできません。

● ユーザー辞書の名称を変更する

ユーザー辞書の名称は変更できます。

変更したいユーザー辞書を選択し、〈名称変更〉をクリックすると、以下のダイアログが表示されます。



「辞書名」に、新しい辞書の名称を入力します。

〈OK〉をクリックすると、辞書の名称が変更されます。

6.4 英日用ユーザー辞書登録

[辞書登録]は、ユーザー辞書への単語の登録や削除を行う機能です。辞書登録ダイアログの各ボックスに見出し語と訳語を入力するだけで、簡単にユーザー辞書を構築することができます。

6.4.1 辞書登録ダイアログ


ここでは、英日用辞書登録ダイアログでの基本的な登録方法を説明します。



ユーザー辞書登録は、必ず、使用するユーザー辞書を設定してから行ってください。ユーザー辞書が設定されていない場合は、辞書登録を実行することはできません。ユーザー辞書の作成と選択の詳細は、『6.3 辞書設定とユーザー辞書の作成』を参照してください。

辞書登録の手順は、以下のとおりです。

手順

1. 英日モードで辞書登録する単語を選択します。
2. [単語]－[辞書登録]を選択するか、〈辞書登録〉をクリックします。

次のダイアログが表示されます。

3. 必要に応じて、各項目を入力します。

● 辞書登録ダイアログ

見出し語

見出し語を入力します。見出し語は半角で100文字まで入力できます（複合語の場合はスペースも含みます）。半角英数のみ入力できます。半角カタカナを入力することはできません。



ヒント 固有名詞を除き、原則として見出し語は小文字で入力してください。



ヒント 翻訳エディタで、登録したい単語を選択してから[単語]－[辞書登録]を選択すると、その単語が自動的に「見出し語」に入力されます。

直接、文字を入力することもできます。動詞、名詞など変化形のある単語は原形あるいは単数形を入力してください。ただし、名詞の複数形の訳を特別な意味で登録したい場合は複数形を入力します。



見出し語に以下の制御コードを含むことはできません。
¥|, ¥[, ¥], ¥[, ¥]

訳語

訳語を入力します。訳語は全角で50文字まで入力できます（訳語にはスペースを含むことはできません）。半角カタカナを入力することはできません。

品詞

品詞を選択します。右側の▼をクリックすると品詞の一覧が表示されるので、適切な品詞を選択します。

登録できる品詞は名詞、動詞、形容詞、副詞です。助動詞など、一覧に表示されていない品詞の登録はできません。

活用形

自動的に入力されますが、間違っている場合は、修正してください。名詞の単複同形の場合、複数形は空欄にします。形容詞や副詞で比較変化しない場合や、more, mostがつく場合は、比較級と最上級ともに空欄にします。

参照

「見出し語」ボックスの内容を変更すると、〈参照〉をクリックできるようになります。〈参照〉をクリックすると、辞書登録ダイアログ下部の訳語一覧へ辞書登録の内容を表示します。

登録

〈登録〉をクリックすると、その単語がユーザー辞書に登録され、訳語リストに表示されます。

削除

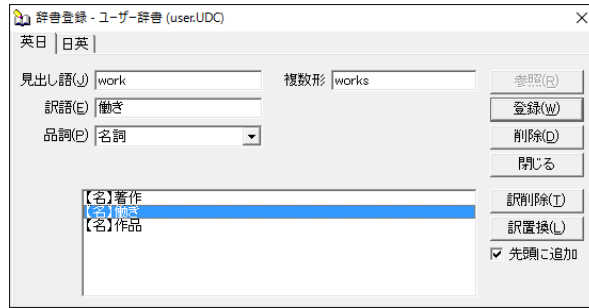
〈削除〉をクリックすると、「見出し語」ボックスの単語がユーザー辞書から削除されます。



ユーザー辞書は削除すると、復元することはできません。

訳置換

見出し語に対して訳語を登録すると、〈訳置換〉が使用できるようになります。修正したい訳語を訳語リスト内で選択すると、登録内容が各ボックスに表示されます。



訳語を修正して〈訳置換〉をクリックします。修正内容が登録されます。

訳削除

見出し語に対して訳語を登録すると、〈訳削除〉ボタンが使用できるようになります。削除したい訳語を訳語リスト内で選択すると登録内容が各ボックスに表示されるので、〈訳削除〉をクリックします。訳語がユーザー辞書から削除されます。

先頭に追加

このチェックボックスがオンの場合、同品詞の場合、登録した訳語は訳語リストの先頭に追加されます。

オフの場合、訳語はリストの最後に追加されます。翻訳では、訳語リストの先頭訳語を第一訳として訳出するので、最適な訳を先頭にします。また、訳出頻度の低い訳語はオフにして登録し、リストの最後に追加するようにお奨めします。



品詞が違う場合は、登録した順番で表示されます。

閉じる

〈閉じる〉ボタンをクリックすると、翻訳エディタに戻ります。辞書登録ダイアログに表示されている内容を登録せずにダイアログを閉じると、編集途中の内容は破棄されます。登録する場合は、〈登録〉をクリックしてからダイアログを閉じてください。

6.4.2 名詞の登録

【例】"pipeline"を「情報ルート」と登録する

手順

1. 「見出し語」に"pipeline"と入力します。
2. 「訳語」に「情報ルート」と入力します。

3. 「登録」をクリックします。

単語が登録されます。

複数形は推定されて入力されますが、間違いがある場合は、各項目をクリックして修正します。

規則活用の例：fight→fights, candy→candies



複数形を空欄にすると、単複同形として登録されます。

6.4.3 動詞の登録

動詞登録したものは、自動詞および目的語の助詞に「を」を持つ他動詞として登録されます。

【例】"horrify"を「凍らせる」と登録する

手順

1. 「見出し語」に"horrify"と入力します。
2. 「訳語」に「凍らせる」と入力します。
3. 「品詞」をクリックして、「動詞」を選択します。

4. 「登録」をクリックします。

単語が登録されます。

活用形は推定され入力されますが、間違いがある場合には、各項目をクリックして修正します。

規則活用 の例：

見出し語		過去形	過去分詞	三単現	進行形
look	→	looked	looked	looks	looking
guide	→	guided	guided	guides	guiding
justify	→	justified	justified	justifies	justifying

6.4.4 形容詞の登録

【例】"shameful"を「屈辱的な」と登録する

手順

1. 「見出し語」に"shameful"と入力します。
2. 「訳語」に「屈辱的な」と入力します。
3. 「品詞」をクリックして、「形容詞」を選択します。

辞書登録 - ユーザー辞書 (user.UDC)

英日 | 日英

見出し語(J) shameful 比較級

訳語(E) 屈辱的な 最上級

品詞(P) 形容詞

参照(R) 登録(W) 削除(D) 閉じる

訳削除(T) 訳置換(L) 先頭に追加

見出し語 shameful はユーザー辞書に登録されていません

4. 「登録」をクリックします。

単語が登録されます。

活用形は推定され入力されますが、間違いがある場合には、各項目をクリックして修正します。

規則活用の例： cold → colder, coldest
easy → easier, easiest



beautifulやimportantなど、活用形にmore、mostがつく単語の場合は、比較級・最上級ともに空欄にしてください。

6.4.5 副詞の登録

【例】"as follows"を「下記のとおりに」と登録する

手順

1. 「見出し語」に" as follows "と入力します。
2. 「訳語」に「下記のとおりに」と入力します。
3. 「品詞」をクリックして、「副詞」を選択します。活用形は空欄にします。

辞書登録 - ユーザー辞書 (user.UDC)

英日 | 日英

見出し語(J) as follows 比較級 |

訳語(E) 下記のとおりに 最上級 |

品詞(P) 副詞

参照(R) 登録(W)

削除(D) 閉じる

訳削除(T) 訳置換(L)

先頭に追加

見出し語 as follows はユーザー辞書に登録されていません

4. 〈登録〉をクリックします。

単語が登録されます。

活用形は推定され入力されますが、間違いがある場合には、各項目をクリックして修正します。



beautifullyや**importantly**など、活用形に**more**、**most**がつく単語の場合は、比較級・最上級ともに空欄にしてください。

6.5 日英用ユーザー辞書登録

「辞書登録」は、ユーザー辞書への単語の登録や削除を行う機能です。辞書登録ダイアログの各ボックスに見出し語と訳語を入力するだけで、簡単にユーザー辞書を構築することができます。

6.5.1 辞書登録ダイアログ

ここでは、日英用辞書登録ダイアログでの基本的な登録方法を説明します。辞書登録ダイアログは、見出し語の品詞によって異なります。詳細は各品詞の登録を参照してください。



ユーザー辞書登録は、必ず、使用するユーザー辞書を設定してから行ってください。ユーザー辞書が設定されていない場合は、辞書登録を実行することはできません。ユーザー辞書の作成と選択の詳細は、『6.3 辞書設定とユーザー辞書の作成』を参照してください。

辞書登録の手順は、以下のとおりです。

手順

1. 日英日モードまたは日英モードで辞書登録する単語を選択します。
2. [単語]－[辞書登録]を選択します。

次のダイアログが表示されます。

3. 必要に応じて、各項目を入力します。

● 辞書登録ダイアログ

見出し語

見出し語を入力します。見出し語は全角で50文字まで入力できます。半角カタカナを入力することはできません。



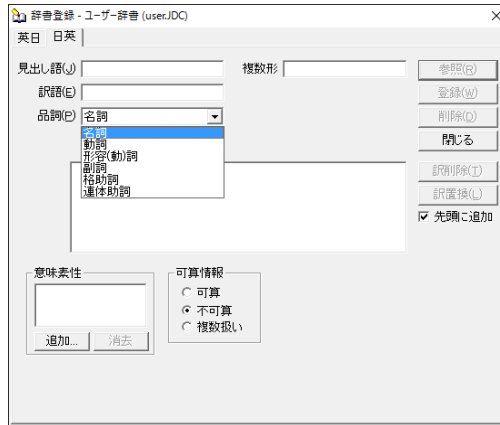
翻訳エディタで、登録したい単語を選択してから[単語]－[辞書登録]を選択すると、その単語が自動的に[見出し語]ボックスに入力されます。直接、文字を入力することもできます。

訳語

訳語を入力します。訳語は半角で240文字まで入力できます。半角カタカナを入力することはできません。

品詞

品詞を選択します。右側の▼をクリックすると品詞の一覧が表示されるので、適切な品詞を選択します。



登録できる品詞は名詞、動詞、形容(動)詞、副詞、格助詞、連体助詞の6つです。

品詞は、次のように区別します。

名詞	活用がなく、人や物事などの名称を表す (例) 花、池
動詞	活用があり、「～する」が付いたり、語尾の母音が「う」で終わる (例) 印刷する、動く
形容詞	活用があり、文末にあるときは「～い」で終わる (例) かわいい、楽しい
形容動詞	活用があり、文末にあるときは「～だ」で終わる (例) 静かな (静かだ)、有効な (有効だ)
副詞	活用がなく、動詞や形容詞、形容動詞を修飾する (例) とても、やがて
格助詞	活用がなく、名詞の後に付いて全体として動詞または形容(動)詞を修飾する (例) ～と合わせ
連体助詞	活用がなく、名詞の後に付いて名詞を修飾する (例) 製の

活用形

自動的に入力されます。これが間違っている場合は、修正してください。名詞の複数形、動詞の過去形、過去分詞形、などを入力します。

参照

「見出し語」ボックスの内容を変更すると、〈参照〉を使用できるようになります。〈参照〉をクリックすると、辞書登録の内容を訳語リストへ表示します。

登録

〈登録〉をクリックすると、その単語がユーザー辞書に登録され、訳語リストに表示されます。辞書登録ダイアログは閉じないので、続けて辞書登録を行うことができます。

削除

〈削除〉をクリックすると、[見出し語]ボックスの単語が、そのすべての訳語とともにユーザー辞書から削除されます。



ユーザー辞書は削除すると、復元することはできません。

訳置換

見出し語に対して訳語を登録すると、〈訳置換〉が使用できるようになります。修正したい訳語を訳語リスト内で選択すると登録内容が各ボックスに表示されます。訳語を修正して〈訳置換〉をクリックします。修正内容が登録されます。

訳削除

見出し語に対して訳語を登録すると、〈訳削除〉ボタンが使用できるようになります。削除したい訳語を訳語リスト内で選択すると登録内容が各ボックスに表示されるので、〈訳削除〉をクリックします。訳語がユーザー辞書から削除されます。

先頭に追加

このチェックボックスがオンだと、同品詞の場合、登録した訳語は訳語リストの先頭に追加されます。

オフの場合、訳語はリストの最後に追加されます。翻訳では、訳語リストの先頭訳語を第一訳として訳出するので、最適な訳を先頭にします。また、訳出頻度の低い訳語はオフにして登録し、リストの最後に追加するようにします。

閉じる

〈閉じる〉ボタンをクリックすると、翻訳エディタに戻ります。辞書登録ダイアログに表示されている内容を登録せずにダイアログを閉じると、編集途中の内容は破棄されます。登録する場合は、〈登録〉をクリックしてからダイアログを閉じてください。

意味索性

見出し語、または、パターンの主語や目的語などに付加する意味索性を指定します。「意味索性」とは、語句にもともと備わっている意味のことです。たとえば、「東京」という語句は名詞ですが、「場所」および「地名」という意味を持っているので、意味索性に「場所」「地名」を指定します。

パターン

日本語の構文パターンを指定します。



【構文パターンの指定】

動詞や形容（動）詞は、構文パターンによる詳細登録を行えます。構文パターンの種類は以下の5通りです。

- 「～が～する」（～は～する）
- 「～が～を～する」（～は～を～する）
- 「～が～に～を～する」（～は～に～を～する）
- 「～が～に～する」（～は～に～する）
- 「～が～と～する」（～は～と～する）

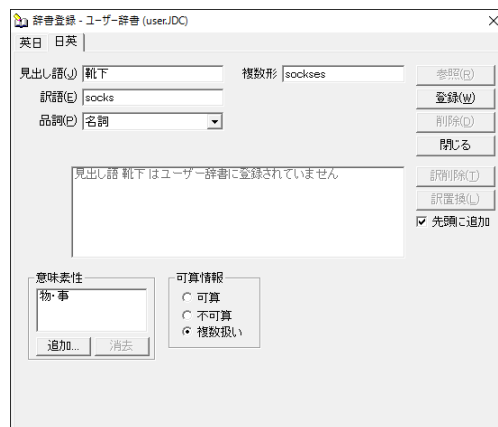
選択した構文パターンに応じて、主語や目的語の意味索性を指定します。

6.5.2 名詞の登録

【例】「靴下」を"socks"と登録する

手順

1. 「見出し語」に「靴下」と入力します。
2. 「訳語」に"socks"と入力します。
3. 「意味索性」の〈追加〉をクリックし、意味索性の一覧から、「物・事」をダブルクリックして選択します。
4. 靴下は、2足で1組なので、「可算情報」の「複数扱い」を選択します。
「複数扱い」を選択すると、「複数形」に表示されている内容は登録時に無視されます。



5. 〈登録〉をクリックします。
単語が登録されます。

6.5.3 動詞の登録

【例】「ホースで水をまく」を"hose"と登録する

手順

1. 「見出し語」に「ホースで水をまく」と入力します。
2. 「訳語」に"hose"と入力します。
3. 「品詞」をクリックして「動詞」を選択します。活用形は自動的に入力されるので、間違っている場合は、修正します。
4. 「パターン」をクリックして、「～が」を選択します。
5. 「意味索性」の〈追加〉をクリックし、一覧から、「が」の意味索性に、「人間」をダブルクリックして選択します。

The screenshot shows a dialog box titled '辞書登録 - ユーザー辞書 (user.JDC)'. It contains the following fields and controls:

- Language: 英日 | 日英
- 見出し語 (Headword): ホースで水をまく
- 訳語 (Translation): hose
- 品詞 (Part of speech): 動詞 (Verb)
- 活用型 (Conjugation type): 力行五段 (Godan)
- 過去形 (Past tense): hosed
- 過去分詞 (Past participle): hosed
- 進行形 (Progressive form): hosing
- 三単現 (Third person singular present): hoses
- Buttons: 参照 (R), 登録 (W), 削除 (D), 閉じる (C)
- Message box: 見出し語 'ホースで水をまく' はユーザー辞書に登録されていません (The headword 'ホースで水をまく' is not registered in the user dictionary).
- Control buttons: 訳語削除 (T), 訳置換 (L), 先購に追加 (Add to purchased)
- パターン (Pattern): ~が (Particle 'ga')
- Meaning property list: が, 人間 (Human)
- Buttons for list: 追加... (Add...), 消去 (Delete)

6. 〈登録〉をクリックします。
単語が登録されます。

6.5.4 形容詞・形容動詞の登録

【例】「ふわふわの」を"soft"と登録する

手順

1. 「見出し語」に「ふわふわの」と入力します。
2. 「訳語」に"soft"と入力します。
3. 「品詞」をクリックして「形容(動)詞」を選択します。活用形は自動的に入力されるので、間違っている場合は、修正します。
4. 「パターン」をクリックして、「～が」を選択します。
5. 「意味索性」の〈追加〉をクリックし、一覧から、「が」の意味索性に、「物・事」をダブルクリックして選択します。

辞書登録 - ユーザー辞書 (userJDC)

英日 日英

見出し語(E) ふわふわの 比較級 softer 参照(R)

訳語(E) soft 最上級 softest 登録(W)

品詞(C) 形容(動)詞 削除(D)

活用型(H) 形動の 閉じる

見出し語 ふわふわの はユーザー辞書に登録されていません。

個別削除(I)

訳置換(L)

先頭に追加

パターン ～が

が

物・事

追加... 消去

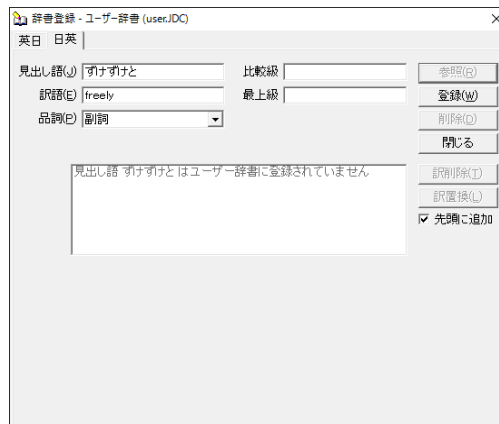
6. 〈登録〉をクリックします。
単語が登録されます。

6.5.5 副詞の登録

【例】「ずけずけと」を"freely"と登録する

手順

1. 「見出し語」に「ずけずけと」と入力します。
2. 「訳語」に"freely"と入力します。
3. 「品詞」をクリックして「副詞」を選択します。活用形は自動的に入力されるので、間違っている場合は、修正します。



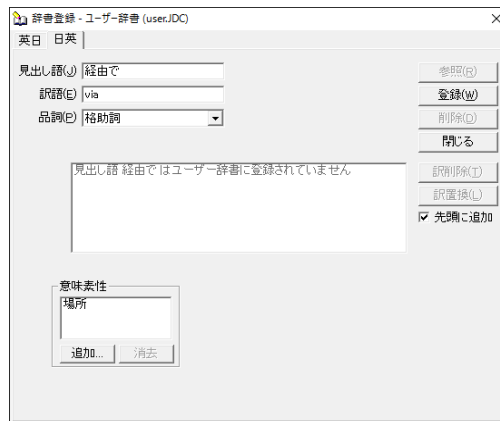
4. 〈登録〉をクリックします。
単語が登録されます。

6.5.6 格助詞の登録

【例】「経由で」を"via"と登録する

手順

1. 「見出し語」に「経由で」と入力します。
2. 「訳語」に"via"と入力します。
3. 「品詞」をクリックして「格助詞」を選択します。
4. 「意味素性」の〈追加〉をクリックし、一覧から、「場所」をダブルクリックして選択します。



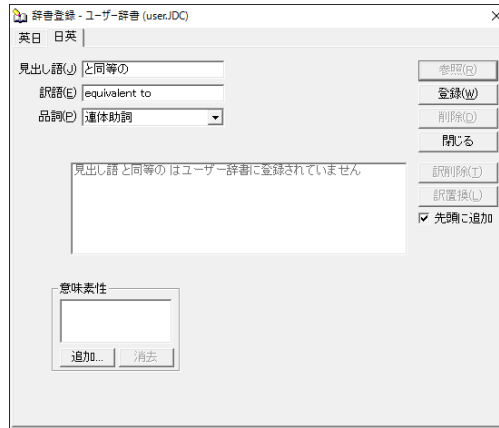
5. 〈登録〉をクリックします。
単語が登録されます。

6.5.7 連体助詞の登録

【例】「と同等の」を"equivalent to"と登録する

手順

1. 「見出し語」に「と同等の」と入力します。
2. 「訳語」に"equivalent to"と入力します。
3. 「品詞」をクリックして「連体助詞」を選択します。



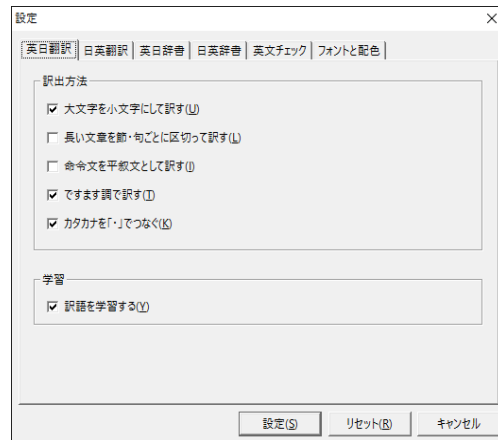
4. 「登録」をクリックします。
単語が登録されます。

7 環境の設定

翻訳ピカイチでは翻訳作業の環境を自由に設定することができます。環境を適切に設定すれば、翻訳時間の短縮、翻訳精度の向上を図ることができます。この章では、環境の設定について説明します。

7.1 英日翻訳の設定

英日モードの翻訳条件の設定を行います。ここで設定した内容に従って翻訳処理が行われます。[ツール]－[設定]－[英日翻訳]をクリックすると、次のダイアログが表示されます。



● 訳出方法

大文字を小文字にして訳す

大文字だけで書かれている文章の翻訳や、文中で単語の頭文字が大文字になっている文を翻訳するような場合は、オンにしてください。たとえばホームページのように大文字だけで書かれた文章が多い場合は、このチェックボックスをオンにします。

チェックボックスをオフにして以下の文章を訳すと、次の結果になります。

I have a pen.	私は、ペンを持ちます。
I have a PEN.	私は、PENを持ちます。
I have A PeN.	私は、A PeNを持ちます。
I HAVE A PEN.	i HAVE A PEN.

チェックボックスをオンにすると、文中の大文字の単語を小文字にして訳すため、いずれも「私は、ペンを持ちます。」と訳されます。

システムが「タイトル文」と判断した文は、この項目の設定の如何にかかわらず大文字を小文字にして訳します。

長い文章を節・句ごとに区切って訳す

長い文章の翻訳方法を設定することができます。

たとえば "I know that he is ill. "という文は次のように訳出されます。

オフの場合 → 「私は、彼が病気であるということを知っています。」

オンの場合 → 「私は、知っていますー彼は病気であるということ。」

命令文を平叙文として訳す

このチェックボックスがオフの場合、命令形の訳が「～なさい。」(である調の場合)、あるいは「～してください。」(ですます調の場合)となります。

オンの場合「～する。」、または「～します。」となります。マニュアルなどの翻訳で平叙文として訳す方が良い場合は、オンに設定します。

ですます調で訳す

このチェックボックスがオフの場合は「である調」で訳します。

文末を「である調」で訳すか、「ですます調」で訳すかを指定します。同じ文書の中ではどちらかに統一されます。

カタカナを「・」でつなく

カタカナの連結語の訳で中黒（・）を入れるかを指定します。

たとえば、"wireless headphone"などを訳したときに『ワイヤレス・ヘッドホン』と中黒（・）を入れるか、『ワイヤレスヘッドホン』と中黒（・）無しにするかを選択します。

● 学習

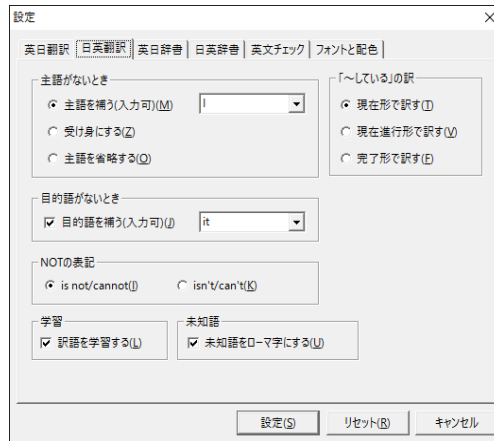
訳語を学習する

このチェックボックスがオンの場合、学習辞書を使用して翻訳します。

オフの場合は、翻訳の際、学習辞書を使用しません。

7.2 日英翻訳の設定

日英モードの翻訳条件の設定を行います。ここで設定した内容に従って翻訳処理が行われます。[ツール]－[設定]－[日英翻訳]をクリックすると、次のダイアログが表示されます。



● 主語がないとき

前後の文との関係から主語が省略された文の翻訳方法を設定します。ここで設定した主語省略時の設定は、システム全体に反映されます。

● 主語を補う（入力可）

和文に主語がない場合、主語を補って翻訳します。補う主語は、「[S]、I、you、it、he、she、we、they」の8種類から選択できます。[S]はユーザー指定の主語を補います。ユーザー指定の主語は、[主語を補う]にある[S]を削除して、補う主語を直接入力します。何も指定しなければ、[S]が補われます。

原文：これを開発した。

they指定：They developed this.

ユーザー指定"Sam"：Sam developed this.

● 受け身にする

和文に主語がない場合、受動態の文章として翻訳します。ただし、受動態になり得ない構造の文の場合は、[受け身にする]を指定しても、自動的に主語を補って翻訳されます。この場合の主語は、[主語を補う]で選択されたものです。

● 主語を省略する

和文に主語がない場合、命令形の文章として翻訳します。

たとえば「散歩に行きます。」という文は"Go for a walk."と訳されます。

● 目的語がないとき

日本語には、英語のような他動詞（目的語を必要とする動詞）と自動詞（目的語を必要としない動詞）の区別がないため、「～を」という目的語がなくても文が成立しますが、英文では、意味が通りにくくなります。他動詞を含む英文で、原文に目的語がない場合の処理方法を設定します。

目的語を補う（入力可）

このチェックボックスがオンの場合、目的語を補います。

補う目的語は、[O]、it、you、them、us、me、him、her、thatの9種類から選択できます。[O]はユーザー指定の目的語を補います。ユーザー指定の目的語は、[目的語を補う]の[O]を削除して、補う目的語を直接入力します。何も入力しなければ[O]が補われます。オフにすると、動詞が他動詞でも目的語を補いません。

原文：私が劇場へ連れて行った。

them指定：I took them to the theater with me.

ユーザー指定"Sam"：I took Sam to the theater with me.

● 「～している」の訳

日本語で「～している」という文は、必ずしも現在進行形を表現しているとは限りません。英語ではむしろ現在形で訳した方が適当な場合が多くあります。このような文の訳し方を「現在形（初期設定）」、「現在進行形」、「完了形」から選択します。



和文が「～していた」のように過去形の場合はそれぞれ、「過去形」、「過去進行形」、「過去完了形」で翻訳されます。

● NOTの表記

否定を表すNOTを含む英文で、省略形を使うかどうかを設定します。

[is not/cannot]を選択すると原形で、[isn't/can't]を選択すると省略形で翻訳します。

● 学習

訳語を学習する

このチェックボックスがオンの場合、学習辞書を使用して翻訳します。

オフの場合は、翻訳の際、学習辞書を使用しません。

● 未知語

未知語をどのように表示するかを指定します。未知語とは、辞書設定ダイアログで設定している辞書に登録されていない語句を言います。

● 未知語をローマ字にする

このチェックボックスがオンの場合、未知語をローマ字で表記します。

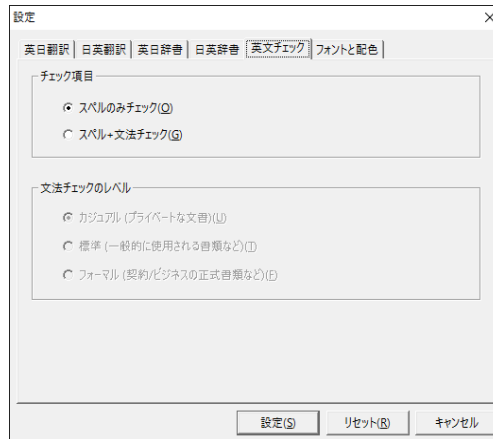
オフの場合、未知語は日本語のまま訳文エリアに表示されます。

この機能は、日本語の表示できないコンピュータに訳文を表示する、または訳文を読む対象者が漢字を読むことができない場合などに、利用できます。

しかし、翻訳結果がすべて英語で表示されるため、実際の未知語を一見して探し出すことは難しくなります。

7.3 英文チェックの設定

「英文チェック」では、英文のスペルチェックと同時に文法チェックも行うかの設定と、文法チェックのレベルを設定します。[ツール]－[設定]－[英文チェック]をクリックすると、次のダイアログが表示されます。



● チェック項目

スペルチェックのみを行う場合は、「スペルのみチェック」をオンにしてください。スペルチェックと文法チェックを同時に行う場合は、「スペル+文法チェック」をオンにしてください。

● 文法チェックのレベル

「スペルのみチェック」がオンの場合は、設定できません。

カジュアル

厳しいチェックはしません。くだけた表現の文章にしたい場合に選択します。

標準

一般的なビジネス文書の場合に選択します。

フォーマル

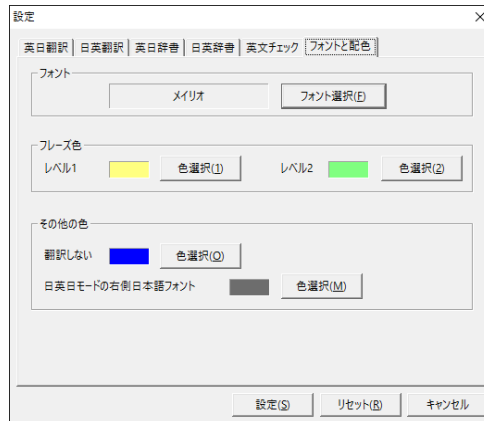
公式文書など、厳しくチェックする必要のある場合に選択します。



英文チェック機能は、あくまでも一般的な英語に対するチェックを行うためのもので、英文チェック用の辞書は基本語辞書や専門語辞書とは異なる独立した一般辞書を使用しています。このため、ハイフンを含む複合語や専門語辞書から出典した単語はスペルミスとして指摘されることがあります。

7.4 フォントと配色の設定

翻訳エディタに表示されるフォント、フレーズ指定した文字色を設定します。この設定は、英日・日英共通です。[ツール]－[設定]－[フォントと配色]をクリックすると、次のダイアログが表示されます。



● フォント

「フォント」には使われているフォントが表示されます。変更するには、〈フォント選択〉をクリックしてください。フォント指定ダイアログが表示されます。



フォント設定は、画面表示用の設定です。印刷には反映されません。

● フレーズ色

レベル1.2

フレーズ指定で指定したレベル1と2のフレーズの背景色を指定します。

● その他の色

翻訳しない

フレーズ種別を「翻訳しない」と設定した場合の文字色を指定します。

日英日モードの右側日本語フォント

日英日モードの確認エリアに表示される日本語の文字色を指定します。

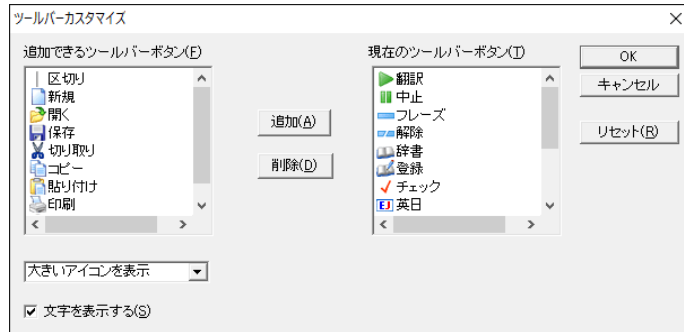
7.5 ツールバーカスタマイズ

翻訳エディタのツールバーに表示するボタンを変更できます。

手順

1. [ツール]—[ツールバーカスタマイズ]を選択します。

ツールバーカスタマイズダイアログが表示されます。



2. ツールバーにボタンを追加する場合は、「追加できるツールバーボタン」にあるボタンを選択して、〈追加〉をクリックします。
3. ツールバーからボタンを削除する場合は、「現在のツールバーボタン」にあるボタンを選択して、〈削除〉をクリックします。
4. 正しく設定したら〈OK〉をクリックしてダイアログを閉じます。

付録

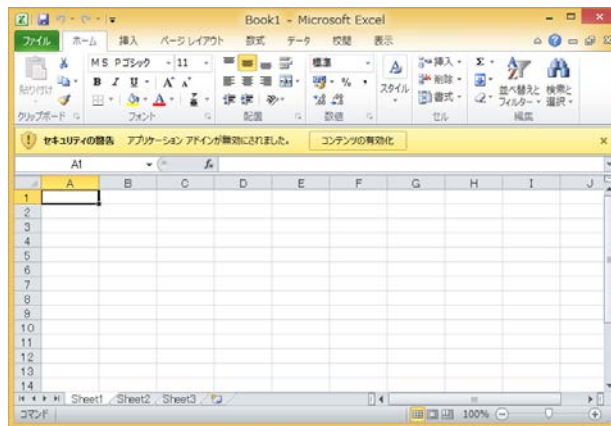
付録1 Office起動時の「セキュリティの警告」

Microsoft Officeで「セキュリティの警告」が表示される場合があります。Microsoft Officeでは、マクロ・ウィルス対策のために、認証されたマクロでない場合に、この警告を表示するようになりました。この警告を表示させないために以下の手順を試してください。

ここではExcelで表示された場合について説明していますが、Word、PowerPoint、Outlookの場合の操作も同じです。

手順

1. 〈アプリケーション アドインが無効にされました。〉をクリックします。



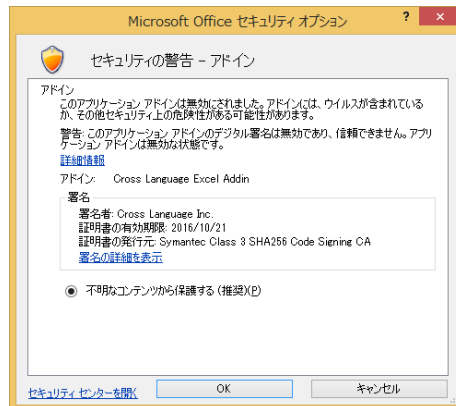
「コンテンツの有効化」を選択しても、メニューに「アドイン」は表示されるようになりますが、Officeを再起動した場合、「セキュリティの警告」は表示され続けます。

2. 「コンテンツの有効化」の〈詳細オプション〉をクリックします。



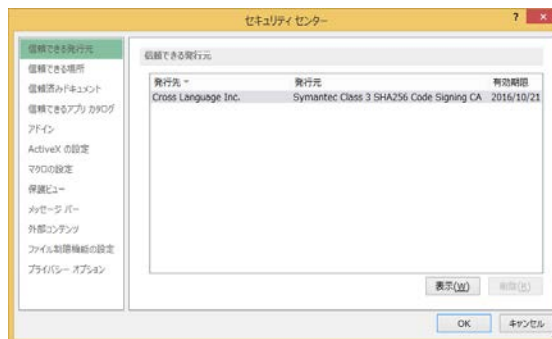
Microsoft Office セキュリティ オプションが表示されます。

3. <この発行元から発行されたコードをすべて有効にする>を選択します。



Officeを再起動した際、「セキュリティの警告」は表示されなくなります。

4. <信頼できる発行元>に「Cross Language Inc.」が表示されるようになります。



Officeメニューの以下で確認できます。

ファイル-オプション-セキュリティセンター

-セキュリティセンターの設定-信頼できる発行元

付録2 Windows 8/8.1でアプリケーションを起動する方法

Windows 8または8.1でアプリケーションを起動する方法を説明します。

手順

1. Windows 8または8.1にログインします。

スタート画面が表示されます。



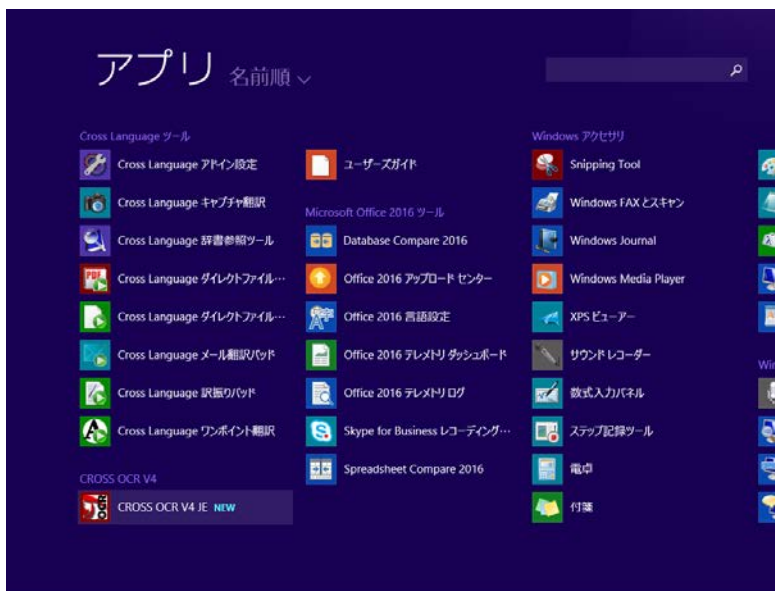
2. マウスを画面左下に移動すると表示される〈スタート〉ボタンをクリックするか、Windowsキーを押します。

スタートスクリーンが表示されます。



3. Windows8の場合は、マウスを右クリックして画面右下に〈すべてのアプリ〉ボタンを表示し、クリックします。Windows8.1の場合は、画面左下の「↓」ボタンをクリックします。

すべてのアプリケーションが表示されます。



4. 起動するアプリケーションをクリックします。

付録3 翻訳ピカイチが作成するファイル

ここでは、翻訳ピカイチが作成するファイルの種類と拡張子について説明します。

● 英日モードのファイル

英日モードでは、以下のファイルの作成／使用ができます。

種類	ファイル名	説明
翻訳ファイル	***.edh	翻訳結果など翻訳情報を保存
対訳ファイル	***.out	"-/"記号、原文、訳文の順で対訳をテキストファイルに保存
訳文ファイル	***_j.txt	訳文エリアの訳文のみをテキストファイルに保存
原文ファイル	***_e.txt	原文エリアの原文のみをテキストファイルに保存
学習辞書	学習辞書.dir 学習辞書.key 学習辞書.ldc	優先される訳語
ユーザー辞書	***.dir	登録した訳語
専門語辞書	***.key ***.udc	分野別に専門用語を収録した辞書

● 日英モードのファイル

日英モードでは、以下のファイルを作成／使用ができます。

種類	ファイル名	説明
翻訳ファイル	***.jdh	翻訳結果などの翻訳情報を保存
対訳ファイル	***.out	"-/"記号、原文、訳文の順で対訳をテキストファイルに保存
訳文ファイル	***_e.txt	訳文エリアの訳文のみをテキストファイルに保存
原文ファイル	***_j.txt	原文エリアの原文のみをテキストファイルに保存
学習辞書	学習辞書.jld	優先される訳語
ユーザー辞書	***.idx ***.jdc	登録した訳語
専門語辞書	***.idx ***.jdc ***.idp	分野別に専門用語を収録した辞書 ***.idpは専門語辞書のみ

● 日英日モードのファイル

日英日モードでは、以下のファイルを作成したり使用したりできます。

種類	ファイル名	説明
日英翻訳ファイル	***.jdh	原文エリアと訳文エリアの翻訳結果などの翻訳情報を保存
英日翻訳ファイル	***.edh	訳文エリアと確認エリアの翻訳結果などの翻訳情報を保存
対訳ファイル：日英	***_je.out	"--"記号、原文、訳文の順で対訳をテキストファイルに保存
対訳ファイル：英日	***_ej.out	"--"記号、訳文、確認文の順で対訳をテキストファイルに保存
対訳ファイル：日英日	***_jej.out	"--"記号、訳文、確認文の順で対訳をテキストファイルに保存
訳文ファイル：英語	***_e.txt	訳文エリアの訳文のみをテキストファイルに保存
訳文ファイル：日本語	***_j.txt	確認エリアの確認文のみをテキストファイルに保存
原文テキスト	変更なし	原文エリアの原文のみをテキストファイルに保存
学習辞書	学習辞書.jld	優先される訳語
ユーザー辞書	***.idx ***.jdc	登録した訳語
専門語辞書	***.idx ***.jdc ***.idp	分野別に専門用語を収録した辞書 ***.idpは専門語辞書のみ

付録4 ホームディレクトリの確認

ホームディレクトリの場所は、[ヘルプ]—[バージョン情報]を選択すると、表示されます。

付録5 OCR

「OCR」は、新聞、書類、雑誌の記事や画像などをスキャナから読み込んで、テキストデータにするソフトです。

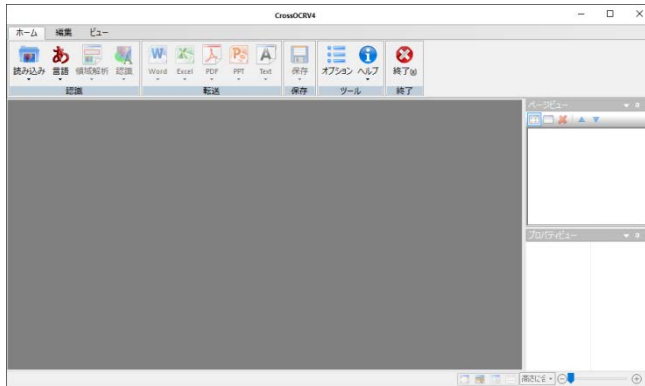


スキャンした画像は文字のフォント情報がないため、PDFダイレクトファイル翻訳ができません。OCRで文字認識させて、フォント情報がわかるデータにする必要があります。

手順

1. Windowsメニューの [CROSS OCR V4 JE] をクリックします。

CROSS OCRが起動します。



OCR機能については、『CROSS OCRのユーザーズガイド』を参照してください。

CROSS OCRのユーザーズガイド (PDF) 閲覧方法

[スタート] → [すべてのプログラム] → [CROSS OCR V4] → [ユーザーズガイド]

CROSS OCRのタスクバーメニュー固定方法

[スタート] → [すべてのプログラム] → [CROSS OCR V4] → [CROSS OCR V4 JE]
[CROSS OCR V4 JE]を右クリックして「タスクバーにピン留めする」を選択してください。

【画像データの文字を翻訳する方法】

1. テキストデータで保存した後、翻訳エディタで翻訳してください。翻訳方法は『2.2 英語を日本語に翻訳する』または『2.3 日本語を英語に翻訳する』を参照してください。
2. Wordデータで保存した後、アドイン翻訳で翻訳してください。翻訳方法は『3.1.2 Wordの翻訳』を参照してください。
3. PDFデータで保存した後、PDFダイレクトファイル翻訳で翻訳してください。翻訳方法は『3.3 PDFダイレクトファイル翻訳』を参照してください。



索引

E	
Excelの翻訳	22
I	
Internet Explorerアドイン翻訳	28
M	
Microsoft Officeアドイン翻訳	19
N	
NOTの表記	100
O	
OCR	110
OCR設定	51
Officeのセキュリティの警告	104
Outlookの翻訳	24
P	
PDFダイレクトファイル翻訳	35
制限事項	38
設定	37
無効	36
有効	36
PowerPointの翻訳	23
W	
Webページの翻訳	28
Windows 8でアプリケーションを起動する方 法	106
Wordの翻訳	21
あ	
アップデート	73
アップデートのお知らせ設定	73
アップデートの確認	73
アドイン設定	19, 27
アドイン翻訳	
Excel	22
Outlook	24
PowerPoint	23
Word	21
起動	19
翻訳言語の選択	19
無効	27
有効	27
い	
一文翻訳	57
意味素性	90
印刷	16
引用文字	47
う	
受け身にする	99
上書き保存	17
え	
英語を日本語に翻訳	7
「英日辞書」タブ	76
英⇄日対応	9, 58
英日翻訳	7
英日翻訳の設定	97
英日モードのファイル	108
英日ユーザー辞書登録	
形容詞の登録	86
動詞の登録	85
副詞の登録	87
名詞の登録	84
英文チェック	72
英文チェックの設定	101
お	
大文字を小文字にして訳す	97
オプション翻訳	68
音声の設定	70
音声読み上げ	70
か	
改行	51
解除	78
書き込み可能なユーザー辞書	80
学習	98, 100
学習解除	59, 60, 62

学習機能.....	61	辞書をリストから外す.....	78
格助詞の登録.....	95	「~している」の訳.....	100
確認エリア.....	12	フレーズ	
カジュアル.....	101	自動判別.....	65
箇条書き翻訳.....	68	終了.....	6
カタカナを「・」でつなぐ.....	98	主語がないとき.....	99
		主語を補う.....	99
		主語を省略する.....	99
		常駐機能.....	52
		す	
		スペルチェック.....	101
		スライド翻訳.....	19
		せ	
		セキュリティの警告.....	104
		設定ダイアログ	
		英日翻訳.....	97
		英文チェック.....	101
		日英翻訳.....	99
		全角カタカナ.....	55
		選択した範囲の翻訳をやりなおす.....	56
		先頭に追加.....	83, 90
		専門語辞書.....	74
		そ	
		その他.....	54
		その他の色.....	102
		た	
		タイトル翻訳.....	68
		対訳ファイル.....	18, 108
		単語の登録.....	10, 15
		つ	
		通常翻訳.....	68
		ツールの設定.....	51
		ツールバーカスタマイズ.....	103
		て	
		である調.....	98
		テキスト出力.....	18
		テキストファイルの翻訳.....	7, 11
		ですます調.....	98
		ですます調で訳す.....	98
		と	
		動作環境.....	3
学習機能.....	61		
格助詞の登録.....	95		
確認エリア.....	12		
カジュアル.....	101		
箇条書き翻訳.....	68		
カタカナを「・」でつなぐ.....	98		
き			
キーボードから入力して翻訳.....	55		
起動.....	6		
基本語辞書の語数.....	74		
キャプチャ翻訳.....	30, 39, 40		
中止.....	42		
認識可能な文字.....	42		
認識言語.....	42		
編集.....	43		
翻訳言語の指定.....	42		
け			
形容詞の登録.....	86, 93		
言語設定.....	52		
限定詞.....	63		
原文エリア.....	8, 12		
原文のまま.....	64		
原文ファイル.....	18		
こ			
構文パターンの指定.....	90		
さ			
作成するファイル.....	108		
し			
辞書参照.....	26, 75		
辞書参照ツール.....	30, 39, 45		
参照する辞書.....	45		
辞書設定.....	76		
辞書登録.....	10, 15, 26, 30, 59, 81, 88		
辞書登録ダイアログ.....	81, 88		
削除ボタン.....	82, 89		
参照ボタン.....	82, 89		
先頭に追加.....	83, 90		
登録ボタン.....	82, 89		
訳削除ボタン.....	83, 90		
訳置換ボタン.....	82, 90		
辞書の構成.....	74		
辞書引き.....	26		
辞書リストの順番を変更する.....	78		
辞書リストの優先順位.....	78		

動詞の登録.....	85, 92
登録用ユーザー辞書.....	80

な

長い文章.....	98
名前を付けて保存.....	17

に

「日英辞書」タブ.....	76
日⇄英対応.....	58
日⇄英⇄日.....	13
日⇄英⇄日対応.....	58
日英日モードのファイル.....	109
日英翻訳.....	11
日英翻訳の設定.....	99
日英モードのファイル.....	108
日英ユーザー辞書登録	
格助詞の登録.....	95
形容詞の登録.....	93
動詞の登録.....	92
副詞の登録.....	94
名詞の登録.....	91
連体助詞の登録.....	96
日本語を英語に翻訳.....	11
認識領域.....	51

は

バージョン情報.....	50, 109
パターン.....	90
パレットの設定.....	50

ひ

開く.....	7, 11
品詞変更.....	59, 62
品詞を学習しない.....	63

ふ

ファイル	
開く.....	7, 11
原文ファイル.....	18
対訳ファイル.....	18
翻訳.....	7, 11
訳文ファイル.....	18
フォーマル.....	101
フォント.....	53
フォントと配色.....	102
副詞の登録.....	87, 94
フレーズ	
形容詞句.....	65

前置詞句.....	65
動詞句.....	65
副詞句.....	65
名詞句.....	65
フレーズ解除.....	66
フレーズ種別.....	65
フレーズ種別の確認.....	65
フレーズ色.....	102
フレーズ変更.....	65
フレーズ翻訳.....	64
文の結合.....	56
文の分割.....	56
文法チェックのレベル.....	101

へ

別解釈.....	67
ヘルプ.....	19

ほ

ホームディレクトリの確認.....	109
ホームページの翻訳検索.....	31
ホームページ翻訳.....	28
制限事項.....	34
選択した文章の翻訳.....	30
翻訳ツールバー.....	28
ホームページ翻訳の設定.....	34
翻訳.....	55
翻訳エディタ.....	39, 40
翻訳エディタの起動.....	6
翻訳エディタの終了.....	7
翻訳結果が正しくない場合.....	29
翻訳言語の切り替え.....	20
翻訳言語リストの取得.....	28
翻訳検索.....	31
翻訳検索の設定.....	33
翻訳しない.....	64
翻訳設定.....	19
翻訳ツールバーの表示.....	28
翻訳で使用する辞書の設定.....	76
翻訳日英ロック.....	69
翻訳の中止.....	57
翻訳パレット.....	39
ボタンの並べ替え.....	40
起動.....	39
終了.....	40
翻訳ピカイチについて.....	1
翻訳ファイル.....	17
翻訳ファイルの保存.....	17
翻訳モードの切り替え.....	7
翻訳ロック.....	67, 69

翻訳ロック解除.....69

み

未知語.....100

未知語をローマ字にする.....100

め

名詞の登録.....84, 91

命令文.....98

メール翻訳.....46

引用文字.....47

メール翻訳パッド.....46

も

モードの切り替え.....7

目的語がないとき.....99

目的語を補う.....100

や

訳語の対応.....9

訳語変更.....9, 13, 58

訳語変更で訳文を再翻訳しない.....60

訳語変更を元に戻す.....60

訳語を学習させない.....62

訳語を学習しない品詞.....62

訳語を学習する.....98, 100

訳振りパッド.....39, 48

保存.....49

訳文エリア.....8, 12

訳文の保存.....18

訳文ファイル.....18, 108

ゆ

ユーザー辞書.....74

ユーザー辞書登録.....10, 15

ユーザー辞書の新規作成.....79

ユーザーズガイドの表示.....5

ユーザー辞書の作成.....76

優先順位.....78

よ

読み上げ.....70

り

領域精度.....51

れ

連続する文章の翻訳.....57

連体助詞の登録.....96

ろ

ロック.....69

わ

ワークシート翻訳.....19

ワンポイント翻訳.....30, 39, 44

翻訳ピカイチ V15 for Windows

ユーザーズガイド

〈ユーザーサポート〉

株式会社クロスランゲージ ユーザーサポート

E-mail : support@crosslanguage.co.jp

発行日	2016年 9月 (初版)
編集／発行	株式会社クロスランゲージ 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番6号 紀尾井町パークビル2F
ホームページ	http://www.crosslanguage.co.jp/
サポートページ	http://www.crosslanguage.co.jp/support/